保育学科 保育専攻＜平成29年度以前入学生対象＞シラバス一覧

科目区分	授業科目	単位	単位表		履修法	1年		2年		保育士資格	幼稚園教諭
			必修	選択		前期	後期	前期	後期		
基礎教育科目	社会人基礎入門A（地域と大学・ＡＳＰ）	1	1		演習	○					
	茶道文化Ⅱ	1	1		演習		○				
	茶道文化Ⅲ	1	1		演習			○			
	茶道文化Ⅳ	1	1		演習				○		
	社会人基礎入門B（茶道文化Ⅰ）	1	1		講義	○					
	日本国憲法	2	2		講義	○					必
	女性学	2		2	講義		○				
	生物学	2		2	講義		○				
	実践国語演習	2		2	演習		○				
	英語Ⅰ	2	2		演習	○					必
	国際コミュニケーション演習Ⅰ	1		1	演習			○			
	国際コミュニケーション演習Ⅱ	1		1	演習				○		
	スポーツ科学	1	1		講義			○		必	必
	スポーツ実習	1	1		実技				○	必	必
	コンピュータ演習	2		2	演習	○					必
保育に関する専門科目	保育原理	2	2		講義	○				必	必
	教育原理	2	2		講義			○		必	必
	児童家庭福祉Ⅰ	2	2		講義	○				必	
	児童家庭福祉Ⅱ	2		2	演習		○			選	
	社会福祉	2	2		講義	○				必	
	相談援助	1	1		演習			○		必	
	社会的養護	2	2		講義		○			必	
	保育者論	2		2	講義			○		必	必
								○			
	教育方法論	2		2	講義				○	選	必
	学級経営論	2		2	講義			○		選	必
	保育の心理学Ⅰ	2	2		講義		○			必	必
	保育の心理学Ⅱ	1	1		演習				○	必	選
	臨床心理学	2		2	演習			○		選	必
	子どもの保健Ⅰa	2	2		講義	○				必	
	子どもの保健Ⅰb	2	2		講義		○			必	
	子どもの保健Ⅱ	2	2		演習			○		必	
	子どもの食と栄養	2	2		演習		○			必	
	家庭支援論	2		2	講義				○	必	
	カリキュラム論	2	2		講義		○			必	必
	保育内容総論	2	2		演習	○				必	必
	保育内容演習Ⅰ（健康）	1		1	演習	○				選必	選A
	保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）	1		1	演習				○	選必	選A
	保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）	1		1	演習			○		選必	選A
	保育内容演習Ⅰ（人間関係）	1		1	演習				○	選必	選A
	保育内容演習Ⅰ（環境）	1		1	演習			○		選必	選A
	保育内容演習Ⅰ（言葉）	1		1	演習		○			選必	選A
	乳児保育Ⅰ	2	2		演習		○			必	
	乳児保育Ⅱ	2		2	演習					選	
	障がい児保育	2		2	演習				○	必	必
	社会的養護内容	2		2	演習			○		必	選A
	保育相談支援	1		1	演習				○	必	選
	保育相談	2		2	講義			○		選	必
	総合保育技術 a1	1		1	演習	○	○			選	選A
	総合保育技術 a2	1		1	演習			○	○	選	選A
	総合保育技術 b1	1		1	演習	○	○			選	選A
	総合保育技術 b2	1		1	演習			○	○	選	選A
	総合保育技術 c1	1		1	演習	○	○			選	選A
	総合保育技術 c2	1		1	演習			○	○	選	選A
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究a）	1		1	演習		○			選	選A
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究b）	1		1	演習			○		選	選A

科目区分	授業科目	単位	単位表		履修法	1年		2年		保育士資格	幼稚園教諭
			必修	選択		前期	後期	前期	後期		
保育に関する専門科目	保育学特別演習	1		1	演習		○			選	選
	子どもと音楽Ⅰa（ピアノ・楽典）	1		1	演習	○				選必	選B
	子どもと音楽Ⅰb（ピアノ・楽典）	1		1	演習		○			選必	選B
	子どもと音楽Ⅱ（歌唱）	1		1	演習		○			選必	選B
	子どもと音楽Ⅱa（ピアノ・楽典）	1		1	演習			○		選	選B
	子どもと音楽Ⅱb（ピアノ・楽典）	1		1	演習				○	選	選B
	子どもと造形 a	1		1	演習	○				選必	選B
	子どもと造形 b	1		1	演習		○			選必	選B
	子どもとリズム	1		1	演習	○				選必	選B
	子どもと運動	1		1	演習		○			選必	選B
	子どもと言語	1		1	演習	○				選必	選B
	子どもと暮らし	1		1	演習	○				選必	選B
	保育実習Ⅰ	4		4	実習		○	○		必	
	保育実習Ⅱ	2		2	実習			○		選必	
	保育実習Ⅲ	2		2	実習			○		選必	
	教育実習	4		4	実習			○			必
	実習指導（保育実習指導Ⅰ）	2		2	演習		○	○		必	必
	保育実習指導Ⅱ	1		1	演習			○		選必	
	保育実習指導Ⅲ	1		1	演習			○		選必	
	保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	2		2	演習				○	必	必
	卒業研究Ⅰ	1		1	演習			○		選	
	卒業研究Ⅱ	1		1	演習				○	選	
合計		116	39	77							

保育士資格取得の要件
基礎教育科目は必修科目を含め8単位以上必要、保育に関する必修科目はすべて必要、保育内容演習Ⅰ（選必）は5単位以上必要、保育表現技術の（選必）は4単位以上必要、保育に関する選択科目（選）は6単位以上必要、保育実習に関する選択科目（選必）は保育実習Ⅱと保育実習指導Ⅱか保育実習Ⅲと保育実習指導Ⅲのいずれか3単位以上必要。

幼稚園教諭二種免許状取得の要件
卒業必修科目を含め必修科目はすべて必要、選Aより4単位以上、選Bより4単位以上必要。

卒業要件
学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

一　基礎科目については、外国語科目（2単位以上）、保健体育科目（講義及び実技2単位以上）を含めた13単位以上。
二　保育に関する専門科目については、必修科目（28単位）を含め50単位以上必要。
三　基礎教育科目（13単位以上）と保育に関する専門科目（50単位以上）の合計63単位以上の修得を卒業の要件とする。

講義科目名称：社会人基礎入門Ａ（地域と大学・ＡＳＰ）　　授業コード：44101　44121

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
安部　恵美子			

講義概要	講義や講話および地域の方々や仲間との交流等を通じて、長崎短期大学生及び地域の一員としての自覚を深め、社会人としての基本的な教養を培っていく。
授業計画	１　（４月６－８日）長崎短期大学での学び１ オリエンテーション ２　（４月１２日）長崎短期大学での学び２（安部恵美子学長） 建学の精神及び本授業開設の意義を理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直す。 予習：学生便覧の学生生活要綱を読んで理解しておくおこと。 ３　（４月１９日）長崎短期大学での学び３（教務委員長、学生委員長） 「短大での学びかた」および「短大での決まりや社会人としての基本的な生活習慣」について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ４　（４月２６日）長崎短期大学での学び４　（図書館司書　岩崎先生） 図書館・インターネットによる情報収集の方法を理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ５　（４月２８日）仲間作り 新入生歓迎イベントを通じてさまざまな分野の仲間と交流する。 ６　（５月１０日）長崎短期大学での学び５ 自分の主張をきちんと文章で表現する。（小論文テスト） ７　（５月１７日）大人になるために１（１８歳選挙権）　（橘之口裕太佐世保市議会議員） １８歳で選挙権を得るにあたって、選挙・議員活動等について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ★市議会日程によって変わる可能性有り ８　（５月２４日）Awesome Sasebo １（食物科、保育学科）（食物科教員、保育学科教員） 昨年度、食物科、保育学科で行った　Awesome Sasebo　の内容を聞き、ASP(Awesome Sasebo Project)の意義について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ９　（５月３１日）Awesome Sasebo ２（国際コミュニケーション学科、茶道文化）（国際コミュニケーション学科教員、茶道文化教員） 昨年度、国際コミュニケーション学科、茶道文化で行った　Awesome Sasebo　の内容を聞き、ASP(Awesome Sasebo Project)の意義について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １０　（６月７日）大人になるために２ 金融の基礎知識（仮題） （仮）現代社会における金融の基本的な知識について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １１　（６月２２日）大人になるために２（メディア・リテラシー）（小浦先生） 情報社会において留意すべきこと及びインターネット・トラブルなどの対応について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １２　（６月２１日）Awesome Sasebo ３（防犯講話）　（相浦警察署生活安全課） 自分たちの生活および地域の防犯、交通安全について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １３　（６月２８日）Awesome Sasebo ４（佐世保市の観光の現状）　（佐世保市観光商工部観光課） 佐世保市の概要及び観光事業について理解する。

	学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １４　（７月５日）大人になるために４（保健講話）　（佐世保市保健師、長崎県障害福祉課） 生涯にわたる自分の身体の管理及びさまざまな依存症対策（アルコール・薬物・ギャンブル）について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １５　（７月１２日）大人になるために５（認知症サポーター養成講座）（佐世保市役所） 認知症に関する基礎的な知識を理解する。（厚労省認知症対策の国家戦略『新オレンジプラン』の施策の一つ） 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①長崎短期大学の建学の精神が理解できる。 ②長崎短期大学での学びについて理解し、２年間の学習及び生活の計画を立てることができる。 ③地元である長崎県及び佐世保市のことを学び、地域の一員としての自覚を深めることができる。 ④社会人への準備段階としての知識を学び、大人になるための自覚を深めることができる。 ⑤さまざまな分野の仲間と交流し、協調性、コミュニケーション能力、課題解決力を身につけることができる。 授業態度及び授業への意欲（40%）およびレポート等（60%）で総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：なし（必要に応じて担当教員が補助教材を準備する。） 参考書：適宜指示する。
履修条件	
履修上の注意	講義日程は担当者の都合によって入れ替わることがある。 毎回の資料はファイルに綴じ込み、適宜復習すること。
オフィスアワー	各授業担当者の講義終了後。
備考・メッセージ	座席は決められた場所に着くこと。

講義科目名称：茶道文化Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①風炉薄茶点前を一人で出来る。 ②茶花について学ぶ。禅語について学ぶ。 ③大寄せの茶会の心得を学ぶことができる。茶会の客の作法を学ぶことができる。季節と客組みを学ぶことができる。 ④上座、下座を学ぶ。学んだ礼法を日常でも使うことができる。和室での立ち居振る舞いを身に付けることができる。 ⑤前年の茶道大会の映像を見て学ぶ。色々な役割を知ることができる。自分の役割の練習を行い茶道大会に参加する。
授業計画	1　風炉薄茶点前 【禅語】「清風万里秋」 【ワンポイント】 ①「煎茶の入れ方」 ②薄茶点前のポイント確認 ③茶会の流れの映像を見る。（DVD） 【授業内容】 ①煎茶の入れ方を学び体験する ②礼法・服紗捌き・道具の清め方・仕込み茶碗など復習する ③道具の片付け 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する 2　着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「桂花露香」 【ワンポイント】「着物の種類」 【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る① ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む 3　着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「行雲流水」 【ワンポイント】「上座と下座」① 【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る② ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む 4　着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「別無工夫」 【ワンポイント】「上座と下座」② 【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る③ ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う

【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

5 風炉薄茶点前
【禅語】「平常心是道」
【ワンポイント】「茶道具の扱い方」
【授業内容】
①薄茶点前のポイント確認
②風炉薄茶点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する

6 風炉薄茶点前
【禅語】「耕不尽」
【ワンポイント】①「旧暦について学ぶ」（1月～6月）
②「四季と二十四節気（春から夏）」
【授業内容】
①立礼見本点前
②立礼点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する

7 風炉薄茶点前・立礼点前練習
【禅語】「放下着」
【ワンポイント】①「旧暦について学ぶ」（7月～12月）
②「四季と二十四節気（秋から冬）」
【授業内容】
①風炉薄茶点前
②立礼点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）
：自分の意思を持ちながら、他人の良い意見を共感を持って受け入れる

8 茶道大会パート別練習
【禅語】「泥多仏大」
【ワンポイント】「出し服紗の畳み方・濃茶の飲み方」
【授業内容】
①茶道大会の濃茶水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ
（3パートを20分ずつローテーション）
②客点前：出し服紗の使い方・濃茶の飲み方・主菓子の頂き方
③水屋：濃茶を練る
④接待：縁高や濃茶を客へ出す
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

9 茶道大会パート別練習
【禅語】「無功徳」
【ワンポイント】「和食の基本」
【授業内容】
①茶道大会の立礼水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ

		（3パートを20分ずつローテーション） ②客点前：薄茶の飲み方・干菓子の頂き方 ③水屋：薄茶を点てる ④接待：懐紙にお菓子と薄茶を客へ出す 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	10	茶道大会で使用する道具について学ぶ 【禅語】「徳不弧」 【ワンポイント】「会記について」 【授業内容】 ①茶道大会の会場確認 ②茶道大会で使用する道具について学ぶ 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	11	茶道の歴史について合同講義 【授業内容】茶道の歴史について合同講義 第３章　茶の湯に関わった人々（教科書P23～P28） 第４章　鎮信流の茶（教科書P29～P33） 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	12	風炉薄茶点前　・立礼点前練習 【禅語】「知足」 【ワンポイント】「縁起物について」 【授業内容】 ①風炉薄茶点前②立礼点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	13	初釜 【授業内容】初釜（点前拝見・濃茶飲み方、主菓子取り方、食べ方、裏から点て出し） ①初釜の道具組について説明を聞く ②各班に分かれて新年の抱負を述べ、学習帳 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力） ：事例や客観的なデータなどを用いて、具体的にわかりやすく伝える ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	14	・薄茶点前練習　・学習帳まとめ 【禅語】「一以貫之」 【ワンポイント】「正月飾りについて」 【授業内容】 ①薄茶点前練習 ②襖の開け方・閉め方 ②学習帳まとめ

	【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する 15　松芳忌 【授業内容】松芳忌、礼拝練習 ①経歴紹介（映像にて） ②献茶 ③教職員・学生礼拝 ④講話 ⑤松芳忌・アンケート・自己評価 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①薄茶点前の割り稽古により、一人で薄茶点前ができるようになる。　（シンキング）：計画力 ②季節の移ろいを感じるようになる。禅語の意味を理解するようになる。（シンキング）：創造力 ③茶会に関する基本的な知識を学び、理解を深めることができるようになる。（チームワーク）：　規律性 ④茶道点前を通して身に付けたマナーや作法を、学校や生活の中で役立てることができるようになる。（チームワーク）：発信力 ⑤茶道大会に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。（チームワーク）：状況把握 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。　15％ 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。　10％ 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常の生活に役立てているか。筆記試験　60％ 薄茶点前：薄茶点前を正確にできるようになったか。茶道大会への参加状況といった行動や感想　15％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著『茶道文化基礎編』 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰを履修していること
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。（アクション）：主体性 ＴＰＯを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。（アクション）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい（シンキング）：課題発見力 授業開始５分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。（アクション）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：茶道文化Ⅲ　　授業コード：11112　23141　31134　32551
33551　34133　41122　44131
英文科目名称：　　52551

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①濃茶点前の道具名を覚える。薄茶点前と濃茶点前の違いを知る。濃茶　点前の道具の使用方法を知る。 ②仕覆の扱いを覚える。水次の扱いを覚える。濃茶の練り方を学ぶ。 ③亭主と客の動きを学ぶ。相客間の心構えを学ぶ。茶花に関する知識を深めることができる。 ④武家茶について学ぶ。鎮信流発祥の地、平戸について学ぶ。鎮信流歴代の宗家を知る。 ⑤上座、下座を理解し、家庭や実習先でもマナーに気を付けるようになる。言葉遣いに気を付けるようになる。
授業計画	1　風炉濃茶点前 【禅語】「和敬清寂」 【ワンポイント】「礼儀作法・伝えたいTPO」 【授業内容】 ①茶道文化の意義　（教科書P7～P12）　再確認 ②出し服紗の畳み方確認 ③茶入の扱い方、紐の結び方 ④席入り、退席、礼法復習 ⑤茶入の紐結び 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ③実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む 2　風炉濃茶点前 【禅語】「梨花一枝春」 【ワンポイント】「冠婚葬祭」 【授業内容】 ①濃茶見本点前 ②風炉濃茶点前前半① 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 3　風炉濃茶点前 【禅語】「花看半開」 【ワンポイント】「熨斗の知識」 【授業内容】 ①３種類の柄杓の扱い方（切り柄杓・引き柄杓・止め柄杓） ②風炉濃茶点前前半② 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 4　風炉濃茶点前 【禅語】「薫風自南来」 【ワンポイント】「袱紗について」 【授業内容】 ①風炉濃茶点前前半③ 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

5 風炉濃茶点前
【禅語】「悟無好悪」
【ワンポイント】「食事前に心がけること」
【授業内容】
①風炉濃茶点前後半①
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続ける
③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

6 風炉濃茶点前
【禅語】「千里同風」
【ワンポイント】「器の扱い方」
【授業内容】
①風炉濃茶点前後半②
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

7 風炉濃茶点前
【禅語】「本来無一物」
【ワンポイント】「衣替えについて・嫌い箸について」
【授業内容】
①風炉濃茶点前総復習①
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

8 風炉濃茶点前
【禅語】「無事」
【ワンポイント】「雑節について」
【授業内容】風炉濃茶点前総復習②
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

9 風炉濃茶点前
【禅語】「無心」
【ワンポイント】「身だしなみチェックシート」
【授業内容】風炉濃茶点前総復習③
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】

①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

10 風炉濃茶点前（内検）
【禅語】「思無邪」
【ワンポイント】「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き）
【授業内容】風炉濃茶点前（内検）
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

11 風炉濃茶点前
【禅語】「萬法一如」
【ワンポイント】実技試験のチェックポイント
【授業内容】風炉濃茶点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

12 実技試験
【禅語】「平常心是道」
【授業内容】
①濃茶点前確認（実技試験）
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

13 茶会の流れと花寄せ
【禅語】「在眼前」
【ワンポイント】「禁花について」
【授業内容】
①花寄せ
②ミニ茶会計画・練習
③学習帳
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①働きかけ方（他人に働きかけ巻き込む力）
：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝える
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

14 合同講義
【授業内容】茶道の歴史について合同講義
第４章　鎮信流の茶（教科書P29～P33）
第５章　茶道における諸機能と茶道具について
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する

	③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 15　班別ミニ茶会 【禅語】「一期一会」 【ワンポイント】「夏を涼しく」 【授業内容】 ①班別ミニ茶会 ②道具の片付け・アンケート ③学習帳回収 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力） ：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①濃茶席で使用する茶道具の名称や使用方法を学び、正しく使用できるようになる。（アクション）：発信力 ②地域の伝統文化である鎮信流の濃茶点前ができるようになる。（シンキング）：計画力 ③亭主と客の心得などを習得し、心遣いを生活の中で役立てることができるようになる。（チームワーク）：働きかけ力 ④茶道の歴史を学び、鎮信流について説明することができるようになる。（アクション）：実行力 ⑤茶道点前を通して、家庭や社会生活で役立つマナーを身に付けることを目標とする。（チームワーク）：規律性 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。15％ 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。10％ 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常の生活に役立てているか。15％ 濃茶点前の実技の評価の観点は、正確な濃茶点前が出来るか、道具を大切に丁寧に扱うことが出来るか、客点前はできているか、など総合的に評価する。実技試験　60％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱを履修していること
履修上の注意	茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）：主体性 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（ＴＰＯを考える）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学習）：課題発見力 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨むこと。（時間厳守）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：茶道文化Ⅳ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①風炉濃茶点前を一人で出来る。炉濃茶点前を覚える。美味しい濃茶を練るようになる。 ②季節感豊かな茶花の種類を知る。正月の床飾りを学ぶ。法事の床飾りを学ぶ。 ③和室での歩き方を学ぶ。繰り返しにより自然な動きを身に付けることができる。着物の種類について学ぶ。 ④地域文化の継承に貢献する。茶道大会で自分の役割を果たす。自己の修養、自己の成長を学ぶ。 ⑤人や物を大切のする。おもてなしの心を学ぶ。授業最終時には、別棟の茶室（耳順亭）で茶会の流れを学ぶ。
授業計画	1　茶室・露地・炭点前 【禅語】「月白風清」 【ワンポイント】　「炭の力」 【授業内容】 ①炭点前ＤＶＤ ②炭の説明 ③炉濃茶置き合わせ確認 ④炉濃茶点前前半確認 【学習課題】　予習：教科書P63～P69　風炉炭点前 復習：風炉の濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 2　炉濃茶点前披露 【禅語】「水急不流月」 【ワンポイント】「中秋の名月」 【授業内容】 ①炉濃茶点前前半復習① 【学習課題】　復習：炉の濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 3　炉・風炉濃茶点前 【禅語】「釣月耕雲」 【ワンポイント】「和室の名称①」 【授業内容】 ①炉濃茶点前前半練習② 【学習課題】　復習：炉と風炉での置き合わせの違いを確認する 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 4　炉・風炉濃茶点前 【禅語】「悠然見南山」 【ワンポイント】「和室の名称②」 【授業内容】 ①炉濃茶点前後半練習① 【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む

②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

5　炉・風炉濃茶点前
【禅語】「独座大雄峰」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（１月～３月）
【授業内容】
①炉濃茶点前後半練習②
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

6　立礼点前披露
【禅語】「直心是道場」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（４月～６月）
【授業内容】
①立礼見本点前
②立礼点前確認
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

7　立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前
【禅語】「教外別伝不立文字」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（７月～９月）
【授業内容】
①立礼、炉濃茶点前練習①
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）
：自分の意思を持ちながら、他人の良い意見を共感を持って受け入れる
⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

8　立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前
【禅語】「古今無二路」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（１０月～１２月）
【授業内容】
①立礼・炉濃茶点前練習②
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

9　茶道大会に向けての練習
【禅語】「守拙全天真」
【ワンポイント】「縁起物（だるま）」

【授業内容】
①茶道大会　亭主・接待・水屋・客点前などパート別の仕事内容を学ぶ
（3パートを20分ずつローテーション）
・客点前：①出し服妙の使い方、②濃茶の飲み方、③主菓子の頂き方
・水屋：①濃茶を練る、②薄茶を点てる
・接待：①縁高や濃茶を客へ出す、②懐紙に干菓子と薄茶を出す
【社会人基礎力】
①課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

10　茶道大会に向けての練習
【禅語】「報恩謝徳」
【ワンポイント】「縁起物（鶴亀）」
【授業内容】
①茶道大会の道具説明
②茶道大会当日の役割の練習に参加する
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

11　茶道大会反省会・釜仕舞い
【禅語】「白珪尚可磨」
【ワンポイント】「正月飾りについて」
【授業内容】
①お別れの茶会の流れを冊子、映像で学ぶ
②釜仕舞い
③点て出し
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

12　立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前
【禅語】「門外有松風」
【ワンポイント】「正月飾りについて」「縁起物（松竹梅）」
【授業内容】
①薄茶、濃茶点前練習・学習帳まとめ
②立礼・炉濃茶点前練習
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

13　初釜
【授業内容】軸「高砂」「松に双鶴」
①初釜（濃茶点前）
②点前拝見・主菓子の取り方・食べ方・濃茶の飲み方
③初釜の道具組について説明を聞く
④各班に分かれて新年の抱負を語る
【社会人基礎力】
①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
②発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力）
：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）

	：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 14　松芳忌 【ワンポイント】「愛別離苦」 【授業内容】 ①松芳忌、礼拝練習 ②経歴紹介（映像にて） ③献茶 ④教職員・学生礼拝 ⑤講話 ⑥自己評価・アンケート・学習帳 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 15　卒業記念茶会　（別れの茶会） 【禅語】「一華開五葉」 【授業内容】お別れの茶会（耳順亭にて） ①茶会の流れ（寄り付き→外待合→蹲踞→躙り口） ②茶席の客体験（主菓子・抹茶） ③点前練習・水屋で点て出し 【学習課題】　予習：「お別れの茶会」の冊子に目を通してくる 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝える ③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する ⑤ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力） ：ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除く
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①点前の練習を重ね、薄茶点前、濃茶点前がスムーズにできるようになる。炭点前を学ぶ。（アクション）：主体性 ②季節に応じた茶室・茶道具のあしらいに気付くことができるようになる。（シンキング）：課題発見力 ③茶道文化の授業を受けることにより、和室で自然な立ち居振る舞いができるようになる。（チームワーク）：柔軟性 ④茶道大会の茶席運営に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。（チームワーク）：規律性 ⑤茶道を通して身に付けた茶の心を、学校や生活の中で役立て、相手の気持ちを理解できるようになる。（チームワーク）：傾聴力 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、茶道大会の企画運営への携わり方。15% 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。10% 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。筆記試験　60% 濃茶点前：濃茶点前を正確にできるようになったか。身に付けたマナーや作法を日常生活で生かしているかといった行動や感想　15%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修していること
履修上の注意	茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）：主体性 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（ＴＰＯを考える）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学習）：課題発見力 授業開始５分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め、授業に臨むこと。（時間厳守）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力

	④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：社会人基礎Ｂ（茶道文化Ｉ）　　授業コード：12151　13133　14131　21131　22121　42141　43151　53151　54111

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①茶室は神聖な場所であることを理解する。茶の心を学び、先生を敬い、相手を思いやり、自らを慎む。 ②礼法（座礼、立礼）を覚える。和室での心得を学ぶ。（毎回反復練習をする。） ③茶室に必要な道具名を覚える。点前道具の名称を覚える。道具を大切に扱う。 ④風炉薄茶点前を一人で出来るようになる。 ⑤茶の歴史を学ぶ。鎮信流について学ぶ。
授業計画	1　日本の礼法①・本学における茶道文化について 【学習課題】茶室「不文軒」に来る時は白ソックス、筆記用具を持って来て下さい。 【禅語】「和敬清寂」 【ワンポイント】 ①教科書、学習帳、服紗ばさみ（名前を書く） ②服紗ばさみの中の説明を受ける（扇子、服紗、出し服紗、菓子切り、懐紙、服紗ばさみ） 【授業内容】 ①本学における茶道の考え方について（教科書P1～P2） ②和・敬・清・寂について（教科書P2～P6） ③茶道文化の意義（教科書P7～P12） ④準備当番、茶室での約束事 ⑤玄関での心得について、茶室の入り方を学び体験する （手荷物、靴の脱ぎ方、床の拝見について） ⑥座礼（双手礼・爪甲礼）・立礼（会釈・敬礼・最敬礼）　について学び体験する 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 2　日本の礼法②・座礼、立礼について（お辞儀の仕方） 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：誤字訂正） 復習：四規、茶道文化の意義、服紗ばさみの中 【禅語】「看却下」 【ワンポイント】 ①正しい靴の脱ぎ方 ②身だしなみ ③和室で踏んではいけないもの ④席入り、退席の仕方 ⑤座礼・立礼について 【授業内容】 ①風炉薄茶点前（見本・説明） ②服紗の畳み方、扱い方を学ぶ（教科書P53～P55） ③班に分かれて体験する ④服紗の付け方(帯の替わりにベルト使用）・捌き方 ⑤挨拶の仕方・礼法（座礼・立礼）・歩き方（半畳3歩） ⑥靴の脱ぎ方・席入り・退席の仕方 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 3　風炉薄茶点前①・道具の説明 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：慣用句）　　復習：礼法、和室で踏んではいけないもの 【禅語】「洗心」 【ワンポイント】 ①雑巾の絞り方、拭き方、掃除機の掛け方 ②茶道具の説明（教科書P37～P50） 【授業内容】 ①茶道具の準備と後片付けについて学ぶ ②仕込み茶碗の仕方を学び体験する（教科書P60-P61） ③服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を体験する（教科書P53～P57） 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

		②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	4	風炉薄茶点前②・茶巾の絞り方、茶巾のさばき方、仕込み茶碗の仕方、道具の清め方を体験する 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：適切なことば） 復習：茶道具と準備と片付けについて 【禅語】「大道無門」 【ワンポイント】 ①利休七則について　（教科書P24-P25） ②敬語について　（尊敬語、謙譲語、丁寧語） ③研究室への入り方を学び体験する 【授業内容】 ①服紗の付け方・捌き方の復習をする（教科書P53-P55） ②服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を体験する（教科書P56-P57） ③茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗の仕方を学ぶ（教科書P59-P60） 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準儀する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
	5	風炉薄茶点前③・お菓子の取り方、食べ方を学び体験する 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：敬語）　復習：利休七則について 【禅語】「喫茶去」 【ワンポイント】 ①箸の使い方について ②柄杓の持ち方、使い方を学ぶ 【授業内容】 ①お菓子の取り方、食べ方を学び体験する ②柄杓の扱い方、湯の入れ方、茶筅の扱い方、お茶の点て方、飲み方を体験する ③服紗さばき・棗の清め方・茶杓の清め方の復習をする ④道具の片付け 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	6	風炉薄茶点前④・水指の置き合わせから洒を持って入るまで 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：四字熟語）　復習：道具の準備片付けについて 【禅語】「清風匝地」 【ワンポイント】 ①上着の扱い ②訪問のマナー ③水指の置き合わせから釜の蓋を清めるまで（教科書P70-P72） 【授業内容】 ①茶道具の持ち方（水指・茶碗・棗・洒） ②道具の置き合わせ、清め方、柄杓の扱い方 ③道具の片付け 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	7	風炉薄茶点前⑤・茶筅通し・茶碗の拭き方まで 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：対義語）　復習：茶道具の持ち方、置き合わせについて 【禅語】「歩々是道場」 【ワンポイント】 ①衣替えについて ②茶筅通し・茶碗の拭き方まで（P73～P74） 【授業内容】 ①道具の置き合わせ、茶筅通しまでの練習 ②茶巾の扱い方　・茶碗の拭き方まで ③道具の片付け 【社会人基礎力】

		①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	8	風炉薄茶点前⑥・抹茶の入れ方　・水指の蓋の扱い方・湯の入れ方　・茶の点て方 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：誤字訂正２） 復習：茶筅通し・茶碗の拭き方まで（P73～P74） 【禅語】「日々是好日」 【ワンポイント】 ①「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶）（教科書P15-P17） ②抹茶の入れ方、水指の蓋の扱い方、湯の入れ方、茶の点て方　（P74-P75） 【授業内容】 ①お茶を点てるまでを体験する 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	9	風炉薄茶点前⑦・客点前　・茶碗の取り込み方 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：対義語２） 復習：「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶） 【禅語】「且座喫茶」 【ワンポイント】 ①「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法）（教科書P20-P21） ②客点前　・茶碗の取り込み方（P76） 【授業内容】 ①薄茶前半復習 ②道具の片付け 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容等）を伝える ③実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	10	風炉薄茶点前⑧・薄茶点前前半練習 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方） 復習：「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法） 【禅語】「思邪無」 【ワンポイント】 ①「侘び茶」（村田珠光・武野紹？・千利休）教科書P23-P25） 【授業内容】 ①薄茶前半点前練習 ②道具の片付け 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	11	風炉薄茶点前⑨・薄茶点前前半（内検） 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方２）　復習　：薄茶前半点前練習自主練習 【禅語】「明珠在掌」 【ワンポイント】 ①「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き） ②服装・身だしなみチェックシート記入（ドリルなし） 【授業内容】 ①風炉薄茶前半点前（内検） 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

12 風炉薄茶点前⑩・薄茶点前後半の見本
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方３）
復習：「佗び茶」村田珠光・武野紹？・千利休
【禅語】「処々全真」
【ワンポイント】
①「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）
【授業内容】
①風炉薄茶点前後半の見本・説明
②風炉薄茶後半点前練習
③道具の片付け
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

13 風炉薄茶点前⑪・薄茶点前練習
【学習課題】予習：点前の自主練習　　復習：「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）
【禅語】「？啄同時」
【ワンポイント】
①実技試験のチェックポイント
【授業内容】
①薄茶点前練習
②道具の片付け
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

14 薄茶点前確認（実技試験）
【学習課題】予習：点前の自主練習　　復習：今までの復習
【禅語】「在眼前」
【ワンポイント】
①実技試験について全体説明
【授業内容】
①薄茶点前前半確認（実技試験）
実技試験を受けたら、客点前をする。　終わった順に速やかに退席する。
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する

15 平戸について学ぶ。鎮信流についてまとめる
【学習課題】予習：平戸について教科書を読む（P29-P33）　復習：学習帳のまとめ
【禅語】「一期一会」
【ワンポイント】
①平戸について学ぶ（教科書P29～P33）　DVD：平戸の映像
【授業内容】
①鎮信流についてまとめる
②自己評価
③アンケート記入
④学習帳回収
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力）
：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える

	⑤ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力） ：ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除く
授業形態	講義と演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①茶道文化で身に付けたマナーや礼法を、茶室以外の生活の中でも実践するようになる。（アクション）：働きかけ力 ②日本の礼儀作法を学び相手を思いやる行動ができるようになる。（チームワーク）：規律性 ③日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持つようになる。（シンキング）：課題発見力 ④箸の使い方や掃除の仕方を知り、実践できるようになる。（アクション）：主体性 ⑤茶の歴史を知り、自分に置き換えて行動できるようになる。（チームワーク）：状況把握 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか　15％ 授業ごとの理解度を学習帳で確認する：教科書や学習帳で予習・復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているか　10％ 毎回のドリルや最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか、日常の生活に役立てているか　15％ 薄茶点前の実技の評価の観点は、正確な薄茶点前が出来るか：薄茶点前を正確にできるようになったか　60％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	長崎短期大学に入学した本科生
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。（アクション）：主体性 ＴＰＯを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。（アクション）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい（シンキング）：課題発見力 授業開始５分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。（アクション）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。 空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：日本国憲法　　授業コード：51132　54131

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
中野　明人			

講義概要	①明治憲法と日本国憲法との違いを理解する。日本国憲法の三大原則について理解する。天皇制について理解する。 ②明治憲法における人権について理解する。日本国憲法の主体について理解する。近代憲法の特徴について理解する。 ③平等権について理解する。自由権について理解する。社会権について理解する。 ④新しい人権の生まれた背景について理解する。新しい人権について具体的に知る。新しい人権について事例を通して学ぶ。 ⑤国会の仕組みについて理解する。内閣の仕組について理解する。裁判所の仕組について理解する。三権分立について理解する。
授業計画	1　ガイダンス　この授業が目指すもの ①保育学科でなぜ「日本国憲法」を学ぶのか、資格要件の観点や、実際に保育者に求められる視点から学ぶ。 ②15回を通して何を学ぶのかを概観する。 学習課題　復習： 予習：保育学科で取得できる資格である「幼稚園教諭」の免許取得には何を学ぶことが求められるか調べておく。 2　歴史的経緯を振り返る ①明治憲法から日本国憲法に移り変わる経緯について学ぶ。 ②民主主義の意味について学ぶ。 ③日本国憲法と明治憲法の違いを学ぶ。 学習課題　復習：保育学科で日本国憲法を学ぶ意義について振り返る。 予習：明治憲法の特徴を調べておく。 3　日本国憲法の三大原則について ①国民主権は生まれた背景を学ぶ。 ②基本的人権の尊重が生まれた背景を学ぶ。 ②平和主義の生まれた背景について学ぶ。 学習課題　復習：明治憲法の抱える問題点について整理しておく。 予習：現代社会における平和主義の意義を考えてみる。 4　基本的人権総論 ①人権の世界的な歴史について振り返る。 ②基本的人権が何故生まれてきたのかについて振り返る。 学習課題　復習：日本国憲法の三大原則について確認する。 予習：中学や高校の歴史の教科書を読み、日本国憲法が生まれてきた背景を調べておく。 5　包括的基本権 ①人権が時間を経ていかに拡大していったのかについて学ぶ。 ②社会権の概念の登場について学ぶ。 ③新しい人権について学ぶ 学習課題　復習：基本的人権は最初は何から生まれたのかを確認する。 予習：新しい人権という言葉を調べる。 6　平等権 ①平等権が生まれてきた歴史的背景を学ぶ。 ②平等権にはどのようなものがあるか具体的に学ぶ。 ③どのようなときで「不平等」を感じるのか考えてみる。 学習課題　復習：新しい人権についてまとめておく。 予習：「差別」について調べておく。 7　精神的自由権 ①思想・良心の自由について学ぶ。 ②信教の自由について学ぶ。 ③学問の自由について学ぶ。 ④表現の自由について学ぶ。 学習課題　復習：平等権の具体的内容をまとめておく。 予習：自分が考えると「表現」についてまとめておく。 8　経済的自由権 ①居住移転の自由について学ぶ。 ②職業選択の自由について学ぶ。 ③財産権について学ぶ。 学習課題　復習：表現の自由がなぜ重要なのかについてまとめておく。 予習：自分のなりたい職業についてまとめておく。 9　身体的自由権

	①この人権がないとなぜ困るのかについて学ぶ。 ②刑事手続き全般そして基本原則について学ぶ。 ③被疑者の人権、被告人の人権について学ぶ。 ④死刑制度について学ぶ。 学習課題　復習：職業を選択できる意義についてまとめておく。 予習：黙秘権という言葉について調べておく。 10　参政権 ①参政権の意義について学ぶ。 ②選挙制度について学ぶ。 ③現代社会における選挙制度の抱える問題点について学ぶ。 学習課題　復習：死刑制度について自分の考えをまとめておく。 予習：最近の選挙の結果について調べておく。 11　社会権 ①生存権が生まれてきた経緯について知りその意義について学ぶ。 ②教育を受ける権利について学ぶ。 ③勤労権について学ぶ。 ④労働基本権について学ぶ。 学習課題　復習：選挙に行き、政治に参加する意義についてまとめておく。 予習：生活保護という言葉について調べておく。 12　国会 ①三権分立について学ぶ。 ②国会の組織と権能について学ぶ。 ③国会議員の実際の活動を知る。 学習課題　復習：生存権の意義についてまとめておく。 予習：自分の住んでいる街の国会議員について調べる。 13　内閣 ①内閣制度について学び、これまでの内閣の変遷を振り返る。 ②内閣の組織と権能について学ぶ。 ③現在の政権を例に、内閣の実際について学ぶ。 学習課題　復習：衆議院と参議院の違いについてまとめておく。 予習：首相官邸のホームページを見ておく。 14　裁判所 ①裁判所の組織について学ぶ。 ②裁判官の権能について学ぶ。 ③裁判員裁判について学ぶ。 学習課題　復習：内閣総理大臣の役割についてまとめておく。 予習：裁判員裁判という言葉を調べておく。 15　まとめ ①この授業で何を学んだのかについて振り返る。 ②学んだことがこれからの保育士や幼稚園教諭としてどのような観点から役立つのかについて確認する。 ③日本国憲法を学び、この15回を通して何を身につけたかを各人が考える。 学習課題　復習：裁判所の基本的な機能についてまとめておく 予習：これまでのノートをふりかえる。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本国憲法の制定の経緯について知り、説明できるようになることを目的とする。 ②基本的人権総論について知り、説明できるようになることを目的とする。 ③基本的人権各論について知り、説明できるようになることを目的とする。 ④新しい人権について知り、説明できるようになることを目的とする。 ⑤三権分立について知り説明できるようになることを目的とする。 評価比率 定期テスト100％ 人権については、自分の考えを問う試験内容（論述試験）を出します(60％）。 三権分立については、知識を問う問題（穴埋め）を出します(40％）。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	①テキスト：「よくわかる憲法」(嵯峨野書院) ②参考書：授業内容に合わせて別途指示する。
履修条件	
履修上の注意	日頃からニュースなど時事問題に関心を持つことが大切です。必ずニュースに目を通して授業に臨んでください。
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	日本国憲法は、とっつきにくい印象をもたれがちですが、なるべく今の世の中で起きている事象に結び付け

	てわかりやすく解説をし、考えてもらおうと思います。、

講義科目名称：女性学　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	卒業：選択必須
担当教員			
川原　ゆかり			

講義概要	①女性学とは何かについて学ぶ。歴史的・文化的・社会的・法的変遷の中の女性の生き方について学ぶ。女性とエンパワーメントについて見識を深める。 ②フェミニズムの理論について知る。ジェンダー問題について学ぶ。女性の二極化について認識を深める。 ③女性と家庭問題について考察する。結婚について考える。女性と子育てや働くことについて学習する。 ④母親と児童虐待について考える。ＤＶについての見識を深める。母子世帯の抱える問題について学習する。 ⑤性同一性障害などセクシャリティの多様性について学び、性の商品化について考える。
授業計画	１　オリエンテーション・自分史レポート・女性学概論 「女性と自分史」についてのレポート及びアンケート調査 学習課題　復習： 予習： ２　結婚について 結婚の定義　結婚の多様性・結婚及び離婚事情 学習課題　復習： 予習： ３　セクシャリティの多様性 セクシャリティとセクシュアル、マイノリティ 身体・多様性 学習課題　復習： 予習： ４　セクシャリティの多様性 性同一性障害、同性愛について 学習課題　復習： 予習： ５　女性と労働 日本型雇用の中の女性の職業と働くこと 学習課題　復習： 予習： ６　ジェンダーについて 性と生殖と生～世界の出産・プルミエール～ 学習課題　復習： 予習： ７　女性・母親の子育て 子育てに対する意識・子育ての変化 学習課題　復習： 予習： ８　困難を抱える女性と社会福祉 ＤＶに見る女性の意識と生き方について 学習課題　復習： 予習： ９　困難を抱える女性と社会福祉 ＤＶ法について学習する 学習課題　復習： 予習： １０　虐待を受けた子ども 人権侵害としての性的虐待を受けた女性の生き方 学習課題　復習： 予習： １１　生き方の困難を抱える母親 ネグレストの事例に見る女性・母親の生き方を考える 学習課題　復習： 予習： １２　生き方の困難を抱える母親 事例に見る地域社会・保育者の有り様について考える 学習課題　復習： 予習： １３　女性と援助交際・犯罪 援助交際に見る女性の生き方を考える 学習課題　復習： 予習： １４　女性と高齢者問題 少子高齢社会における女性の生き方 学習課題　復習： 予習：

	１５　　女性行政の歴史と課題について知る 女性としての生き方を考える総合学習 学習課題　復習： 予習：
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①女性学とは何か？について学び、フェミニズムの視点を持つことができる。 ②ジェンダー平等をめぐる歴史と理論について学び、ジェンダーについて理解することができる。 ③女性史と結婚・家庭問題・子育て・労働について見識を深め、女性としての生き方について学ぶことができる。 ④困難を抱える女性と社会福祉（母子世帯の現状・暴力と女性～ＤＶ～）について学び、諸々の支援制度について学ぶことができる。 ⑤セクシャリティの多様性（性同一性障害・同性愛）・売買春について学び、女性の性とその生き方について再認識できるようになる。 評価は、授業内レポート、授業への取り組み状況、筆記試験を総合しておこなう。 授業内レポート（２０％）、筆記試験（８０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『女性学入門』　杉本貴代栄　編著　　ミネルヴァ書房　２，５００円 参考書：『少子化時代のジェンダーと母親意識』　　目黒依子・矢澤澄子　編　　新曜社
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後及び昼休み、授業外は研究室に気軽に来てください。
備考・メッセージ	テーマ毎に実話に基づくＤＶＤや担え当教員の臨床例を通して、具体的に女性の生き方を考え、女性としてのアイデンティティを確立し、保育者の自立的な生き方を追求する。毎回、授業集中度及び理解度のアンケート調査を行う。

講義科目名称：英語Ⅰ　　授業コード：12131　13132　14133

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
内山　智子			

講義概要	英語の理解度が高い学生、また不得手な学生がいる昨今の状況で、授業では、語彙、慣用語句の理解、練習問題を通しての文法事項復習、英文の聞き取り、そして英会話等の基本的かつ実践的な学習を目的とします。 使用教科書は学生が将来、保育園や幼稚園で園児や保護者との意思疎通に役立つ内容となっています。しっかりと学習し、様々な場面に対処できる保育者を目指して取り組んでくれることを願っています。 以下を踏まえて、下記の項目を遵守してください。 ①欠席・遅刻のない ②学習習慣の確立、授業への真摯な態度 ③レポート等の授業課題への積極的な取り組み ④大学生として品位ある態度・姿勢
授業計画	１　オリエンテーション 1 The school Year Begins（前半） 授業内容・進度・評価方法等の説明 「新学期・園の職員・園舎」についての英語表現学習 ２　1 The school Year Begins（後半） 本文読解・Listning・Exercises演習 ３　2 Arrival 「登園・家族」についての英語表現学習 本文読解・Listning・Exercises演習 ４　5 In the Playground 「園庭・けんか」についての英語表現学習 本文読解・Listning・Exercises演習 ５　Grammar 1 （一般動詞・be動詞）復習 ６　6 Lunchtime 「昼食・献立表」についての英語表現学習 本文読解・Listning・Exercises演習 ７　10 A Sick Child 「緊急連絡」についての英語表現学習 本文読解・Listning・Exercises演習 ８　Grammar 2 （疑問文・否定文・命令文）復習 ９　11 Preparation for the Sports Day 「行事の案内状・電話連絡」についての英語表現学習 本文読解・Listning・Exercises演習 １０　12 The Sports Day 「運動・動作」についての英語表現学習 （疑問文・否定文・命令文）復習 １１　Grammar 3 （前置詞）復習 １２　17 Leaving for Home 「降園・お知らせ」についての英語表現学習 本文読解・Listning・Exercises演習 １３　18 School Diary 「連絡帳・乳児室」についての英語表現学習 本文読解・Listning・Exercises演習 １４　20 With Thanks for a Wonderful School Year 「園だより・園行事(2)」についての英語表現学習 本文読解・Listning・Exercises演習 １５　Grammar 4 & Review （疑問詞を使った疑問文）復習 学習内容全般の総復習
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	国際化の中で、日常生活で外国人と接する機会が増す今日、保育現場で保護者との対応、園児の指導などで英語を使用する場面が出てきます。このような現状をしっかり把握し、必要とする実践的な英語が修得できるようになる事を目的とし、下記の事項を学習します。 ①Reading Comprehension（読解力） ②Words & Idioms（語・熟語） ③Useful Expressions（役立つ表現・電話や緊急時に使える会話表現など） ④Listening（聞き取り） ⑤Exercises（練習問題） ⑥Grammar（文法） 平素の学習意欲、特に課題提出状況を重視し筆記試験の結果とあわせて評価します。 ・レポート課題・提出（15%）、授業に取り組む姿勢・成果（15%）によって補助的評価をおこなう。

	・授業後の評価期間に筆記試験（70%）を実施、その成果を基に本評価をおこなう。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：「新・保育の英語」（2012年　第15版） English for Nursery School and Kindergartens （revised）森田和子　著　三修社 参 考 書：なし
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	・英語学習は積み重ねが基本です。毎回の授業の予習は当然のこと、特に復習を重視してください。前回の授業で取り扱った単語の小テストも実施します。難しい単語・語句があれば辞書で確認したり、授業が理解できない時は積極的に質問することを心がけてください。 ・欠席の場合は欠席願（届）を提出してください。 【準備学習（自主学習）】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

講義科目名称：国際コミュニケーション演習Ⅰ　　授業コード：53132

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	選択必修
担当教員			
キャロライン　キム			

講義概要	Students will learn everyday,practical vocabulary and phrases necessary (for working) in a childcare environment. Students will lead and participate in activities,role piay,learn games and songs that will help them develop situation specific language and skills that can be used in working environment.
授業計画	1　What's your name? Text:Unit 1　・one new songs or game　・practice/role play 2　Nice to meet you. Text:Unit 2　・one new songs or game　・practice/role play 3　Please come to school at 8:00. Text:Unit 3　・one new songs or game　・practice/role play 4　Is there a store near by? Text:Unit 4　・one new songs or game　・practice/role play 5　Let's play with blocks. Text:Unit 5　・one new songs or game　・practice/role play 6　It's sunny today. Text:Unit 6　・one new songs or game　・practice/role play 7　Ms.Mari's daily schedule Text:Unit 7　・one new songs or game　・practice/role play 8　Wash your hands,please. Text:Unit 8　・one new songs or game　・practice/role play 9　Does anyone need to〜? Text:Unit 9　・one new songs or game　・practice/role play 10　Takeshi's hit me. Text:Unit 10　・one new songs or game　・practice/role play 11　What's the matter? Text:Unit 11　・one new songs or game　・practice/role play 12　Hello.This is 〜nursery school. Text:Unit 12　・one new songs or game　・practice/role play 13　We're going to 〜next Friday. Text:Unit 13　・one new songs or game　・practice/role play 14　Davy's baby sister. Text:Unit 14　・one new songs or game　・practice/role play 15　Congratulations!(Graduation) Text:Unit 15　・one new songs or game　・practice/role play
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	This course is designed to provide students with basic English conversation skills and targeted English needed for working in a childcare environment.Students will :①strengthen and improve basic vocabulary＋expressions,②strengthen the use of voice (intonation/expression) using English,③learn English specific to nursery school environment,④learn and discuss cultural differences between Japanese and American childcare environments,⑤gain an overall confidence to use English "on the job". Grading is based on attendance (25%), participation(25%), presentations(25%), projects and exams (25%)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『保育の英会話　Childcare English』 赤松直子・久富陽子　著　　萌文書林 handouts (prints) as needed 『Breakthrough PLUS2　Student Book』　Miles Craven Macmillan
履修条件	
履修上の注意	

オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	This class will be conducted primarily in English. Students should have a strong desire and willingness to use English. prerequiste Eiken Pre-2 or above Please note that this syllabus is subject to change based on the needs of the class. 【準備学習（自主学習）】　Any special preparation will be announced and explained during class time.

講義科目名称：国際コミュニケーション演習Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	選択必須
担当教員			
キャロライン　キム			

講義概要	①TO be interested in other countries' nursery systems,do the research,and enrich students' view of childcare. 日本以外の保育内容について関心を持ち、調べ、保育観を充実させる。 ②By visiting CDC(Child Development Center),observe their nursery environment,contents of child care and nursery school teaching materials. CDC訪問によって、保育環境を観察し、保育内容・保育教材を学ぶ。 ③BY visiting CDC,learn how to communicate with pre-school children and their parents. CDC訪問によって、保育者の子ども・保護者との関わりを学ぶ。 ④BY visiting CDC、and doing teacher training,learn how to communicate with children and study childcare contents. CDC訪問で保育を行い、子どもたちとのコミュニケーションの取り方や保育内容について学ぶ。 ⑤To know the current situation of acceptance foreign children to Japanesse nursery school by having the lecture from the nursery school stuff. 日本での外国人の受け入れについて現場の保育者から講和を聞き、現状を知る。
授業計画	１　オリエンテーション 全員の対してのオリエンテーション科目の選択 ２　CDC訪問について必要書類のアナウンス CDC訪問についての必要書類とは ３　国際コミュニケーション演習Ⅱ 授業についてのオリエンテーション 評価・授業の進め方について ４　CDC訪問に向けての講演 CDCで働く保育者に日課・保育内容・保育の方法を学ぶ ５　CDC訪問準備（日本語での指導案作成） 訪問グループごとに指導案作成 ６　CDC訪問準備（指導案に基づいた教材準備） 訪問グループごとに教材準備 ７　CDC訪問準備（英語での保育準備） 訪問グループごとに英語で保育実践 ８　CDC訪問最終オリエンテーション、訪問準備 訪問の最終確認（書類・教材準備） ９　訪問　　講義 訪問のグループは引率教員の指示を受けること。 その他の学生は学内で通常講義 １０　訪問　　講義 訪問のグループは引率教員の指示を受けること。 その他の学生は学内で通常講義 １１　訪問　　講義 訪問のグループは引率教員の指示を受けること。 その他の学生は学内で通常講義 １２　訪問　　講義 訪問のグループは引率教員の指示を受けること。 その他の学生は学内で通常講義 １３　日本での外国人の保育・子どもとのコミュニケーション 現場保育者を招き、外国人の子どもとのコミュニケーション・子ども同士のコミュニケーションについて学ぶ １４　日本での外国人の保育・保護者とのコミュニケーション 現場保育者を招き、外国人の保護者とのコミュニケーション方法について（会話・おたより帳・手紙など）学ぶ １５　学習のまとめ 授業・訪問についてのまとめ
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①To　know or be interested in not only the Japan nursery system but overseas'.There are various forms of nursery systems. 日本の保育だけでなく、海外の保育にも興味を持ち、さまざまな保育形態があることを知る。 ②To study different nursery system between Japan and Other countries by visiting CDC. CDC訪問によって日本と海外の保育の違いを学ぶ。 ③To learn different communication methods. さまざまなコミュニケーションの手法を学ぶ。 ④To cultivate the communication skills required for nursery schools.

	保育に必要な英会話・コミュニケーション力を養う。 ⑤To learn about the communication skills with their parents. 子どもだけでなく、保護者とのコミュニケーションスキルについても学ぶ。 授業態度（２５％）、提出物（レポート等の課題（２５％）、CDCへの訪問準備（２５％）、当日の活動内容（２５％）を総合的に見て評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：課題ごとに、必要なプリントを配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】授業でアナウンスされる内容に応じて対応すること。 Please note that this syllabus is subject to change based on the needs of the class.

講義科目名称：スポーツ科学　　授業コード：21132

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１	必修
担当教員			
中尾　健一郎			

講義概要	①スポーツと人との関わりについて理解する　スポーツを捉える視点について理解する　自からのスポーツとの関わりについて振り返る ②健康体力維持と運動との関わりについて理解する　有酸素運動について理解する　食生活と運動とのかかわりについて理解する ③スポーツ立国戦略について理解する　スポーツ基本法について理解する　スポーツ基本計画について理解する ④バイオメカニクス的視点について理解する　スポーツ心理学的視点について理解する　スポーツ経営学的視点と情報戦略について理解する ⑤自らの生活とスポーツとの関わりについて説明する　健康と運動やスポーツとの関係について理解する　生涯スポーツの観点について理解する。
授業計画	１　運動能力検査の実施 運動能力検査を実施し、自分の運動やスポーツへの関わりについて考えるきっかけとする 学習課題　復習：配布資料を参考にスポーツとの関わりをまとめる 予習：現在の運動能力について振り返る ２　スポーツと人の関わりと生涯スポーツの考え方について する・みる・支える・創るなどスポーツとのかかわりと生涯にわたるスポーツライフについて考える 学習課題　復習：配布資料を参考に自分のこれまでの関わり方についてまとめる 予習：運動・スポーツが健康づくりにどう役立つのか調べる ３　健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について 運動能力の結果をもとに健康・体力づくりと運動・スポーツの関係について学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考に健康体力づくりに果たす運動・スポーツの役割についてまとめる 予習：健康・体力づくりの方法について調べる ４　健康・体力づくりの方法について① 有酸素運動の効果について学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考に効果的な有酸素運動の方法についてまとめる 予習：筋力トレーニングの方法について調べる ５　健康・体力づくりの方法について② 筋力トレーニングの効果について学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考に効果的な筋力トレーニングの方法についてまとめる 予習：食と運動の関係について調べる ６　健康・体力づくりと食生活について 食生活と健康・体力づくりの関係について学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考に健康的な食生活の実践方法についてまとめる 予習：日本のスポーツ振興の現状について調べる ７　日本のスポーツ振興の現状と課題 統計データからスポーツ振興の現状と課題について学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考にスポーツ振興の現状と課題についてまとめる 予習：国のスポーツ振興策について調べる ８　日本のスポーツ振興策について スポーツ基本法、スポーツ基本計画について学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考にスポーツ基本法、スポーツ基本計画のポイントをまとめる 予習：オリンピックなどのトップアスリートの活躍について調べる ９　トップアスリートのパフォーマンスとスポーツ科学的視点① スポーツ科学的視点から各競技のトップアスリートのパフォーマンスを理解する① 学習課題　復習：配付資料を参考にトップアスリートの特徴をまとめる 予習：オリンピックなどのトップアスリートの活躍について調べる １０　トップアスリートのパフォーマンスとスポーツ科学的視点② スポーツ科学的視点から各競技のトップアスリートのパフォーマンスを理解する② 学習課題　復習：配付資料を参考にトップアスリートの特徴をまとめる 予習：オリンピックなどのトップアスリートの活躍について調べる １１　トップアスリートのパフォーマンスとスポーツ科学的視点③ スポーツ科学的視点から各競技のトップアスリートのパフォーマンスを理解する③ 学習課題　復習：配付資料を参考にトップアスリートの特徴をまとめる

	予習：オリンピックなどのトップアスリートの活躍について調べる １２　トップアスリートのパフォーマンスとスポーツ科学的視点④ スポーツ科学的視点から各競技のトップアスリートのパフォーマンスを理解する④ 学習課題　復習：配付資料を参考にトップアスリートの特徴をまとめる 予習：スポーツにおける情報戦略について調べる １３　スポーツにおける情報戦略について① チームスポーツの情報戦略について学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考にチームスポーツの情報戦略のポイントについてまとめる 予習：個人競技の情報戦略について調べる １４　スポーツにおける情報戦略について② 個人競技の情報戦略について学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考に個人競技の情報戦略のポイントをまとめる 予習：熱中症について調べる １５　子どもの熱中症対策について 乳幼児の熱中症とその対策及び対応について学ぶ 学習課題　復習：子どもの熱中症対策について振り返る 予習：これからのスポーツライフについて考える １６　理想的な運動基準と効果的な実践方法について 生涯にわたるスポーツライフの実現に向けた計画の立て方について学ぶ 学習課題　復習：現実的な計画を作成し実践する 予習：
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①する・みる・支える・創るなど人とスポーツの関わりについて説明できるようになる ②健康・体力づくりに果たすスポーツの役割について説明できるようになる ③日本のスポーツ振興の現状を知り、スポーツ基本法、スポーツ振興基本計画について説明できる ④様々なスポーツの科学的視点を知り、トップアスリートのパフォーマンスを理解できるようになる ⑤自らの生活習慣を振り返り、生涯スポーツの考え方を理解できるようになる 期末レポート提出による評価（６０％）　教養としてスポーツが身についているかどうか評価 小レポート５回（４０％）　講義内容をポイントを押さえて理解できているか評価 到達目標 ①する・みる・支える・創るなど人とスポーツの関わりについて説明できるようになる ②健康・体力づくりに果たすスポーツの役割について説明できるようになる ③日本のスポーツ振興の現状を知り、スポーツ基本法、スポーツ振興基本計画について説明できる ④様々なスポーツの科学的視点を知り、トップアスリートのパフォーマンスを理解できるようになる ⑤自らの生活習慣を振り返り、生涯スポーツの考え方を理解できるようになる
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布する 参考書：教養としてのスポーツ科学　大修館書店
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に教室にて質問を受け付ける
備考・メッセージ	

講義科目名称：スポーツ実習　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
野田　章子			

講義概要	①健康調査をおこなう　体力テストをおこなう　体力評価をおこなう ②さまざまなスポーツのルールを理解できる　試合での実践ができる　意欲的な活動ができる ③チームを編成することができる　チームでの練習ができる　チームでの試合ができる ④トレーニング論を理解する　基礎トレーニングを理解する　チームでの試合ができる ⑤生活習慣を見直す　自分に合った運動プログラムを考える　今後のライフスタイルと運動を考える
授業計画	１　体力テスト 新体力テストの実施 ２　トレーニング理論 有酸素トレーニングと筋力トレーニングの実践 ３　バドミントン① ルールの理解と基本練習 ４　バドミントン② リーグ戦形式によるゲーム ５　バドミントン③ リーグ戦形式によるゲーム ６　バドミントン④ リーグ戦形式によるゲーム ７　バレーボール① ルールの理解と基本練習 ８　バレーボール② リーグ戦形式によるゲーム ９　バレーボール③ リーグ戦形式によるゲーム １０　卓球① ルールの理解と基本練習 １１　卓球② シングルスまたはダブルスのゲーム １２　バスケットボール① ルールの理解と基本練習 １３　バスケットボール② リーグ戦形式によるゲーム １４　バスケットボール③ リーグ戦形式によるゲーム １５　まとめ 自分に適した運動を考える
授業形態	実技
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分の健康と体力に関心をもつ　②運動・スポーツの楽しさを味わう ③スポーツを通じたコミュニケーション能力の向上　④運動技術の向上 ⑤体力年齢の向上 課題への取り組み、授業内レポート、体力テスト、実技テスト、成果レポートを総合して評価を行う。 課題への取り組み50%、授業内レポート20%、体力テスト10%、実技テスト10%、成果レポート10%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：必要に応じて資料を配布
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。

備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】ストレッチや準備運動をしてけがの防止に役立てること。 実技向上のために個人練習をしておくこと。

講義科目名称：コンピュータ演習　　授業コード：11132　13131　14132

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	卒業：選択　幼二免：必修
担当教員			
小浦　康平			

講義概要	①パソコンの基本操作や各種設定方法を身につけ、タッチタイピングを習得する ②インターネットを使用する上で必要な社会ルールやマナー、著作権について理解する。ホームページ閲覧や検索方法などを身につける ③Wordを使い、正確かつスピーディな文書作成が行えるよう、基本操作を学習する 保育現場で必要な園だよりを作成する ④Excelを使い、計算式や関数の組み立て、表の装飾やグラフの作成を学習する 行事カレンダーや出席簿を作成する ⑤PowerPointを使い、プレゼンテーションの仕方および注意点等を学習する 電子絵本を作成し発表する
授業計画	１　コンピュータの基礎知識 パソコンの基本操作、各種設定、ファイル保存、タイピングの基本 学習課題　復習：パソコンがどのようなしくみで構成されているか操作方法と、大学内でのファイルの保存場所などを確認する ２　文書作成（１） Wordの基本操作、画面構成、タイピング、文字入力（ひらがな、カタカナ、漢字変換） 学習課題　復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する ３　文書作成（２） ビジネス文書の作成（あいさつ文の挿入、文字の装飾、書式設定、拡張書式設定） 学習課題　復習：中央揃えやインデントなど文字の配置や飾りつけの練習課題を行う ４　文書作成（３） 表枠作成（表の挿入、列の分割・結合、罫線の装飾） 学習課題　復習：表挿入のボタンの位置および完成例をもとにした表枠作成の練習課題を行う ５　文書作成（４） 図形の操作（図形の基本操作、クリップアート、オートシェイプ、写真） 学習課題　復習：図形の拡大縮小・移動などの基本操作の確認と、図形を含む練習課題を行う ６　Wordのまとめ 総復習・課題作成（園だより） 学習課題　復習：レイアウトを整え、イラストや表枠を入れた見やすく楽しい園だよりを完成させる ７　Excelの基礎（１） 表計算の基本用語と概念、画面構成、データ入力の基礎、オートフィル、セルの書式設定 学習課題　復習：効率の良い範囲選択や曜日などの自動入力など、テキストを見なおして例題を解く ８　Excelの基礎（２） 計算式（加減乗除）、関数（合計、平均、カウント、最大、最小） 学習課題　復習：計算式の作成と関数の使用（オートSUM）の練習課題を行う ９　Excelの基礎（３） 関数（IF、RANK、COUNTIF）、データの並べ替え 学習課題　復習：目的に応じた関数の使用、住所録などの並べ替えの練習課題を行う １０　Excelのまとめ 総復習・課題作成（行事カレンダー・出席簿） 学習課題　復習：適切な関数を活用し、レイアウトを整えた見やすい行事カレンダーや出席簿の作成を行う １１　情報モラルおよびインターネットの活用 インターネット社会のルール・マナー、著作権の保護、情報検索方法 学習課題　復習：インターネットを活用する際の危険な行為を再度認識し、ネット活用を行う １２　PowerPointの基礎（１） スライドの作成、テキスト・図の挿入、アニメーションの設定 学習課題　復習：文字や図を活用したスライド作成の練習課題を行う １３　PowerPointの基礎（２） スライドショー操作および発表の注意点、印刷・配布資料の作成 電子絵本作りの課題内容説明

	１４ １５ 学習課題　復習：電子絵本の構成を考える PowerPointのまとめ 課題作成（電子絵本） 学習課題　復習：電子絵本作りに必要な素材集めや、資料作成を行う PowerPointのまとめ・発表 電子絵本のプレゼンテーション発表 学習課題　復習：効果的な手法でのプレゼンテーション発表を振り返り、改善点を考える
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①パソコンの基本操作を理解し、タッチタイピングができる ②情報モラルの基礎的な知識を習得している ③Wordを使い、イラストや写真を用いた園だよりの作成ができる ④Excelを使い、行事カレンダーや出席簿など、実践的な表の作成ができる ⑤PowerPointを使い、電子絵本を作成し、適切に発表を行うことができる 積み上げ式の授業内容となるため、授業ごとに提出する課題作成を重視するとともに、最終の授業中に行う発表の結果を加味して総合的に評価する。 文書作成（Word）の課題：30% 表計算（Excel）の課題：30% プレゼンテーション（PowerPoint）の発表：40%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：コンピュータ演習（テキスト代：1,000円）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：保育原理　　授業コード：32132　33131

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
川原　ゆかり			

講義概要	①教育・保育の基本的概念や理念を身に付けるとともに、教育・保育制度の歴史について理解し、教育・保育の本質及び目標を理解する ②社会的隔離児について学び、子どもの発達についての基礎理解をする ③多様な教育・保育の理念との関わりや過去から現代にいたるまでの教育の変遷を理解し、子ども・家庭・社会の関係について考え、教育・保育とは何かについて考える ④特別支援教育の背景　特別支援教育の目ざすもの　軽度発達障害児の支援と幼児教育施設の役割 ⑤子育て支援の現状と課題を知る　児童虐待と家族支援について理解を深める　求められる保育者像について考察する
授業計画	１　この講義のねらいと動機づけ（教育、保育の基本的概念や理念を身に付ける） 自己紹介レポート（私と家庭・学校・目指す保育者象） 復習：教育、保育の基本概念をまとめる 予習：子どもの発達の原点・基礎・原則などについて調べてくる ２　社会的隔離児 子どもの発達の原点・基礎・原則など 復習：社会的隔離とは何か、そのことによって生じうる現象についてまとめる 予習：野生児からイメージする人間の行動や性格を自分なりにまとめる ３　子どもの発達の理解Ⅰ アヴェロンの野生児に見る子どもの発達 復習：人間性は教育によって形成されるものであるのか考えてみる 予習：社会的になぜ教育が必要であるのか調べてくる ４　保育の社会的役割と責任 保育制度としての保育所・幼稚園・認定こども園とは？ 復習：保育所、幼稚園、認定こども園の違いをまとめる 予習：保育所保育指針に目を通してくる ５　保育とは？ 保育の制度的位置づけ 復習：保育制度の歴史を見直す 予習：子どもの権利について調べてくる ６　子どもの権利擁護と地域子育て支援（赤ちゃんポスト） 復習：赤ちゃんポストの課題をまとめる 予習：幼稚園教育要領に目を通してくる ７　保育所保育方針・幼稚園教育要領・教育・保育要領に基づく保育 復習：様々な方針に基づく保育の共通点をまとめる 予習：子どもの発達段階0歳から2歳の特徴を調べる ８　子どもの発達の理解Ⅰ 教育、保育の本質及び目標を理解する 復習：教育の目標を再確認する 予習：子どもの発達段階3歳から5歳の特徴を調べる ９　子どもの発達の理解Ⅱ 教育、保育の理念と教育の変遷を理解する 復習：教育理念の歴史的変遷を時代背景とともにまとめる 予習：養護と教育の違いを調べてくる １０　保育の特性と保育実践 養護と教育の一体化 復習：養護と教育が一体となった保育の具体例をまとめる 予習：発達障害について調べてくる １１　特別支援教育について 経度発達障害児の理解と指導 復習：今日的な特別支援教育を在り方をまとめる 予習：保育者の置かれている状況を調べてくる １２　保育者支援 保育者支援の現状と課題 復習：保育者を支援する政策をまとめる 予習：自由保育と一斉保育について調べてくる １３　保育の目標・保育の方法 さまざまな保育形態について見識を深める 復習：年齢別の保育形態についてまとめる 予習：外国籍の子どもが自分のクラスにいたらどのような対応が必要か考えてみる １４　外国人の子どもの保育 保育の国際化・外国人の保育の現状と課題 復習：外国人保育における配慮事項をまとめる 予習：自分が好きだった保育者を思い出し、どこが好きだったか書き出す １５　望まれる保育者像を目ざして 求められる保育者の条件・資質について考える

	復習：自分が理想とする保育者像をまとめ後期の学修に備える
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①保育や教育の歴史を知り、現在の教育及び保育事情をつまびらかにする ②教育の理念や思想を学ぶ ③保育（教育）制度について学習する ④特別支援教育について研鑽する ⑤子育て支援について理解を深め、求められる保育者像を模索する。 授業内レポート（１０％）、授業の取り組み状況（１０％）、筆記試験（８０％）を総合しておこなう。
科目（教職課程用）	教育の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
教科書・参考書	テキスト：『保育原理』　金村美千子　編著　　同文書院 参考書：『新しい保育原理』　藤森　守・渡邊真一・鈴木みゆき　企画編集　　樹村房 ：幼稚園教育要領、保育所保育指針
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	レポートの読み方、まとめ方、書き方など物事の捉え方などを通し、考える力をのばす。 保育を取り巻く今日的な課題に興味を持ち、保育行政の知見を高めること。専門用語の意味等を理解しておくこと。

講義科目名称：教育原理　　授業コード：43134　44132

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	必修
担当教員			
末吉　敬			

講義概要	①人間について考察し、人はなぜ教育を必要とするのか等教育の基本的な意味・意義についての理解を深める。 ②現在の日本、欧米、アジアにおける幼稚園、保育所、学校に関する教育の歴史・思想について知り将来のあり方をさぐる。 ③学校（幼児教育・保育を含む）における教育（保育）計画、評価、カリキュラムの歴史について具体的に理解する。 ④ケアリングとしての教育や発達障害と特別支援教育等幼稚園、保育所、学校における今日的課題について考える。 ⑤教師の仕事、子どもや家庭が望む教師像、教師と権威について考え、自己の教師像を確認する。
授業計画	１　オリエンテーション ○人間と教育　「教育の必要性」「子どもの権利」 学習課題　復習：人間と教育に関する学習内容の確認 予習：人間と教育の確認 ２　人間と教育 ○人間と教育　「子ども観」「しつけ、過保護、過干渉」「教育の早期化」 学習課題　復習：人間と教育に関する学習内容の確認 予習：教育の具体的な営みの確認 ３　教育ーその具体的な営みー ○学校の歴史・しくみ　「日本・欧米・アジアの学校の歴史・思想」 学習課題　復習：教育の具体的な営みに関する学習内容の確認 予習：教育の具体的な営みの確認 ４　教育ーその具体的な営みー ○学校の歴史・しくみ　「教育政策」「文部科学省と中央教育審議会」 学習課題　復習：教育の具体的な営みに関する学習内容の確認 予習：教育の具体的な営みの確認 ５　教育ーその具体的な営みー ○学校の歴史・しくみ　「フリースクール」「脱学校」 学習課題　復習：教育の具体的な営みに関する学習内容の確認 予習：教育の具体的な営みの確認 ６　教育ーその具体的な営みー ○学習・教育課程・学力　「教育目的・内容」「教育課程」「学習指導要領」 学習課題　復習：教育の具体的な営みに関する学習内容の確認 予習：教育の具体的な営みの確認 ７　教育ーその具体的な営みー ○学習・教育課程・学力　「評価」「学力」 学習課題　復習：教育の具体的な営みに関する学習内容の確認 予習：教育の具体的な営みの確認 ８　教育ーその具体的な営みー ○「教える」という仕事と学校文化　「教えと学び」「担任と仕事」「授業」「体罰と懲戒・人権教育」 学習課題　復習：教育の具体的な営みに関する学習内容の確認 予習：教育の具体的な営みの確認 ９　教育ーその具体的な営みー ○教師としての成長「教師として成長するとは」「教師と権威」 学習課題　復習：教育の具体的な営みに関する学習内容の確認 予習：教育と学校の社会的基盤の広がりの確認 １０　教育と学校の社会的基盤の広がり ○子どもへの支援と学校　「人間観の転換と臨床教育学の登場」「ケアリングとしての教育」「発達障害と特別支援教育」 学習課題　復習：教育と学校の社会的基盤の広がりに関する学習内容の確認 予習：教育と学校の社会的基盤の広がりの確認 １１　教育と学校の社会的基盤の広がり ○子どもへの支援と学校　「不登校」「いじめ」「学級崩壊」 学習課題　復習：教育と学校の社会的基盤の広がりに関する学習内容の確認 予習：教育と学校の社会的基盤の広がりの確認 １２　教育と学校の社会的基盤の広がり ○家庭・地域・社会と学校「学校の社会機能」 学習課題　復習：教育と学校の社会的基盤の広がりに関する学習内容の確認 予習：教育と学校の社会的基盤の広がりの確認 １３　教育と学校の社会的基盤の広がり ○家庭・地域・社会と学校「学校の安全とリスクマネジメント」「学者融合」 学習課題　復習：教育と学校の社会的基盤の広がりに関する学習内容の確認 予習：教育と学校の社会的基盤の広がりの確認 １４　今日的教育課題 ○集団討論会（教育の今日的課題をテーマ）　「個人研究→集団討論→代表者発表」

	学習課題　復習：今日的教育課題に関する学習内容の確認 予習：今日的教育課題の確認 １５　今日的教育課題 ○集団討論会（発表会）「発表会のまとめ」「これまでの学習を振り返り目指す教師像についてまとめる」 学習課題　復習：今日的教育課題に関する学習内容の確認 予習：今日的教育課題の確認
授業形態	講義（単独）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①子ども観の変遷と人間の「成長」と「発達」について知り、人間と教育について理解を深める。 ②他国の学校に関する教育の歴史・思想について概略を知り、自国のそれと対比し考察する。 ③学校における教育課程について理解を深める。 ④教育と学校の社会的基盤の広がりと今日的教育課題について知り、その対策について理解を深める。 ⑤教師としての成長とは何かについて理解を深める。 各授業ごとの小レポート（５０％）、講義全体のまとめのレポート（５０％）を総合して行う。
科目（教職課程用）	教育の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
教科書・参考書	テキスト：やわらかアカデミズム・（わかる）シリーズ『よくわかる教育原理』汐見稔幸・伊東　毅・高田文子・東　宏行　編著 【参考書：幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領】
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	幼稚園等での実習経験をふまえ、日常生活の中で自ら教育に対する考えをもち授業に臨む。

講義科目名称：児童家庭福祉Ⅰ　　授業コード：24132　51131

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	講義
担当教員			
志賀　信夫			

講義概要	①現代の児童家庭福祉を保育者の視点で概観し、子どもの権利や児童家庭福祉の成り立ちを学ぶ。 ②児童家庭福祉の法体系と行政・実施機関および施設について学ぶ。 ③社会的養護やいろいろな保育サービスおよび障害児の福祉を学ぶ。 ④子どもを取り巻く諸問題および子育て支援や健全育成について学ぶ。 ⑤児童家庭福祉の専門職と専門技術について学ぶ。
授業計画	１　ガイダンス 授業の進め方について説明を受け、児童家庭福祉とは何かを理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの第１章を読んでおくこと ２　現代の児童家庭福祉と保育士 少子高齢化をキーワードに現代の子どもを取り巻く状況および保育士の役割について理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの第２章を読んでおくこと ３　子どもの権利 子どもの権利とは何か、児童福祉法や子どもの権利条約等を通して理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第３章の前半を読んでおくこと ４　児童家庭福祉の成り立ち（１） 欧米における児童家庭福祉の成り立ちを歴史を通して理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第３章の後半を読んでおくこと ５　児童家庭福祉の成り立ち（２） わが国における児童福祉法の成り立ちを歴史を通して理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第４章前半を読んでおくこと ６　児童家庭福祉の法体系 児童家庭福祉に関する法律を概観する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第４章後半を読んでおくこと ７　児童家庭福祉の行政・実施機関 児童家庭福祉に関わる行政機関等を概観する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第５章を読んでおくこと ８　児童福祉施設 児童福祉法に規定されている施設を概観する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第６章を読んでおくこと ９　社会的養護 社会的養護とは何かを理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第７章を読んでおくこと １０　保育サービス 保育や子育て支援策の現状を概観する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第８章を読んでおくこと １１　障害児の福祉 障害児を取り巻く現状を概観し、障害児の福祉と保育を理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第９章を読んでおくこと １２　子どもを取り巻く諸問題 児童虐待、情緒障害、少年非行とは何か理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第１０章を読んでおくこと

	１３　子育て支援と健全育成 子育て支援および子どもの健全育成の現状を概観する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第１１章を読んでおくこと １４　児童家庭福祉の専門職と専門技術 児童家庭福祉に携わる専門職の役割を理解する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習： １５　まとめ 授業の振り返りと質疑応答 学習課題　復習：学習したことをまとめ、試験に向けて準備をする
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①児童家庭福祉の成り立ちを理解し子どもの権利について考えを深めることができるようになる。 ②児童家庭福祉の法体系と行政・実施機関の関係や機能を理解できるようになる。 ③児童家庭福祉に関する社会的資源やサービスについて理解できるようになる。 ④児童家庭福祉の専門職としての役割を理解できるようになる。 ⑤児童家庭福祉の現代的課題について関心を持ち、意見が述べられるようになる。 毎回小テストを実施し、その得点により授業内容の理解度を評価する。また、授業により得た知識がどの程度身についたかについては定期試験で評価する。 ①小テスト50% ②定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：喜多一憲監修・堀場純矢編『みらい?子どもの福祉ブックス　児童家庭福祉』みらい、2017年。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	耳慣れない用語が多数出てくるので、疑問点を残さず主体的に学習する姿勢をもつこと。

講義科目名称：社会福祉　　授業コード：22131　24135

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	講義
担当教員			
藤島　法仁			

講義概要	社会福祉とは何か。社会福祉を学ぶ視点、意味・内容を学習し、社会福祉の分野（子どもと家族、障害者、高齢者、地域）について理解を深める。
授業計画	1　保育と社会福祉 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　「保育のたどった道すじ」を読んでおくこと。 2　保育のたどった道すじ 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：社会福祉の目的について調べておくこと。 3　社会福祉の意味 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：福祉六法について調べておくこと。 4　社会福祉の範囲と法体系 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：社会福祉における国と地方公共団体の役割について調べておくこと。 5　社会福祉の公的機関と民間機関 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：社会保険の種類について理解しておくこと。 6　社会保険の種類と内容 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：生活保護制度について調べておくこと。 7　生活保護制度の意味と内容 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：児童福祉施設について調べておくこと。 8　子どもと家族のための福祉サービス 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：少子化に対する国の取り組みについて調べておくこと。 9　少子化に対する国の取り組みと保育士に求められる子どもと家族への支援 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　「障害のとらえ方とその定義」を読んでおくこと。 10　障害のある人の福祉 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　「高齢者の生活問題と福祉ニーズ」を読んでおくこと。 11　高齢者の福祉 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　「地域福祉の活動」を読んでおくこと。 12　地域福祉 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　「社会福祉の職種と職場」を読んでおくこと。 13　社会福祉の専門職と倫理 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：ソーシャルワークについて調べておくこと。 14　保育士とソーシャルワーク 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：権利擁護について調べておくこと。 15　利用者の権利擁護 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。
授業形態	講義を中心とするが、適宜、グループでの話し合いなどを行う。

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①社会福祉を学ぶ視点について理解を深める。 ②社会福祉の法体系（福祉六法）について理解を深める。 ③社会保障制度の体系（社会保険や生活保護制度など）について理解を深める。 ④社会福祉の分野について理解を深める。 ⑤子どもと家族の福祉における保育士の役割について理解を深める。 授業態度、レポート、定期試験を総合して評価を行う。 授業態度20%、レポート10%、定期試験70%。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書『保育士をめざす人の社会福祉』相澤譲治編、みらい。 参考書『保育福祉小六法』みらい。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月、水、木の放課後
備考・メッセージ	積極的に講義に参加してほしい。

講義科目名称：相談援助　　授業コード：42134　43135

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	卒業：必修、保育士：必修
担当教員			
花城　暢一			

講義概要	①少子高齢社会について理解する　子育て不安や虐待について考察する　地域子育て支援について考察する ②言語コミュニケーションに理解する　非言語コミュニケーションについて理解する　自己覚知について理解する ③ソーシャルケースワークについて理解する　グループワークについて理解する　その他の方法・技術について理解する ④面接の技法について理解する　その他の技法について理解する ⑤職業倫理について考察する　保育者に求められる資質について考察する　実践事例の検討を行う
授業計画	１　オリエンテーション 授業のねらいと進め方について 学習課題 予習：配布資料を読む。 ２　保育と相談援助 保育士が相談援助を学ぶ意義を理解する 学習課題　復習：授業内容を振り返る。 予習：配布資料を読む。 ３　相談援助の概要 相談援助の概要について理解する 学習時間　復習：授業内容を振り返り、自身の考えを整理する。 予習：配布資料を読む。 ４　相談援助の意義と機能 相談援助の意義と機能について理解する 学習課題　復習：相談援助意義と機能を明確にする。 予習：配布資料を読む。 ５　相談援助の理論 相談援助の理論を学ぶ 学習課題　復習：基本的な知識を理解する。 予習：配布資料を読む。 ６　保育とソーシャルワーク 保育とソーシャルワークの関わりについて学ぶ 学習課題　復習：保育とソーシャルワークの関わりについて理解する。 予習：配布資料を読む。 ７　相談援助の展開過程 相談援助の展開過程を学ぶ 学習課題　復習：相談援助の展開過程を振り返る。 予習：配布資料を読む。 ８　よりよい相談のために 相談に適した環境等を考える 学習課題　復習：環境設定のポイントを整理する。 予習：配布資料を読む。 ９　相談援助の具体的展開１ 個人に対する援助技術 学習課題　復習：個別援助の方法を振り返る。 予習：配布資料を読む。 １０　相談援助の具体的展開１ 個別援助の具体的展開 学習課題　復習：演習内容全体を整理する。 予習：配布資料を読む。 １１　相談援助の具体的展開２ 小集団を活用した援助 学習課題　復習：集団援助の方法を振り返る。 予習：配布資料を読む。 １２　相談援助の具体的展開２ グループワークの進め方・諸原則 学習課題　復習：演習内容全体を整理する。

	予習：配布資料を読む。 １３　記録・連携・協働の在り方 記録と評価、関係機関との連携等について学ぶ 学習課題　復習：記録と評価の方法を整理する。関係機関の連携のあり方について振り返る。 予習：配布資料を読む。 １４　事例分析 相談援助の実際について事例検討を行う 学習課題　復習：事例検討の内容を整理 る。 予習：配布資料を読む。 １５　保育士の役割と専門性 保育士の役割と専門性について学ぶ 学習課題　復習：これまでに学習した内容を総復習する。 予習：配布資料を読む。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①保育者として社会生活上の諸問題に関心を高めることができる。 ②利用者（子どもや保護者など）とのコミュニケーションについて理解を深めることができる。 ③相談援助の概要や方法・技術についての理解を深めることができる。 ④事例分析等を用いて相談援助の具体的展開について理解を深めることができる。 ⑤保育者に求められる役割や専門性について理解を深めることができる。 ○授業内で実施するレポート課題（20％） ○評価期間内に実施する筆記試験（70％） ○事例検討など、授業全体を通した学習に取り組む姿勢（10％）を総合して評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：参考資料をその都度配布します。 参 考 書：『保育者のための相談援助』　小林育子　他　　萌文書林
履修条件	
履修上の注意	原則、指定された座席で受講すること。（座の移動を希望する場合はご相談下さい）
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：社会的養護　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	卒業：必修、保育士：必修
担当教員			
花城　暢一			

講義概要	①児童養護について理解する　家庭養育について理解する　社会的養護について理解する ②欧米の歴史について学習する　日本の歴史について学習する　先駆者の取り組みについて学習する ③施設養護について理解する　里親について理解する　グループホーム等について理解する ④児童相談所の役割について理解する　その他の関係機関・団体の役割について理解する ⑤職業倫理について考察する　保育士の資質について考察する　実践事例の検討を行う
授業計画	１　オリエンテーション 講義のねらいと進め方について 学習課題 予習：配布資料を読む。 ２　社会的養護と保育士 社会的養護の意味、目標、視点を学習する 学習課題　復習：社会的養護と保育士の関係性について振り返る。 予習：配布資料を読む。 ３　社会的養護の成り立ちと最近の動向 社会的養護の歴史を学ぶ 学習課題　復習：社会的養護の歴史について振り返る。 予習：配布資料を読む。 ４　社会的養護の基本的な考え方 子どもの権利、自立支援等について学ぶ 学習課題　復習：社会的養護の基本的な考え方について振り返る。 予習：配布資料を読む。 ５　社会的養護の種類と内容１ 社会的養護の形態を学ぶ 学習課題　復習：社会的養護の形態について理解する。 予習：配布資料を読む。 ６　社会的養護の種類と内容２ 施設養護の内容を学ぶ　～養護・障害児系施設～ 学習課題　復習：社会的養護の種類と内容(養護に・障害児系施設）ついて理解する。 予習：配布資料を読む。 ７　社会的養護の種類と内容３ 施設養護の内容を学ぶ　～治療・育成系施設～ 学習課題　復習：社会的養護の種類と内容（治療・育成系施設）について理解する。 予習：配布資料を読む。 ８　社会的養護の種類と内容４ 家庭的養護の種類と内容を学ぶ 学習課題　復習：社会的養護の種類と内容（家庭的養護）について理解する。 予習：配布資料を読む。 ９　施設養護における保育士の援助 施設養護の目標・過程・援助を学習する 学習課題　復習：施設における保育士の役割等を理解する。 予習：配布資料を読む。 １０　家庭への支援 家庭機能、保育士の役割を学習する 学習課題　復習：家庭への支援(保育士の役割）について理解する。 予習：配布資料を読む。 １１　施設と関係機関 施設と児童相談所等の関係機関の関わりを学ぶ 学習課題　復習：施設と関係機関の関わりについて理解する。 予習：配布資料を読む。 １２　里親の現状と課題 里親制度の現状、諸課題について学ぶ 学習課題　復習：里親制度の現状と課題について振り返る。 予習：配布資料を読む。 １３　関連施設・機関の状況把握Ⅰ

	視聴覚教材を使用した学習 学習課題　復習：社会的養護の取り組みについて振り返る。 予習：配布資料を読む。 １４　関連施設・機関の状況把握Ⅱ 視聴覚教材を使用した学習 学習課題　復習：社会的養護の取り組みについて振り返る。 予習：配布思慮を読む。 １５　保育士の役割と専門性 社会的養護における保育士の役割と専門性について学ぶ 学習課題　復習：社会的養護における保育士の役割と専門性について理解する。 予習：配布資料を読む。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点　評価手段・方法　評価比率 関心・意欲・態度　社会的養護における保育士の役割について理解を深めることができる。　レポート課題　10% 学習に取り組む姿勢　10% 思考・判断　社会的養護の歴史的変遷を踏まえ、今日の社会的養護の課題を理解することができる。　レポート課題　10% 筆記試験　20% 技能・表現　社会的養護における保育士の援助方法・姿勢について理解することができる。　レポート課題　10% 筆記試験　20% 知識・理解　社会的養護の基本的な考え方を理解することができる。　筆記試験　20% ○授業内で実施するレポート課題（30%） ○評価期間内に実施する筆記試験（60%） ○事例検討など、授業全体を通した学習に取り組む姿勢（10%）を総合して評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：参考資料をその都度配布します。 参 考 書：『保育と社会的養護原理』大竹智　他　編集　　みらい 『保育福祉小六法』みらい
履修条件	
履修上の注意	原則、指定された座席で受講すること。（席の移動を希望する場合はご相談下さい）
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：保育者論　　授業コード：22133

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期・後期	２年	２単位	選択　幼稚園教諭必修
担当教員			
安部　恵美子・川原　ゆかり			

講義概要	①保育職が携わるフィールド　保育・教育者の社会的意義を理解するための素養　子どもとの関係構築の基本　公教育の目的とその担い手である教員の存在意識の理解 ②保育者資格の位置づけ　関連諸法令・規則・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「保育・教育要領」の理解 ③西欧や日本の社会保障の歴史概説と保育の先達の業績　教員感の変遷を踏まえ、今日の保育者に求められる能力の理解 ④保育者養成校の担う役割が拡大・多様化する中で、内外の専門家と連携して対応する必要性を理解し、子育て支援の場に求められる保育者の資質の理解 ⑤保育職の社会的評価（服務上・身分上の義務及び身分保障・待遇・研修制度）を理解している
授業計画	１　保育職の意義（川原） 保育者から見る保育の世界 子どもの目から見る保育の世界 ２　保育職の仕事と役割（１）（川原） 保育者の仕事とは、幼稚園教諭の仕事と役割 ３　保育職の仕事と役割（２）（川原） 保育前における保育士の仕事と役割　保育教諭の仕事と役割 ４　保育者になるための学び（川原） 教育保育を実践するものへの転換、保育者になるために ５　保育の法体系と保育者の位置づけ（1）（安部） 国家資格としての保育者　保育者に関連する諸法令・規則 ６　保育の法体系と保育者の位置づけ（２）（川原） 保育者に求められる幅広い資質　　現代の保育者に期待される役割 学生時代に学ぶことは何か ７　職場で学びあう専門家として（川原） 保育者として働く　職場での学び　学び続ける保育者 ８　保育の法体系と保育者の位置づけ（２）（安部） 海外の保育・保育制度　スウエーデンの保育・子育て支援と保育者 ９　保育制度の変遷と保育者の先達（安部） 西欧の社会的保育の誕生期　ルソー　ペスタロッチ　フルーベルの思想 １０　子どもの育ちの危機と子育て支援（川原） 子どもの育ちが危ない　「子育て支援」と保育者の役割り １１　子どもの育ちの危機と子育て支援（川原） 「気になる子ども」と特別支援教育　「子育て支援」を考える視点 １２　保育制度の変遷と保育者の先達（川原） わが国の近代化と保育制度の発展 １３　現代社会の変化と保育者の仕事や課題（安部） 増加する保育者の課題　国家政策の「子育て支援」と地域・家庭の教育力 「多文化共生教育（保育）」の必要性　これからの保育者に期待されるもの １４　保育者の職務と生活（川原） 保育者の職務　保育の倫理　権利と研修　生涯の仕事としての保育者 １５　保育者になる人へのメッセージ（川原） 生活経験は職業教育につながっている　「人とのかかわり」は、失敗から学ぶもの　学校生活は保育者になるための「宝さがし」　もっともっと輝きたいーまわりには役立つ情報がいっぱい
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①保育職の意義と役割に関する理解を深める ②法的制度の中での保育者の位置づけを確認する ③保育制度の変遷と保育者の先達の足跡を辿る ④多様化する保育ニーズに対応する保育者の資質について考える ⑤保育職の身分保障やキャリア形成について考える 授業の１回目には保育者になるための自己評価に関するレポートの提出、授業内容に関する理解度の確認を行なう。到達目標の達成度を授業期間中に課したレポートや理解度点検シートで確認した後に、従業終了後の評価期間に総合的な評価を実施する。なお、レポートや理解度点検シートをすべて提出しなければ、総合的な評価を受けることができない。 授業内レポートと理解度点検シート（20%）、総合的な評価（80%）
科目（教職課程用）	教育の基礎的理解に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）
教科書・参考書	教科書：『改訂　保育者論』　民秋言 編著　建帛社 参考書：『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』 学修の円滑な促進を図るために、課題ごとに必要な資料を作成し、授業時に配布する。 受講者は配布資料を学習課題に沿ってまとめておくこと。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業、会議、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：教育方法論　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択　幼稚園教諭必修
担当教員			
岩﨑　勢智子・小浦　康平			
担当形態：オムニバス			

講義概要	幼児の発達と保育の役割について今日までの到達点を明らかにしつつ、これからの社会を担う幼児に求められる資質・能力を育成するため、教育の基本的理論・実践（幼児の内面的・発達的理解、環境構成と再構成のあり方、遊びの生成と展開、個と集団の育ち、家庭・地域・小学校との連携、障害児教育等の基礎理論や教育方法など）を講義やパワーポイント、ビデオ、幼児用教具により理解する。また、幼児の興味・関心を高めるにふさわしい情報機器や教材による遊び方や園内の表現的行事の生かし方を考察する。
授業計画	１　保育方法を学ぶ意義（岩﨑） 保育方法とは何か（社会を担う幼児に求められる資質・能力を育成するために） 学習課題　復習　保育方法に関する学習内容の確認 予習　子どもの理解と異本姿勢の確認 ２　子どもの理解と基本姿勢（岩﨑） 保育者の基本姿勢、カウンセリングマインド 学習課題　復習　子どもの理解と異本姿勢に関する学習内容の確認 予習　子どもの理解と援助、指導の確認 ３　子どもの理解と援助、指導（岩﨑） 子どもの理解と援助、指導 学習課題　復習　子どもの理解と援助、指導に関する学習内容の確認 予習　環境を生かした保育方法の確認 ４　環境を生かした保育方法（岩﨑） 保育における環境の構成と再構成（幼児の興味・関心を高めるにふさわしい情報機器や教材による遊び方や園内の表現的行事の生かし方） 学習課題　復習　環境を生かした保育方法に関する学習内容の確認 予習　遊びを通しての総合的な指導方法の確認 ５　遊びを通しての総合的な指導方法（岩﨑） 幼児の生活の中心である遊びの援助（幼児の興味・関心を高めるにふさわしい情報機器や教材による遊び方や園内の表現的行事の生かし方） 学習課題　復習　遊びを通しての総合的な指導方法に関する学習内容の確認 予習　個と集団を生かした保育方法の確認 ６　個と集団を生かした保育方法（岩﨑） 個の育ちと集団の育ちとは、育ち合う姿の深まり広がり 学習課題　復習　個と集団を生かした保育方法に関する学習内容の確認 予習　子どもにふさわしい園生活と保育形態の確認 ７　子どもにふさわしい園生活と保育形態（岩﨑） 幼児の活動と形態、様々な保育形態 学習課題　復習　子どもにふさわしい園生活と保育形態に関する学習内容の確認 予習　発達時期に応じた保育方法の確認 ８　発達時期に応じた保育方法①（岩﨑） ３・４・５歳児の発達と保育方法 学習課題　復習　発達時期に応じた保育方法に関する学習内容の確認 予習　発達時期に応じた保育方法の確認 ９　発達時期に応じた保育方法②（岩﨑） ０・１・２歳児の発達と保育方法 学習課題　復習　発達時期に応じた保育方法に関する学習内容の確認 予習　保育の計画・実践・評価の確認 １０　保育の計画・実践・評価（岩﨑） 保育の計画・実践・評価の実際・指導案を書いてみよう 学習課題　復習　保育の計画・実践・評価に関する学習内容の確認 予習　情報機器の活用方法の確認 １１　情報機器の効果的な活用方法について①（小浦） 情報機器を活用した教材づくり 学習課題　復習　情報機器の活用方法に関する学習内容の確認 予習　保育者に求められる情報モラルの確認 １２　情報機器の効果的な活用方法について②（小浦） 保育者に求められる情報モラルの理解 学習課題　復習　保育者に求められる情報モラルに関する学習内容の確認 予習　小学校との交流活動のデザインの確認 １３　小学校との交流活動のデザイン（岩﨑） 小学校との連携を軸にした保育方法 学習課題　復習　小学校との交流活動のデザインに関する学習内容の確認 予習　配慮を要する子どもへの保育方法の確認 １４　配慮を要する子どもへの保育方法（岩﨑） ちょっと「気になる」子どもの理解と保育の基本的考え方 学習課題　復習　配慮を要する子どもへの保育方法に関する学習内容の確認 予習　よりよき保育者についての確認 １５　よりよき保育者をめざして（岩﨑）

	保育者としての資質について理解 学習課題　復習　よりよき保育者に関する学習内容の確認
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①幼児に求められる資質・能力を育成するため、教育の基本的理論・実践方法を理解する ②幼児を保育していく上で必要となってくる内面的、発達的理解への重要さを理解する ③幼児の興味・関心を高めるにふさわしい情報機器や教材による遊び方や園内の表現的行事の生かし方、環境構成のあり方について理解する ④遊びの生成と展開、育ちと集団での育ちの基礎理論を修得する ⑤障害児教育、幼保小連携などの新しい教育方法を理解する 期末試験・レポート・授業態度で評価する。
科目（教職課程用）	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	テキスト：『保育方法・指導法』　大豆生田啓友・森上史朗・渡辺英則　編　ミネルヴァ書房 参考書：『保育方法論』　山本和美・井柳基名・尾崎恭子　編　樹村房 『現代保育論』　魚谷和史・宍戸健夫・丹羽　孝　編　かもがわ出版 『保育方法の実践的理解』　久富陽子・梅田優子　萌文書林 幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：学級経営論　　授業コード：23132　24134

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	選択　幼稚園教諭必修
担当教員			
安見　詠子			

講義概要	①社会状況の変化を踏まえ、教育政策や学級経営の概要・理念について理解し、学級経営案を立案する ②子どもの生活の変化や幼児の発達について理解し、学級運営の具体的展開について計画立案をする ③５領域の保育内容に関する基本原理や活動について理解し、学級づくりの進め方が分かる ④幼稚園教育要領・保育所保育指針、幼保連携型認定こども園を含めた関係法規・教育行政の理念等を理解し、保育記録の仕方や幼稚園指導要録、保育所児童保育要録、幼保連携型認定こども園要録の記入方法を修得する ⑤保育施設と教育思想、地域社会や家庭との連携など、保育の背景と広がりについて事例を踏まえて理解する ⑥保育施設を取り巻く安全管理等について具体的な取り組みを理解する
授業計画	１　学級経営の概要 学級経営の概要・理念や教育政策についての理解 学習課題　復習　学級経営に関する学習内容の確認 予習　学級経営の理念の確認 ２　学級経営の理念 学級経営の理念と信頼される保育者の在り方 学習課題　復習　学級経営の理念に関する学習内容の確認 予習　学級経営計画と準備の確認 ３　学級経営計画と準備 ５領域の保育内容に関する基本原理や教育・保育過程と指導計画の立案と教育活動 学習課題　復習　学級経営計画と準備に関する学習内容の確認 予習　学級経営計画と運営の確認 ４　学級経営計画と運営１ 3～5歳児の発達とクラス運営（心を育てる場としてのクラス） 学習課題　復習　学級経営計画と運営に関する学習内容の確認 予習　学級経営計画と運営の確認 ５　学級経営計画と運営２ 3～5歳児の発達とクラス運営（仲間関係と共同的活動） 学習課題　復習　学級経営計画と運営に関する学習内容の確認 予習　保育内容と領域別活動の確認 ６　保育内容と領域別活動 ５領域の保育内容と実践事例の理解 学習課題　復習　保育内容と領域別活動に関する学習内容の確認 予習　集団形成の過程と学級づくりの確認 ７　集団形成の過程と学級づくり 人とのかかわり・言葉の獲得に関する育ちと活動 学習課題　復習　集団形成の過程と学級づくりに関する学習内容の確認 予習　学級づくりの進め方の確認 ８　学級づくりの進め方１ 環境の構成と再構成 学習課題　復習　学級づくりの進め方に関する学習内容の確認 予習　特色あるクラスづくりの確認 ９　学級づくりの進め方２ 感性と表現に関する育ちと活動 学習課題　復習　学級づくりの進め方に関する学習内容の確認 予習　特色あるクラスづくりの確認 １０　特色あるクラスづくり 特色あるクラスについての理解とクラス運営 学習課題　復習　特色あるクラスづくりに関する学習内容の確認 予習　幼稚園と保育所、認定こども園の確認 １１　幼稚園と保育所、認定子ども園 幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定子ども園設置運営基準を含めた関係法規・教育行政の理念等の理解 学習課題　復習　幼稚園と保育所、認定こども園に関する学習内容の確認 予習　保育の記録と評価の確認 １２　保育の記録と評価 指導要領と保育要録の記入方法および評価資料等の記録の在り方 学習課題　復習　保育の記録と評価に関する学習内容の確認 予習　保育の背景と広がりの確認 １３　保育の背景と広がり 先駆者たちの教育思想と保育施設の関わり、保育施設と教育思想、地域社会や家庭との連携など 学習課題　復習　保育の背景と広がりに関する学習内容の確認 予習　連携教育についての確認 １４　連携教育について 幼・保・小連携の在り方、家庭との連携および保護者とのかかわり 学習課題　復習　連携教育に関する学習内容の確認 予習　保育者の研修と評価・安全管理の確認

	１５　　保育者の研修と評価 保育者の自己研鑽と研修体制及び自己評価 危機管理や事故対応を含む学校安全と新たな安全上の課題 学習課題　復習　保育者の研修と評価・安全管理に関する学習内容の確認
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①社会変化の状況を踏まえて、教育政策や学級経営の概要・理念について理解し、学級経営案の立案が出来るようになる ②子どもの生活の変化や3～5歳児の発達について学び、学級運営の具体的展開の方法がわかるようになる ③保育内容に関する基本原理や集団形成の過程について学び、学級づくりの進め方が分かるようになる ④幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども教育・保育要領を含めた関係法規・教育行政の理念等を理解し、保育記録の仕方や評価方法がわかるようになる ⑤保育施設と教育思想、地域社会や家庭との連携など、保育の背景と広がりについて分かるようになる ⑥保育施設を取り巻く安全管理等について具体的な取り組みが分かるようになる 授業内レポート（30%）、課題制作物の成果（30%）、定期試験（40%）等で評価する
科目（教職課程用）	教育の基礎理論に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項
教科書・参考書	教科書：保育の実践・原理・内容　ミネルヴァ書房 参考書：保育内容総論、〇歳児のクラス運営、学級経営の基礎・基本 幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：保育の心理学Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２学年	１単位	必修
担当教員			
座間味　愛理			
担当形態：単独			

講義概要	１．「保育の心理学Ⅰ」で習得した子どもの発達に関する知識を基盤に、保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 ２．子どもの体験や学びの過程（言葉・仲間関係・自己制御・社会性の発達）において子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 ３．子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 ４．子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。
授業計画	第１回　オリエンテーション、なぜ発達を学ぶのか 学習課題　復習：仲間関係の発達について復習と実習の振り返り 予習：仲間関係の発達について年齢別にエピソードをまとめる 第２回　仲間関係の発達②　関係を捉える視点 学習課題　復習：経験豊富な保育者と学生では何が違う？ ワーク：集団の人間関係を測定する方法 予習：幼児の試し行動について実習体験を振り返る 第３回　幼児の試し行動の理解 学習課題　復習：試し行動の実際について 見捨てられ不安・心の安全基地に関する配布資料の確認 予習：試し行動への対応について実習体験を振り返る 第４回　幼児の試し行動への対応 学習課題　復習：試し行動を受け止める保育者（養育者）の心理とバーンアウトの防止 予習：真似っこ遊びについて実習体験を振り返る 第５回　遊びの発達①真似 学習課題　復習：真似をすることの発達的意味・模倣と観察学習 ワーク：真似っこ体験を通して関わり方を振り返る 予習：遊びの終わり方について年齢別に実習体験を振り返る 第６回　遊びの発達②遊びの終わり方 学習課題　復習：年齢による幼児の遊びの終わり方の特徴 ワーク：資料を読み、言葉で表現する 予習：話せるのに話さない子について実習体験を振り返る 第７回　場面緘黙の理解 学習課題　復習：「話さない」ことの理解・場面緘黙の正しい理解と対応 ワーク：「人前で話さない子」にたいする対応 予習：幼児の競争心について実習体験を振り返る 第８回　何でも１番になりたがる子の心理 学習課題　復習：競争心の発達 ワーク：子どもへの褒めを実践し、競争を促す人的環境について自分の関わりを振り返る 予習：幼児の描く絵について実習体験を振り返る 第９回　描画の発達　見たままを描かないのはなぜ？ 学習課題　復習：年齢別の描画の発達、頭足人、知的リアリズム ワーク：子どもの絵の発達的理解を踏まえた声かけ 予習：言葉の発達について実習体験を振り返る 第10回　言葉の発達と支援①定型発達 学習課題　復習：知識：言葉の発達の復習と特徴理解 ワーク：「質問を繰り返す子ども」の理解と対応の実践 予習：言葉の発達に個別の配慮が必要な子について実習体験を振り返る 第１１回　言葉の発達と支援②個別支援 学習課題　復習：知識：障害を有する子どもの理解 ワーク：「他事と関わりが持ちにくい子」の理解と対応 予習：子どもの嘘について実習体験を振り返る 第１２回　子どもの嘘と認知発達 学習課題　復習：知識：子どもの嘘はいけないこと？ ワーク：子どもの嘘に対する対応の実践 予習：について実習体験を振り返る 第１３回　集団場面における問題行動 学習課題　復習：知識：集団場面で起こりやすい問題行動の理解 ワーク：集団場面での指示の工夫 予習：施設実習や皆さん自身の反抗期について体験を振り返る 第１４回　思春期における反抗期 学習課題　復習：知識：思春期の心理的変化 ワーク：心地よい心理的距離 予習：これまでの授業内容について振り返る 第１５回　授業のまとめ 学習課題　復習：配布資料

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①保育実践現場で観察される子どもの行動を振り返り、これまで学んだ心理学知識を関連させることができる。 ②ワークやロールプレイを通して子どもや保育者の気持ちを体験し、学生同士で意見を伝え合うことができる。 ③体験の言語化から、自己の保育実践への振り返り、今後の関わりについて考察を深める。 ④自分以外のさまざまな報告に触れることで望ましい保育について考察できる。 体験ワーク発表（60%）、個人レポート（40%）で評価する。 体験ワーク発表については、学生の評価を加えたルーブリック評価を行う。
科目（教職課程用）	教育の基礎理論に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）
教科書・参考書	授業毎に資料を配布する。
履修条件	「保育の心理学Ⅰ」の履修が修了していること。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で教室または研究室で質問を受け付けます。
備考・メッセージ	体験ワークでは、学生の積極的な発言と議論を求めます。

講義科目名称：臨床心理学　　授業コード：41134　42135

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２学年	２単位	選択
担当教員			
樋渡　由貴			

講義概要	１．臨床心理学の視点を用いて、心理・教育的課題をもつ園児、児童、生徒を支援する意義について理解する。 ２．学校臨床に関する心理学の基礎的な知識を習得し、教育相談の機能を理解するとともに、子どもや保護者、親子関係、家族関係等について包括的に捉える視点を習得する。 ３．心理・教育的課題をもつ子ども、家庭を支援する際の基本的な態度を身につける。 ４．現代の心理療法と専門技法を理解し、専門機関との連携の意義や必要性を理解する。
授業計画	第１回　オリエンテーション　臨床心理学を学ぶ今日的意義 学習課題　復習：資料の熟読 予習：次回資料について、用語を調べる 第２回　臨床心理学の歴史と教育領域への展開 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ① 予習：次回資料について、用語を調べる 第３回　こころへのアプローチ理論１　精神分析・学校臨床への応用 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ② 予習：次回資料について、用語を調べる 第４回　こころへのアプローチ理論２　行動療法・学校臨床への応用 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ③ 予習：次回資料について、用語を調べる 第５回　こころへのアプローチ理論３　クライエント中心療法・学校臨床への応用 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ④ 予習：次回資料について、用語を調べる 第６回　臨床心理学からみた「発達」 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ⑤ 予習：次回資料について、用語を調べる 第７回　心理アセスメント１：発達検査・知能検査 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ⑥ 予習：次回資料について、用語を調べる 第８回　心理アセスメント２：質問紙法 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ⑦ 予習：次回資料について、用語を調べる 第９回　心理アセスメント３：投映法 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ⑧ 予習：次回資料について、用語を調べる 第１０回　様々な精神障害１：気分障害・不安障害 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ⑨ 予習：次回資料について、用語を調べる 第１１回　様々な精神障害２：摂食障害・心身症 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ⑩ 予習：次回資料について、用語を調べる 第１２回　さまざまな心理療法と連携1：プレイセラピー 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ⑪ 予習：次回資料について、用語を調べる 第１３回　さまざまな心理療法と連携2：認知行動療法 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ⑫ 予習：次回資料について、用語を調べる 第１４回　さまざまな心理療法と連携3：芸術療法・家族療法・動作療法 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ⑬ 予習：次回資料について、用語を調べる 第１５回　まとめ　学校臨床の課題 学習課題　復習：資料の熟読、ミニクイズ⑭
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①臨床心理学の今日的意義、学問の目的を理解する。 ②三大心理療法（精神分析・行動療法・クライエント中心療法）の違いを理解し、日本独自の心理療法を知る。 ③心理アセスメントの意義を理解し、自己や他者理解の視点を身に着ける。 ④精神疾患や障害に関する正しい知識を身に着ける。 ⑤病気や障害に応じた心理療法について理解し、援助の視点について正しい知識を身に着ける。 授業態度、試験成績から判断し、授業への積極的参加を加点する。 期末試験（80%）、授業態度（20%）の総合的に評価する。
科目（教職課程用）	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法
教科書・参考書	授業毎に資料を配布する。 参考書：幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で教室または研究室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	毎回の授業後にコメントシートを配布します。気になること、質問、人についての新たな理解などを書いてください。次回の授業の進行に使用します。

講義科目名称：子どもの保健Ｉａ　　授業コード：23131

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
延原　幸嗣			

講義概要	①妊娠の成立と維持について理解する　胎児の発達について理解する　分娩の生理について理解する ②成長発達総論について理解する　形態的成長について理解する　機能的発達について理解する ③乳幼児の精神機能について理解する　子どもの心の病気について理解する　子どもの病気について理解する ④乳幼児の栄養について理解する　子どもの食事と環境の関連について理解する　生活習慣病について理解する ⑤家庭、職場における救急について理解する　実際の症例について検討する　望ましい子どもの食事について検討する
授業計画	１　子どもの保健 子どもの保健の概念、授業目標、授業概要 ２　妊娠から出産まで 妊娠の成立と維持、胎児の発育、分娩の生理 ３　乳幼児期の成長発達 成長発達総論、形態的成長、機能的発達 ４　乳幼児の精神異常 精神・運動機能の発達 ５　乳幼児の栄養 母乳栄養、人口栄養、離乳、幼児の栄養など ６　新生児・未熟児 新生児の特徴、新生児の取り扱い、新生児の疾患、未熟児 ７　先天異常 先天異常の分類、遺伝子病、配偶子病、胎芽病、胎児病 ８　子どもの伝染病と予防 感染、予防接種、ウイルス感染症、細菌感染症など ９　家庭における救急1 救急処置、異物誤飲、溺水、外傷、鼻出血、脱水など １０　家庭における救急2 実際の症例検討 １１　子どもの心理学 子どもの心理学総論、心身症、神経性習癖 １２　生活習慣病と食事 生活習慣病総論、各論 １３　これからの子どもの食事と環境について 子どもの食事・環境 １４　復習・総まとめ 現代の諸問題についての考察 １５　復習・総まとめ 現代の諸問題についての考察
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①生命の誕生について医学的に理解する ②乳幼児の成長発達について医学的に理解する ③乳幼児の精神発達について医学的に理解する ④現代の環境の問題点について理解する ⑤現代の環境の問題点について、その対策や理想像について考察できる知識と教養を習得する 授業の態度と小テスト（40%）、定期試験（60%）を総合して評価をおこなう。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『子どもの保健』　渡辺　博　編著　　中山書店
履修条件	
履修上の注意	

オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

講義科目名称：子どもの保健Ｉｂ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
講義	１年	２単位	必修
担当教員			
井田　裕子			

講義概要	①生命の誕生にふれる　こどもの保健をめぐる動向を知る　家族やこどもを取り巻く社会に触れてこどもの保健をとらえる ②生理機能・運動機能・精神機能の発達の特徴をとらえる ③機嫌・食欲・睡眠・活動などの変化に気づく　バイタルサインの測定を理解する　健康状態を把握することなどから観察の重要性をとらえる ④主な症状（発熱・咳嗽・腹痛・下痢・嘔吐・脱水など）への対応　慢性疾患をもつこどもへの対応　感染症のこどもへの対応から観察点や看護を理解する ⑤発達段階における事故の原因をとらえる　事故の実際と事故防止について考える　保育環境についてとらえる
授業計画	１　はじめに 生命の誕生、こどもの保健とは ２　こどもの健康と保育の意義 こどもの保健をめぐる動向、こどもや家族を取り巻く社会 ３　こどもの発育と発達の基礎理解 こどもの臓器と生理機能の発達と特徴 ４　こどもの発育と発達の基礎理解 こどもの精神・運動機能の発達と特徴 ５　こどもの病気と看護 こどもの健康状態の把握、観察の重要性（機嫌・食欲・睡眠・活動など） ６　こどもの病気と看護 体温・脈拍・呼吸の測定および留意点 ７　主な症状に対する看護 発熱・咳嗽時の観察と看護 ８　主な症状に対する看護 腹痛・下痢・便秘時の観察と看護 ９　主な症状に対する看護 嘔吐・脱水時の観察と看護 １０　慢性疾患をもつこどもへの対応 食物アレルギー、喘息、糖尿病、慢性心疾患 １１　こどもが遭遇する感染症への対応 感染症（麻疹・インフルエンザなど） １２　薬について 使用時の注意、薬の使い方（散薬・水薬・坐薬など） １３　こどもの精神保健 こどもの心への健康 １４　こどもの環境と安全 発達段階における事故の要因と現状、事故防止 １５　こどもの環境と安全 保育環境について、おもちゃや設備の消毒法・手洗いなど
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①こどもの心身の健康と保健の意義が理解できる ②こどもの生理機能や精神・運動機能の発達が理解できる ③こどもの健康状態把握および観察の重要性が理解できる ④主な症状に対する観察点や看護が理解できる ⑤子どもの環境と安全について理解できる 授業終了後の筆記試験、課題の提出、学修の取り組みや態度を総合して評価をおこなう。 筆記試験（80%）、課題の提出（10%）、学修の取り組みや態度（10%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『子どもの保健Ｉ』『子どもの保健Ⅱ』　佐藤益子　編著　　ななみ書房
履修条件	

履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

講義科目名称：子どもの保健Ⅱ　　授業コード：13135　14134

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	選択必修
担当教員			
井田　裕子			

講義概要	①乳児の抱き方・寝かせ方　ミルクの与え方・排泄のしかた　身体の清潔法（衣類交換・沐浴・おむつ交換ほか）などの日常生活の養護の学内実習をする ②バイタルサインの測定・記録および評価の実施　発熱・咳嗽・けいれん・腹痛などへの関わり方を実施する与薬時の注意と工夫を学ぶ。 ③感染予防の三原則を理解する　排泄物の処理法を理解する　効果的な手洗い・うがいを体験する ④子どもの事故と発生要因を理解する　気道内異物時の模擬演習　心肺蘇生法の模擬演習　包帯法を実施する ⑤集団保育における年間保健安全計画　施設設備の消毒　保育者自身の生活習慣の整え方と健康管理にふれる
授業計画	１　小児保健実習の必要性 オリエンテーション、目的と意義 ２　子どもの成長と発達 身体の測定、発達評価 ３　子どもの日常生活の養護 乳児の抱き方・寝かせ方、ミルクの与え方・排泄のしかた ４　子どもの日常生活の養護 乳幼児の移動法、おむつ交換 ５　子どもの日常生活の養護 身体の清潔の意義、衣生活の援助（衣服の交換・寝具） ６　子どもの日常生活の養護 身体の清潔（沐浴法ほか） ７　健康状態の把握と支援 一般状態の観察、バイタルサインの測定と記録・評価 ８　健康状態の把握と支援 発熱・咳嗽・けいれん・腹痛・便秘・への支援、罨法 ９　健康状態の把握と支援 与薬法（水薬・散薬・坐薬） １０　感染の予防 感染症の予防対策、排泄物の処理、手洗い、うがい １１　事故防止と安全 子どもの事故の特徴と発生要因、事故防止 １２　事故防止と安全 気道内異物時の対応、気道の確保、心肺蘇生法、救急車の呼び方 １３　事故防止と安全 応急処置（出血・打撲・骨折など）、包帯法 １４　集団保育における健康管理 健康管理（年間保健安全計画・健康観察など）、施設整備の消毒 １５　保育者をめざす者の自己管理 生活習慣の整え方と健康管理
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①子どもの日常生活の養護について理解する ②子どもの健康観察や症状に対する対処法がわかる ③感染予防の原則及び感染拡大予防の方法が理解できる ④子どもの保育環境がわかり事故防止と安全の重要性について理解できる ⑤保育における健康管理や自己管理について把握できる 筆記試験、実習、提出物や学習への取り組み・態度を総合して評価をおこなう。 筆記試験（５０％）、実習（４０％）、提出物や学習への取り組み・態度（１０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『子どもの保健Ⅱ』　佐藤益子　編著　ななみ書房 参考書：　『小児保健演習ノート』　榊原洋一　監修　診断と治療社
履修条件	

履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

講義科目名称：子どもの食と栄養　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
宮原　恵子・石橋　由香里			

講義概要	①現代の小児を取り巻く『食』の問題を理解する ②小児にとっての『栄養』の意義を理解する ③保育者が『小児栄養』を学ぶ意義を理解する ④『栄養』の意義を理解する ⑤栄養素とその機能を理解する ⑥食品とその栄養学的意義を理解する ⑦妊娠の成り立ちと妊娠に伴う母体の変化を理解する ⑧妊娠期の食生活の問題点を理解し、栄養・食生活の望ましい食生活の在り方を体験する ⑨乳幼児の栄養の特性を理解し、乳汁栄養・離乳栄養について体験する ⑩幼児期の栄養の特性について理解し、幼児食を体験する ⑪幼児期の食生活における問題点を理解する ⑫学童期の栄養の特性を理解する ⑬『食育』の目的を理解する ⑭保育現場での食育活動のありかたを考察する ⑮望ましい食育活動を計画し体験する
授業計画	１　子どもの食生活と栄養① 小児の栄養と食生活の意義、小児の発育・発達と栄養 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 ２　子どもの食生活と栄養② 栄養に関する基礎知識 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 ３　乳児期の食生活① 乳汁栄養、離乳食 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 ４　乳児期の食生活② 調理実習（調乳） 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、調乳作業の復習 ５　乳児期の食生活③ 調理実習（5・6か月児の離乳食） 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、離乳食の調理ポイントの復習 ６　乳児期の食生活④ 調理実習（7・8か月児の離乳食） 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、離乳食の調理ポイントの復習 ７　乳児期の食生活⑤ 調理実習（9～11か月児の離乳食） 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、離乳食の調理ポイントの復習 ８　乳児期の食生活⑥ 調理実習（12～18か月児の離乳食） 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、離乳食の調理ポイントの復習 ９　幼児期の食生活 幼児期の食機能、栄養・食生活上の問題 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 １０　学齢期・思春期の食生活、生涯発達と食生活 ライフステージによる食生活の特徴と違い 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 １１　特別な配慮を要する子どもの栄養 疾病や体調不良、アレルギー、障害をもつ小児の食生活とその対応 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 １２　家庭や児童福祉施設における食生活 児童福祉施設の特徴とその食生活、給食 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 １３　食育① 食育基本法、現場での取り組み 学習課題　配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、レポート作成（食育計画） １４　食育② 調理実習（キッズクッキング）

	１５　学習課題　食育活動に調理実習を取り組む際のポイントを復習 食育③ 調理実習（キッズクッキング） 学習課題　食育活動に調理実習を取り組む際のポイントを復習
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①乳児期から学童期、思春期、妊娠期の特性を説明することができる ②基礎栄養学の知識を習得し、自信の食生活を見直すことができる ③乳児期から学童期、思春期、妊娠期の特性と栄養を結び付け、考察することができる ④乳児期から学童期の食事と、成人期の食事の違いを説明することができる ⑤食育について理解し、保育現場での実践法を考察することができる 定期試験（筆記および実技）、レポート、授業態度を総合して評価する。 定期試験（筆記50%、実技20%）：筆記試験は講義および実習内容について理解できているか、実技試験は調乳手順について理解し実践できるかを評価する。 レポート（20%）：講義および実習内容について、与えられたテーマについて考察できているか評価する。 授業態度（10%）：講義および実習での態度だけでなく、提出状況や実習準備等も含めて評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『新版　子どもの食生活　―栄養・食育・保育―』　上田玲子　編著　　ななみ書房
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等に対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】毎回、テキストの予習、配布資料の確認をし、調理実習前にはライフステージによる食事内容の違いを復習しておくこと。また、日ごろから栄養に興味をもち、講義内容の理解につなげるようにすること。

講義科目名称：家庭支援論　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
藤島　法仁			

講義概要	子育てにおける家庭の役割と、家庭を支援する方法（家庭を支援する視点と家庭支援の枠組み）を学び、実際の家庭支援について理解を深める。
授業計画	1　家庭支援の必要性 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：支援について調べておくこと。 2　家庭支援に求められる視点 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：家族の発達について調べておくこと。 3　家族発達の理解 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：育児不安について調べておくこと。 4　現代の家庭の諸相 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：核家族化がもたらす影響について調べておくこと。 5　家庭を取り巻く現状 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：家庭支援の法的根拠について調べておくこと。 6　家庭支援を行う法と制度 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：子育て支援サービスについて調べておくこと。 7　子育て支援サービスの現状 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　第8章を読んでおくこと。 8　家庭支援のための枠組み 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　第9章を読んでおくこと。 9　日常的な家庭支援 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：地域における子育て支援について調べておくこと。 10　様々な家庭への支援（地域とつなぐ） 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：母子生活支援施設について調べておくこと。 11　様々な家庭への支援（専門機関との連携） 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：虐待について調べておくこと。 12　子どもの虐待と家庭支援 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　第13章を読んでおくこと。 13　保育の場に求められる家庭支援 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト　第14章を読んでおくこと。 14　家庭支援の基本的姿勢 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：個人情報の保護について調べておくこと。 15　個人情報の取り扱い 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。
授業形態	講義を中心とするが、適宜、グループでの話し合いなどを行う。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①家庭支援の必要性を理解する。 ②家庭支援の視点を理解する。 ③子育て家庭を取り巻く社会的状況（地域、制度）について理解を深める。 ④家庭支援のための枠組みを理解する。 ⑤さまざまな家庭支援の実際（保育所での支援、地域とつなぐ支援など）について理解を深める。 授業態度20%、レポート10%、定期試験70%を総合して評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書『家庭支援論』松村和子ほか、建帛社。

履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月、水、木の放課後
備考・メッセージ	積極的に講義に参加してほしい。

講義科目名称：カリキュラム論　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
吉田　美恵子			
担当形態：単独			

講義概要	①保育計画必要性の理解　こどもの観かた　　記録を取る意義について学ぶ ②教育・保育課程の変遷を知る　保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育計画の位置付けを理解する ③教育・保育課程の構成の理解　長期・短期の指導計画の関連性を修得する　入園（所）から卒園までに育って欲しい子どもの姿を理解し、小学校との円滑な接続について学ぶ ④こどもの発達を理解する　園環境や地域性に基づく保育内容　　発達や年齢に合った指導案立案をする ⑤指導計画の見直しや考察をする　自己評価をする　計画の改善・再構成をする保育のマネジメントサイクルを理解する
授業計画	1回　子どもの主体性と保育の計画性　　教育課程・保育課程の意義 保育内容の基本となる柱を踏まえた計画を考える上で、計画通りに保育を実践する場合と無計画に保育を実践する場合のメリット・デメリットを考察する 教育課程・保育課程の意義を知る 学習課題　復習：保育の計画の必要性と意義について授業内容を基に確認 予習：保育所保育指針の子どもの発達について把握する 2回　こどもの観かた　　子どもの育ち（DVD） 計画はこどもの姿を捉える所から始まるので、子どもの発達段階を確認していく 学習課題　復習：０歳～6歳までの発達の特徴を理解する 予習：教科書の教育・保育課程の変遷を熟読　　歴代の保育者について調べる 3回　教育課程・保育課程の歴史的変遷　　子ども観・保育観・カリキュラム観の確立 子どもを取り巻く環境の変化の中で、どのように教育・保育課程が変わっていったのかを学ぶ 歴代の保育者を通した子ども観・保育観・カリキュラム観について学ぶ 学習課題　復習：東京女子師範学校付属幼稚園の保育内容～現代の保育内容への変遷を確認する歴代の保育者と背景の理解 予習：養護と教育について保育所保育指針や幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読解 4回　保育計画の位置付け　　教育・保育課程の構成の理解 保育計画は、子どもの実態と保育者の願いの交点に位置付くもの 養護と教育又、入園から卒園までの育って欲しい子どもの姿を理解し、教育・保育課程の構成を把握する 学習課題　復習：教育・保育課程の構成を理解する 予習：指針、要領、教育・保育要領における保育計画の位置付け 様々な園の保育形態や取り組みを調べる 5回　様々な保育計画の関連性 地域の実態や保育形態に対応した保育の計画について学ぶ 長期・短期の保育計画の関連性を理解する　教育・保育課程から日案までの流れを理解する 学習課題　復習：長期・短期の保育計画の関連性を理解する 予習：年齢にあった遊びや保育教材を探索 6回　部分保育指導案作成（グループ） グループワークにより、幼稚園の生活や子どもの発達や年齢を考え、部分指導案立案の「主な活動」や「活動の概要」を決める 学習課題　復習：幼稚園児の年齢に合ったねらいや内容を考える 予習：保育の流れを考える　　部分指導案立案の考察 7回　部分保育指導案の考察（グループ） 導入展開を工夫し、保育の流れをイメージして、作成した指導案をもとに考察を行う 学習課題　復習：指導案の流れを共通理解して役割分担や準備を行う 予習：模擬保育にむけての役割や準備の確認を行う 8回　模擬保育を行い指導案を修正する 反省・改善をグループで共通理解して、保育者の援助や留意点を考え、部分指導案を修正する 学習課題　復習：模擬保育の反省事項を記録しておき、随時加筆修正する 予習：自己評価の評価項目をチェックしておく 9回　フィールドワークからの指導計画案の検証 模擬保育を行い改善した指導案を基に、幼稚園での実践と計画のずれを検証し、自己評価をする 学習課題　復習：保育のねらいに対する評価を踏まえ、自己課題を考える 予習：個人で行う場合の保育の計画について、資料や教材研究を行う 10回　全日指導案作成　　（活動のねらい、活動設定理由について） 主な活動を選び、活動に対するねらいや設定理由について考え、記入の仕方を知る 学習課題　復習：　園生活の流れを考慮し、子どもがいきいきと活動する保育内容を考える 予習：　保育の課題設定と活動による育ちを予測し、導入について考える 11回　全日指導案作成　　（導入から主な活動への展開） 子どもたちが意欲をもって主な活動へ移行できる導入の工夫について考え、指導案に記入する 学習課題　復習：主な活動、活動のねらい、課題設定理由を見直す 予習：保育の展開における保育者の言葉掛けや援助について 12回　全日指導案作成　（保育の展開における予測される幼児の活動、保育者の援助、環境構成を時系列に記入する） 幼児の動き・保育者の援助・環境の構成を保育の流れに沿って詳しく記入していく方法を学ぶ 学習課題　復習：時間と子どもの姿、保育者の動きをイメージして修正などを行う

	予習：子どもの意欲を引き出す保育の工夫について 13回　全日保育指導案立案（チェックリストの活用） 子どもが意欲的に活動し、ねらいを達成するための保育の工夫と今後の展開が表現されている指導案立案がなされているか、チェックリストの項目ごとに自己採点し修正する。 学習課題　復習：全日保育の内容に沿って実践をイメージする 予習：チェックリストによる自己課題を探す 14回　保育のＰＤＣＡ 評価の意義と再構成　　評価と保育指導計画の改善　　保育の質を高めるマネジメントサイクル 学習課題　復習：保育のマネジメントサイクルの理解　　指導計画の見直しと改善 予習：育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」について調べる 15回　アプローチカリキュラム～スタートカリキュラム（保幼小連携と接続） 「知能及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性」を土台とした幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿をもとに小学校への円滑な接続について理解する 学習課題　復習：接続期に大切なことを理解し、ふさわしい生活を支える保育の計画についてまとめる
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①保育所・幼稚園・認定こども園における保育計画の意義を理解する ②教育課程・保育課程の変遷、歴代の保育者の子ども観・保育観・カリキュラム観を知る ③教育課程・保育課程の編成の基本がわかり、子どもの生活の連続性を考慮したカリキュラムについて理解する ④こどもの発達や年齢に即した指導計画の立案をすることが出来る ⑤評価の意義・方法を知り、保育の質を高めるマネジメントサイクルを理解する 学修意欲、授業回中の確認テスト・レポート及び指導計画立案・期末試験を含めた総合評価とする 授業内レポート（１０%）　指導計画立案（６０%）　期末試験（３０%）
科目（教職課程用）	教育の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）
教科書・参考書	テキスト　『保育の計画と方法』　岸井勇雄・無藤隆・柴崎正行　監修　2013．4　第三版　同文書院 参考書　保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領　の参考書は毎回持参する事
オフィスアワー	他授業・業務以外は随時対応する。
備考・メッセージ	レポート・保育計画指導案などは指定の期日を守って提出する事

講義科目名称：保育内容総論　　授業コード：11131　12132

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
吉田　美恵子			

講義概要	①社会状況の変化と保育内容の関連を理解する　幼稚園・保育所・認定こども園の歴史的変遷を知る ②「保育所保育指針」の概観を理解する　保育内容の構成を理解する　保育所の役割について理解する ③「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の概観を理解する　5領域の内容を理解する　幼児期の終了までに育って欲しい姿を理解する ④各論を踏まえ保育活動の総合性について修得する　保育環境・子どもの遊びの意義を踏まえ保育内容との関連を理解する ⑤保育者の省察過程を理解する　グループ協働による子どもの発達と援助についての理解をする　家庭・地域の連携と保育者の役割を理解する
授業計画	1回　オリエンテーション　　保育の構造 保育の目的　本科目の位置付け、ねらいについて 学習課題　復習：PWP内容確認 予習：保育内容の歴史的変遷 2回　保育内容の歴史的変遷 社会の変化と保育内容との関連を学ぶ　　倉橋惣三と保育理論 学習課題　復習：保育内容の変遷をまとめる 予習：指針・要領の総則を読む 3回　保育内容とは 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園」にみる「こども」 学習課題　復讐：指針・要領の総則を理解する 予習：子どもの発達過程を調べる 4回　子どもと保育内容 子ども理解・子どもの発達と生活、グループワーク（子どもの年齢の特徴と事例研究） 学習課題　復習：グループ内での意見を整理する 予習：調べる内容を分担しておく ５回　子どもと保育内容 子ども理解・子どもの発達と生活、グループワーク（子どもの年齢の特徴とふさわしい遊び） 学習課題　復習：グループ内での意見を整理する 予習：発表内容や担当を決めておく 6回　センスオブワンダー 子ども理解・子どもの発達と生活、グループワーク（発表） 学習課題　復習：他のグループの発表をまとめて記入する 予習：子どもと保育内容 7回　乳幼児期の発達の特性と発達理論 DVD視聴　保育所保育指針（発達の連続性） 学習課題　復習：DVD視聴のまとめ 予習：領域と保育内容　（安全な生活　　個から集団への萌芽） 8回　保育内容の構成とこどもの主体性　「領域」で表すことの意味 保育内容を「領域」で表すことの意味を理解する、「健康」安全な生活「人間関係」個から集団への萌芽 学習課題　復習：幼保連携型認定こども園教育・保育要領「健康・人間関係」 予習：園外保育について調べ、近隣公園散策の準備をする 9回　領域と保育内容「環境」 フィールドワーク、センス・オブ・ワンダー（子どもと環境、保育者の援助・留意点） 学習課題　復習：幼保連携型認定こども園教育・保育要領「環境」　レポート整理 予習：関心のある絵本や音源の準備　絵本・紙芝居の読み聞かせ練習 10回　領域と保育内容「言葉」「表現」 言葉に対する感覚や豊かな感性や表現する力を養うための援助の方法を理解する 学習課題　復習：幼保連携型認定こども園教育・保育要領「言葉」「表現」　レポート整理 予習：自己紹介用教材準備 11回　保育者の専門性 子どもが引き込まれる自己紹介の方法と作成 学習課題　復習：作成したものを使って自己紹介の練習 予習：発表準備　絵本・紙芝居の読み聞かせ練習」 12回　保育の計画と流れ 保育の全体的な計画～部分保育の流れ（導入・展開・結び）を理解する、自己紹介の発表 学習課題　復習：発表についてレポートをまとめる 予習：模擬保育について練習をしておく 13回　保育の流れ 模擬保育（部分的な保育のグループ発表） 学習課題　復習：改善点を修正、整理する 予習：子どもを取り巻く環境と気になる子どもについて調べておく 14回　保育者の役割と保育内容 気になる子どもの支援、保護者との連携 学習課題　復習：事例のまとめ 予習：保育者の役割と保育内容

	15回　　保・幼・小連携と接続　　家庭・地域・関係機関との連携 学びや育ちの連続性について　　保育者の役割の重要性を理解する 幼保小連携・接続について　　幼児期の終わりまでに育って欲しい姿を理解する 学習課題　復習：演習ワーク
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①社会の変化と保育内容の変遷の関連を知る ②「保育所保育指針」の内容を周知する ③「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の内容を周知する ④子どもの発達過程を踏まえ、保育内容各論の相互関連性を理解する ⑤保育者に必要な資質を修得する 授業に対する意欲、課題への取り組みを重視し、期末試験を含めた総合評価とする 授業内レポート（20%）発表・プレゼン（10%）期末試験（70%）を総合して評価を行う
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	テキスト：『保育内容総論（新・保育実践を支える）』中村恵・水田聖一著　福村出版 参考書：『保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領』　全国保育士会
履修条件	
履修上の注意	教科書・参考書は毎回必携
オフィスアワー	他授業・業務以外は随時対応する。（火曜日１コマ、木曜日１・２コマ等）
備考・メッセージ	

講義科目名称：保育内容演習Ⅰ（健康）　　授業コード：31131　33132

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択　幼稚園教諭：必修
担当教員			
中尾　健一郎			

講義概要	①健康の定義について理解する　保育者と子どもの視点から健康について理解する　領域「健康」について理解する ②身体機能の発達について理解する　心の発達について理解する　基本亭生活習慣とその確立について理解する　家庭との連携について理解する ③園生活について理解する　園生活の中での遊びについて理解する　戸外環境と戸外活動について理解する ④安全管理について理解する　安全教育について理解する　子どもを守るガイドラインについて理解する ⑤保育内容・領域について理解する　領域「健康」のねらいについて理解する　領域「健康」ねらいについて理解する
授業計画	1　オリエンテーション 保育内容演習Ⅰ（健康）の授業の進め方についてを学ぶ 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し「健康の定義」について調べておくこと 2　健康の定義について 健康の定義について学ぶ 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し、「保育者と子どもの視点の違い」について調べておくこと 3　保育者と子どもの視点から健康を考える 健康について保育者の視点と子どもの視点について学ぶ　（小テスト1） 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し、「保育内容と領域「健康」の位置づけ」について調べておくこと 4　保育内容と領域「健康」の位置づけについて① 保育内容と領域「健康」の位置づけについて学ぶ　（保育内容・領域・ねらいと内容） 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し、「保育内容と領域「健康」の位置づけ」について調べておくこと 5　保育内容と領域「健康」の位置づけについて② 保育内容と領域「健康」の位置づけについて学ぶ　（領域「健康」のねらい）（小テスト2） 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し、「保育内容と領域「健康」の位置づけ」について調べておくこと 6　保育内容と領域「健康」の位置づけについて③ 保育内容と領域「健康」の位置づけについて学ぶ　（領域「健康」の内容と内容の取り扱い）（小テスト3） 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し、「心身の発達と基本的生活習慣」について調べておくこと 7　心身の発達と基本的生活習慣について 子どもの心身の発達の特徴と基本的生活習慣の確立について学ぶ（小テスト4） 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：4回の小テストの振り返りをしておくこと 8　小テストの振り返りによる中間まとめ 4回の小テストのまとめの結果を振り返る。 学習課題　復習：テスト結果を振り返る 予習：次回の授業内容を予習し、「健康を育む園環境について」について調べておくこと 9　園の生活について 里山保育を題材にして園の生活について健康の視点から学ぶ 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し、「遊びと運動能力の関係」について調べておくこと １０　園生活の中での遊びと運動能力について 遊びと運動能力の関係につい学ぶ 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し、「経験したことのある戸外活動について」について調べておくことについて調べておくこと

	１１　戸外環境と戸外活動について 戸外環境と戸外活動について学ぶ（小テスト5） 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し「リスクとハザードの違い」について調べておくこと １２　安全管理と安全教育と子どもを守るガイドラインについて リスクとハザード、安全教育の方法及び子どもを守るについて学ぶ（小テスト6） 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し、「指導案の作成方法」について調べておくこと １３　保育内容(健康）の指導計画の作成とその振り返り 幼児期運動指針、感染症ガイドライン、食育基本法について学ぶ（小テスト7） 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し、「保育内容（健康）の評価の観点及び方法」について調べておくこと １４　保育内容（健康）の評価について 保育内容（健康）の評価の観点及び方法について学ぶ（小テスト8） 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと 予習：次回の授業内容を予習し「保育内容（健康）の内容」について調べておくこと １５　保育内容（健康）について（まとめ） 事例を参考にねらい・内容・内容の取扱いについて改めて学ぶ 学習課題　復習：配布した資料に目を通し、理解できなかったところを参考文献等をもとに調べておくこと。これまでの小テストを振り返り定期試験に備えること。
授業形態	演習（単独）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価比率　評価の観点　評価手段・方法 関心・意欲・態度　20%　保育者を目指す者として、自らの健康にも関心を持ち、子どもの健全な育ちに寄与できる　授業態度 思考・判断　20%　領域「健康」の「ねらい」を理解し、その視点から子どもたちの心情、意欲、態度について具体的に指摘することができる　小テスト・期末試験 技術・表現　20%　領域「健康」の「内容」に示された身につけてもらいたい事柄から、必要な経験、体験、活動を考えることができる　小テスト・期末試験 知識・理解　40%　領域「健康」の視点から子どもの育ちを説明することができる　小テスト・期末試験
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目 ①保育内容「健康」のねらいと内容について説明できるようになる ②乳幼児期の心身の発達の特徴について説明できるようになる ③基本的生活習慣の形成における保育者の役割について説明できるようになる ④子どもの安全管理と安全教育、食育活動について説明できるようになる ⑤保育内容「健康」の保育実践への活かし方にについて説明できるようになる
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	参考書：〈ねらい〉と〈内容〉から学ぶ保育内容・領域健康　清水将之　相樂真樹子編著　わかば社 ：演習保育内容健康-大人から子どもへつなぐ健康の視点　井狩芳子著　萌文書院 ：幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける
備考・メッセージ	

講義科目名称：保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）　　授業コード：14135　51133

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	選択　幼稚園教諭：必修
担当教員			
友廣　憲子			

講義概要	①　わらべうたの実践、手やからだを使ったあそびの実践を通して、幼児教育において育みたい　資質・能力を理解する。 ②　食べ物が出てくるうたあそび、動物が出てくるあそびの実践を体験し、幼児との主体的・対話的な関わり方を学ぶ。 ③　幼稚園教育要領に示されたねらいや内容を踏まえ、様々な表現あそびについて理解する。 ④　日本における幼児教育の変遷について理解する。 ⑤　世界における幼児教育について理解をする。
授業計画	1回目　領域(表現)の目標・ねらいと内容 学習課題　復習：授業のねらいと内容について振り返る 予習：日本における幼児音楽教育のながれを読む 2回目　日本における幼児音楽教育のながれ 学習課題　復習：日本における幼児音楽教育のながれについ振り返る 予習：ダルクローズについて調べる 3回目　世界の幼児教育について　ダルクローズ① 学習課題　復習：世界における幼児音楽教育について振り返る 予習：リトミックについて調べる 4回目　ダルクローズとリトミック② 学習課題　復習：ダルクローズとリトミックについて振り返る 予習：コダ-イについて調べる 5回目　コダーイの音楽教育について 学習課題　復習：コダーイの音楽教育について振り返る 予習：オルフについて調べる 6回目　オルフの音楽教育 学習課題　復習：オルフについて振り返る 予習：うたあそびの重要性と必要性について調べる 7回目　うたあそびの重要性と必要性について 学習課題　復習：うたあそびの重要性と必要性について振り返る 予習：わらべうたあそびについて調べる 8回目　わらべうたあそびについて 学習課題　復習：わらべうたあそびについて振り返る 予習：食べ物が出てくるうたあそびについて調べる 9回目　食べものが出てくるうたあそびについて 学習課題　復習：食べものが出てくるうたあそび振り返る 予習：動物が出てくるうたあそびについて調べる 10回目　動物が出てくるうたあそびについて 学習課題　復習：動物が出てくるうたあそびについて振り返る 予習：からだを使ったうたあそびについて調べる 11回目　からだを使ったうたあそび 学習課題　復習：からだを使ったうたあそびについて振り返る 予習：リズムであそぼうを調べておく 12回目　リズムに乗って、うたあそびについて 学習課題　復習：リズムに乗って、うたあそびについて振り返る 予習：応用編について読む 13回目　表現の応用編について 学習課題　復習：応用編について振り返る 予習：表現の応用編について調べる 14回目　表現の応用編について② 学習課題　復習：応用編について振り返る 予習：授業内容をまとめておく 15回目　表現活動の成果と評価 学習課題　復習：発表会に向けた準備
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①　幼稚園教育に示されたねらいや内容を踏まえ、わらべうたや手、からだを使ったあそびとは何かを理解する ②　食べ物が出てくるあそび、動物が出てくるあそびの実践を通し、様々なあそびを理解する ③　表現あそびについて理解する ④　日本の幼児教育についての変遷や世界の幼児教育について理解する ⑤　リトミックについて理解する 課題(発表)への取り組み、授業への取り組みを総合して評価をおこなう 課題(発表)への取り組み60%、授業への取り組み40%

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)
教科書・参考書	教科書：表現　幼児音楽①・②　　保育出版社 新たのしい　子どものうたあそび−現場で活かせる保育実践−　同文書院 幼稚園教育要領
履修条件	特になし
履修上の注意	教科書は必ず持参すること。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	意欲をもって受講してもらいたい。

講義科目名称：保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）　　授業コード：31133　32135　33136

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	選択　幼稚園教諭：必修
担当教員			
陣内　敦			

講義概要	①保育現場における造形活動のねらいと内容を理解する　造形活動による幼児の発達について理解する　造形活動における人間関係の構築について考察する ②幼児の造形の目的を理解する　幼児の造形の喜びを理解する　望ましい幼児の造形活動を計画する ③造形活動を活性化させる保育者の役割を考察する　年齢に応じた事前準備を理解する　対象児と場に応じた環境構成を理解する ④幼児の思考の展開を促す支援内容を理解する　幼児の安全な活動を支える支援方法を理解する　子ども達の状況や発達に望ましい造形活動のあり方を考察する ⑤保育教材の役割を理解する　保育教材の考案法を理解する　保育教材を用いた保育実践をおこなう
授業計画	１　はじめに 子どもとの造形活動のねらいと内容について 学習課題　予習：造形のねらいと内容について、自分なりの考えを持つ 復習：造形の意義について確認する ２　手づくりおもちゃ① 身近な材料で手づくりおもちゃを制作する 学習課題　予習：手づくりおもちゃについてイメージしておく 復習：身近な素材で作れるおもちゃについて発想を広げる ３　手づくりおもちゃ② 手づくりおもちゃを組み立てる　おもちゃで遊ぶ 学習課題　予習：子どもたちが遊ぶ様子をイメージしていく 復習：遊びの展開や安全面について考える ４　子どもの造形の鑑賞（スライド鑑賞） 子どもの心身の発達と表現とその評価について理解する 学習課題　予習：子どもの心身の発達をまとめる 復習：子どもの造形における創造性を確認する ５　自然観察（スナップ写真） 美しい自然や動植物を観察し、感性を磨く 学習課題　予習：周辺の風景を概観しておく 復習：学生それぞれの完成を認め合い、子どもの完成を想像する ６　粘土あそび 土粘土を用いて遊ぶ 学習課題　予習：子どもの頃の粘土あそびの様子をイメージしてみる 復習：粘土あそびが与える子どもへの効用について考える ７　木のおもちゃ（１） 木片のおもちゃの制作の援助方法について考察する 学習課題　予習：自らのおもちゃ作品の組み立て方について構想する 復習：子どもの制作の援助方法について考える ８　木片のおもちゃ（２） 木片で自由に遊ぶ子どもの気持ちと想像力を理解する 学習課題　予習：子どもの発想についてイメージしてみる 復習：子どもの作る喜びについて考える ９　絵の具あそび（１） フィンガーペインティングをして、子どもの心の動きを知る 学習課題　予習：フィンガーペインティングの意味について考える 復習：フィンガーペインティングの癒しの効用について考える １０　絵の具あそび（２） 野菜スタンプで子どもの想像力を知る 学習課題　予習：野菜の切り口がつくる形から作画を空想する 復習：野菜スタンプでペインティングすることによって得られる子どもの発見と喜びを考える １１　ダンボールと新聞紙あそび 子どもの気持ちになって空間を楽しむ 学習課題　予習：ダンボールと新聞紙でどんな遊びができるか想像する 復習：ダンボールと新聞紙のあそびで得られる子どもへの効用について考える １２　水あそび・砂あそび 水の冷たさや光、砂の間隔を子どもの気持ちになって楽しむ 学習課題　予習：水あそびと砂あそびの環境構成について考える 復習：水あそびと砂あそびで得られる子どもへの効用について考える １３　造形ワークショップ運営（１） 学内にて３回、学園祭企画において１回開催する「のびのびワークショップ～つくってあそぼう～」のうち、学生はその１回（２コマ分）に参加し運営に携わる 学習課題　予習：保育に携わる心の準備をおこなう 復習：自らの造形支援方法について反省をおこなう １４　造形ワークショップ運営（２） 学内にて３回、学園祭企画において１回開催する「のびのびワークショップ～つくってあそぼう～」のうち、学生はその１回（２コマ分）に参加し運営に携わる

	学習課題　予習：保育に携わる心の準備をおこなう 復習：自らの造形支援方法について反省をおこなう １５　造形あそびの考察 指導案の中のねらいと内容について 学習課題　復習：学外実習を想定しながら保育の計画をおこなう
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①幼児の造形活動についての重要性を理解する ②幼児の造形活動を計画する方法を習得する ③幼児の造形活動を支える事前準備と環境構成について理解する ④幼児の造形活動に対する保育者の支援内容（指導法）を修得する ⑤保育の様々な活動を支える造形の役割を体験する 授業回中または以後の評価期間に作品提出を義務付け、この作品の成果と学修の取り組みを加味し評価をおこなう。 手作りおもちゃ作品（２０％）、粘土あそびの活動内容（１０％）木のおもちゃ作品（２０％）、絵の具の作品（１０％）、ダンボールと新聞紙あそびの活動内容（１０％）、水あそび・砂あそびの活動内容（１０％）、造形ワークショップの活動内容（２０％）
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。 参考書：幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。

講義科目名称：保育内容演習Ⅰ（人間関係）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２学年	１単位	選択　幼稚園教諭：必修
担当教員			
藤野　正和			
担当形態：単独			

講義概要	①幼稚園・保育所における領域「人間関係」の意義を身につける。 ②子どもの自立を育む保育者の役割を身につける。 ③子どもの協同する体験を育む保育者の役割を身につける ④子どもの道徳性・規範意識を育む保育者の役割を身につける。 ⑤領域「人間関係」を考慮した保育指導計画の立案・実践力を身につける。
授業計画	第1回　幼稚園・保育所での領域「人間関係」 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「幼稚園・保育所での領域『人間関係』」についての教科書の範囲を読んでおく。（P10-29） 第2回　子どもの人間関係をめぐる現代的課題 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「子どもの人間関係をめぐる現代的課題」についての教科書の範囲を読んでおく。（P30-46） 第3回　子どもの人間関係の発達課題① 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「子どもの人間関係の発達課題　第1節～第3節」についての教科書の範囲を読んでおく。（P47-66） 第4回　子どもの人間関係の発達課題② 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「子どもの人間関係の発達課題　第4節～第6節」についての教科書の範囲を読んでおく。（P67-81） 第5回　遊びの発達と人間関係 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「遊びの発達と人間関係」についての教科書の範囲を読んでおく。（P81-93） 第6回　保育者に求められるもの 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「保育者に求められるもの」についての教科書の範囲を読んでおく。（P94-106） 第7回　保育者に求められる援助の視点～自立に向けて～ 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「保育者に求められる援助の視点～自立に向けて～」についての教科書の範囲を読んでおく。（P107-122） 第8回　保育者に求められる援助の視点～協同に向けて～ 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「保育者に求められる援助の視点～協同に向けて～」についての教科書の範囲を読んでおく。（P123-140） 第9回　人間関係を結ぶ保育のあり方 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「人間関係を結ぶ保育のあり方」についての教科書の範囲を読んでおく。（P141-153） 第10回　保育場面での気になる子どもとのかかわり 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「保育場面での気になる子どもとのかかわり」についての教科書の範囲を読んでおく。（P154-166） 第11回　親の思いと家庭とのかかわり－子育て支援の視点から－ 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「親の思いと家庭とのかかわり－子育て支援の視点から－」についての教科書の範囲を読んでおく。（P167-182） 第12回　さまざまな人々との交流と幼・保・小の交流活動の実践 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「さまざまな人々との交流と幼・保・小の交流活動の実践」についての資料を読んでおく。 第13回　就学前の子どもの育ちを支える人間関係／多文化教育と人間関係 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「就学前の子どもの育ちを支える人間関係／多文化教育と人間関係」についての資料を読んでおく。 第14回　「人間関係」の指導計画　情報機器教材の活用 学習課題　復習：授業等で配られるレジュメや課題に取り組む 予習：「『人間関係』の指導計画」についての資料を読んでおく。 第15回　まとめ 学習課題　復習：授業全体を振り返り、疑問点については空き時間等に質問を行う 予習：授業内で配布された資料を振り返り、疑問点等にはピックアップしておく
授業形態	講義・演習

評価の観点、評価手段・方法、評価比率		評価の観点	評価手段・方法	評価比率
	関心・意欲・態度	人間関係についての知識や子ども理解について積極的に関心を向けることができる	授業態度	10%
	思考・判断	子どもの自立、協同する体験、道徳性・規範意識を育むための保育者の役割について適切に判断できる	レポート	10%
	技能・表現	領域「人間関係」を考慮した保育の指導計画を作成することができる	レポート	10%
	知識・理解	幼稚園・保育所における領域「人間関係」，こどもの人間関係の発達課題、人間関係を育む保育者の役割と保育環境等を説明できる	定期試験	70%
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			
教科書・参考書	教科書：『新時代の保育双書　保育内容人間関係』　濱名　浩編著　（株）みらい 参考書：『保育実践を学ぶ　保育内容「人間関係」』　咲間　まり子　（株）みらい 幼稚園教育要領			
履修条件				
履修上の注意				
オフィスアワー	授業時間の前後や教員の空き時間等で質問を受け付ける。			
備考・メッセージ	授業態度があいまりにも逸脱している場合には、退出してもらうことがあるのでご了承下さい。			

講義科目名称：保育内容演習Ⅰ（環境）　　授業コード：23133　24133

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	卒業：選択　幼稚園教諭：必修
担当教員			
松井　由美子			

講義概要	①子どもにとっての環境のとらえ方　環境の変化と子どもの生活　変化した環境と保育問題 ②環境との関わり方　環境への興味関心の持たせ方　保育者に必要な資質と配慮 ③動物に親しみ興味関心を持つ　植物を栽培して変化を観察　天気（空・雲・雨）の変化と生活 ④自然のものを使った作品つくり　自然のものを活かした遊び　科学遊びを通した自然現象への興味関心 ⑤記号、文字への関心　遊びを通しての数量、図形の基本認識　体験できる環境構成と小学校教育との関連
授業計画	１　領域「環境」の意義 子どもが「環境とかかわる」ことの意味と意義について学ぶ 学修課題　復習：領域「環境」の意義を理解する 予習：子どもの発達と環境の関係について調べる ２　子どもの発達と環境 幼児期の発達特性を踏まえての環境がもつ意味 学修課題　復習：子どもの発達と環境の関係性をまとめる 予習：自分が子どものころ好きだった動植物とその理由を考えておく ３　子どもの発達と自然環境 保育における動植物の役割・動植物の生き方、育ち方を知ろう 学修課題　復習：保育に適さない環境を5つ挙げその理由をまとめる 予習：水耕栽培される花を調べておく ４　実習「植物栽培」 水耕栽培による草花・野菜の栽培に取り組む 学修課題　復習：水耕栽に必要な環境を確認しておく 予習：子どもを散歩に連れて行くときの注意点を考えておく ５　実習　自然に学ぶ 春の野原の散策と川の生き物・昆虫等の観察と採集 学修課題　復習：生き物の観察方法と採集方法を再確認しておく 予習：季節による観察点の違い（季節に応じた草花や昆虫）を調べておく ６　実習　自然に学ぶ 春の野原の散策と川の生き物・昆虫等の観察と採集 学修課題　復習：自分が採集した生き物を飼育してみる 予習：これまでの学修をもとに自分なりの指導案を作成してみる ７　「環境」活動計画の立案　情報機器教材の活用法 設定理由・ねらい・準備・活動案作成 学修課題　復習：作成した指導案が適格であったかどうか見直す 予習：望ましい園環境とは何かを考えておく ８　子どもの発達と園の環境 園内環境が発達に及ぼす影響について考える　他 学修課題　復習：自分の母園を参考に、環境の改善点を考える 予習：保育者の役割と専門性について調べる ９　人的環境としての友だち・保育者の役割 保育者の役割と専門性について考える 学修課題　復習：人的環境としての友だちの存在意義を再確認する 予習：「木の葉で遊ぼう」の導入を考えておく １０　演習「木の葉で遊ぼう」 葉っぱ集め・葉っぱで遊ぼう 学修課題　復習：「木の葉で遊ぼう」の展開とまとめをする 予習：「科学遊び」の導入を考えておく １１　演習「科学遊び」 紙飛行機・色水あそび・シャボン玉等 学修課題　復習：「科学遊びう」の展開とまとめをする 予習：物的環境とその働きについて調べておく １２　子どもの発達と物的環境の役割 物的環境とその働きについて理解する 学修課題　復習：子どもの発達と物的環境の関係をまとめる 予習：遊びが子どもの発達に与える影響を調べておく １３　好奇心・興味・関心を育てる環境（１） 遊びを通しての学びの意義と意味 学修課題　復習：自分が好きだった遊びが自分に与えた効果をまとめる 予習：具体的な遊びを一つ挙げ指導案を作成する １４　好奇心・興味・関心を育てる環境（２） 作成した指導案を発表し、グループディスカッションを行う 学修課題　復習：ディスカッションの結果を受け指導案の修正を行う 予習：最近ニュースになった幼児教育に関する記事をまとめる １５　これからの幼児教育と課題 子どもを取り巻く問題からの保育活動の見直し 学修課題　復習：領域「環境」のねらい及び内容を踏まえ、指導上の留意点をまとめる

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①子どもたちの置かれている環境について理解し、教育的観点から望ましい園環境を理解する。 ②子どもたちの環境との関わり方について教育的配慮の下に支援する方法を理解する。 ③身近な環境に親しませ、自然の様々な事象に興味や関心をもたせる技能を身につける。 ④子どもが環境に自ら関わり、様々な発見や思考を経て、結果を生活に生かす技能を養う。 ⑤身近な事象と関わり、物の性質や数量・図形についての感覚を育てる技能を養う。 レポート及び各領域ごとの活動、演習態度、期末試験を総合して評価する。 レポート２０％、演習態度２０％、期末試験６０％
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	テキスト：『保育内容・環境　第三版』横山文樹　編著　同文書院 参考書：『環境』山内昭道・八並勝正　編　同文書院 『遊びの指導・幼少年教育研究所』　同文書院 幼稚園教育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	授業態度は将来「保育者」になるにふさわしいものであること。 保育内容の他領域との関連を常に考えて総合的に学習してほしい。 飼育・栽培活動については、授業だけではなく年間を通して観察や飼育の体験活動をしてほしい。

講義科目名称：保育内容演習Ⅰ（言葉）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択　保育士・幼稚園教諭：必修
担当教員			
新井　悦子			
担当形態：単独			

講義概要	①言葉の機能・言葉の獲得・発達の基礎を作るものを踏まえ、幼児教育において育みたい資質・能力を理解する。 ②幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「言葉」のねらいや内容について理解を深める。 ③幼児の発達に即した初語の頃までの発達の特徴、乳幼児期の発達の特徴および乳幼児期の言葉の発達過程について概観し、主体的・対話的な保育を構想する方法を身に付ける。 ④幼児期の発達や学びの過程を理解し、遊びの中での関わり方・活動の中での関わり方を学ぶ。 ⑤絵と言葉の豊かな世界（絵本、紙芝居）、劇や物語（パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート等）、想像や言葉のリズム（素話・言葉遊び）を学ぶ。
授業計画	１　領域「言葉」とは何か 領域「言葉」のねらいと内容 学習課題　復習　領域「言葉」のねらいと内容に関する学習内容の確認 予習　新生児の持つ力と話し言葉出現以前の行動の確認 ２　言葉の発達　①初語のころまで 新生児の持つ力を知り、話しことば出現以前の行動を知る 学習課題　復習　新生児の持つ力と話言葉出現以前の行動に関して振り返る 予習　幼児期前期の言葉の発達の特徴についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるか考える ３　言葉の発達　②幼児期前期 幼児期前期の言葉の発達の特徴を知り、子どもの発語意欲をどのように育てるか話し合う 学習課題　復習　幼児期前期の言葉の発達についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるかに関する学習内容の確認 予習　幼児期後期の言葉の特徴について知る。 ４　言葉の発達　③幼児期後期 幼児期後期の言葉の発達の特徴を知り、子どもの発語意欲をどのように育てるか話し合う 学習課題　復習　幼児期後期の言葉の発達についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるかに関する学習内容の確認 予習　言葉の発達を支える環境について調べる。 ５　言葉の発達　④言葉の背景にあるもの 言葉の発達を支える環境について考える 学習課題　復習　言葉の発達を支える環境について振り返る。 予習　子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について考える。 ６　子どものことばと保育者 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について考える 学習課題　復習　子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について振り返る。 予習　特別な配慮の必要な子どもについて調べる。 ７　特別な配慮の必要な子ども　情報機器等の有効的な活用法 援助の仕方や対応の仕方について考える 学習課題　復習　援助の志方や対応の仕方について振り返る。 予習　わらべうたや手遊びなどについて調べる。 ８　歌や触れ合いを楽しむ遊び わらべうたや手遊びなどが育てるものについて理解する 学習課題　復習　わらべうたや手遊びなどが育てるものについて振り返る。 予習　絵本や紙芝居にはどのようなものがあるか調べる。 ９　児童文化と内容　①絵と言葉の世界 絵本や紙芝居は何を育てるか考える 学習課題　復習　絵本や紙芝居が育てるものについて振り返る。 予習　パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇とは何か調べる。 １０　児童文化と内容②劇や物語 パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇の実演技術を身につける 学習課題　復習　パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇の実演について振り返る。 予習　素話・言葉遊びについて調べる。 １１　児童文化と内容③想像や言葉のリズム 素話・言葉遊びの教育的効果について整理する 学習課題　復習　素話・言葉遊びの教育的効果について振り返る。 予習　劇遊びについて調べる。 １２　児童文化と内容④ごっこの世界から劇遊びへ ごっこ遊びから劇遊びへ発展する過程について学ぶ 学習課題　復習　ごっこ遊びから劇遊びへ発展する過程を振り返る。 予習　グループでの劇遊びの内容について考える。 １３　児童文化と内容⑤劇遊び発表会の準備 グループでの劇遊び発表会の練習と準備 学習課題　復習　劇遊びの練習について振り返る。 予習　劇遊びの練習 １４　児童文化と内容⑥劇遊び発表会の実施

	グループでの劇遊び発表会の実施 学習課題　復習　全グループの劇遊びの発表を振り返る。 予習　これまでの学習をおおまかに振り返る。 １５　復習・総まとめ これまで学習してきた内容の確認 学習課題　復習　これまで学習してきた内容を振り返る。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①人間形成における言葉の役割と意義を理解し、幼児期に育みたい資質・能力を理解する ②領域「言葉」のねらいや内容について理解を深める。 ③乳幼児の言葉の獲得過程と発達段階を理解する ④乳幼児期の発達段階にふさわしいことばの指導法を学ぶ ⑤児童文化財の中から素材を選択し、実演する事によって基本的な言葉技能を身につける 班単位での活動・発表（手遊び・劇遊びなど）、個人での発表（素話）・授業内レポート、定期試験を総合して評価をおこなう 班単位での活動・発表（40%）、個人での発表・授業内レポート（20%）、定期試験（40%）
科目（教職課程用）	領域および保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	テキスト：購入『保育内容・言葉』　太田光洋　編著　　同文書院（前期の「子どもと言語」と同じ教科書） 参 考 書：必要に応じて資料を配布　　幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：乳児保育Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
戸田　恵理子			

講義概要	① 乳児保育の理念を理解する　乳児保育の歴史的変遷について理解する　　乳児保育の基本的な考え方を学ぶ ② 保育所や乳児院における乳児保育の現状を理解する　　乳児保育の役割と機能を理解する ③ 乳児の発達を理解する　　乳児の発達の個人差を理解する　　乳児保育における基本的な知識・技術に基づく援助や　　関りについて学ぶ ④ 乳児期の生活を保障する保育について理解する　　乳児保育の計画と記録・評価について理解する　乳児保育の環境づくりについて理解する ⑤　保育所における子育て支援について理解する　　保育所における保育者間の連携について理解する　　保健・医療機関等との連携方法について理解する
授業計画	1　乳児保育の意義 乳児保育の意義と目的 乳児保育のあゆみ 学習課題　復習： 予習： 2　保育所における乳児保育の現状と課題 乳児保育が行われる場所 保育所及び保育士の役割 学習課題　復習： 予習： 3　乳児の心身の発達Ⅰ 健康な乳児の心と体の発達 4　乳児の心身の発達Ⅱ 離乳食について（食事介助・食物アレルギーへの対応等） 乳児の発達の特徴とあそび 学習課題　復習： 予習： 5　乳児への適切な関わりⅠ 乳児保育における保育者の配慮事項 乳児保育における保育者の関わり 学習課題　復習： 予習： 6　乳児への適切な関わりⅡ 乳児保育における基本的生活習慣の援助や関わり 学習課題　復習： 予習： 7　乳児への適切な関わりⅢ 演習）沐浴のしかた・清拭のしかたについて 沐浴の目的等 学習課題　復習： 予習：「保育所保育指針　第2章　保育の内容　に目を通しておくこと」 8　乳児の発達に応じた保育内容Ⅰ 乳児のからだの発育と運動機能の発達について 保育所保育指針について ６か月未満児の発達と保育内容 ６か月から１歳３か月未満児の発達と保育内容 学習課題　復習： 予習： 9　乳児の発達に応じた保育内容Ⅱ 1歳3か月から2歳未満児の発達と保育内容 ２歳児の発達と保育内容 学習課題　復習： 予習：「保育所保育指針 第1章 総則３ 保育の計画及び評価に目を通しておくこと」 １０　保育の計画Ⅰ 保育課程について 全体的な計画の作成 学習課題　復習： 予習：「保育所保育指針 第1章 総則３ 保育の計画及び評価（２）キに目を通しておくこと」 予習： １１　保育の計画Ⅱ

	記録及び評価 評価を踏まえた計画の改善 障害のある子どもの保育 学習課題　復習： 予習： １２　乳児保育の環境 乳児保育における安全な環境について 個々の発達を促す生活と遊びの環境の工夫 学習課題　復習： 予習： １３　家庭・地域との連携Ⅰ 保育者による保護者支援 保育者 学習課題　復習： 予習： １４　家庭・地域との連携Ⅱ 地域の関係諸機関との連携や協力の方法 専門機関との連携における保育者の役割 学習課題　復習： 予習： １５　乳児の保育に関わる者として 「乳児の最善の利益」を保証する保育について　（グループワーク） 学習課題　復習： 予習：
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①乳児保育の理念と歴史的変遷ついて理解する ②乳児を取り巻く環境・課題に関心を持ち、保育所、乳児院等における乳児保育の役割と機能を理解する ③乳幼児の心身の発達や特徴を理解する ④乳児保育に携わる者として必要な実践的な知識や技術の基本を、演習を通して習得する ⑤子育て関係諸機関の役割と連携・協力の方法について理解する 授業や演習時の取り組み、課題の提出、確認テスト及び筆記試験を総合的に評価を行う。 授業回中の確認テスト(10%)　課題レポート（10％）　実践演習（20%）　筆記試験（60%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	「乳児保育」基本保育シリーズ⑯　寺田 清美　　大方 美香　　塩谷 香　　監修　公益財団法人　児童育成協会 『保育所保育指針』必携
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間・会議等以外の時間は対応可能
備考・メッセージ	次回の授業内容を予習し、内容に応じた準備（服装・身なり・資料等）をし、受講すること。 学習内容の定着化を図るため、講義内容の復習を行うこと。 専門用語等の意味等を調べておくこと。

講義科目名称：社会的養護内容　　授業コード：12134　13134

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	選択
担当教員			
志賀　信夫			

講義概要	①施設養護と保育士の関係を理解し、施設養護のプロセスを考察する。 ②施設における社会的養護援助の基本を概観し、こころの援助とは何かを理解する。 ③親子関係の援助および地域・学校との関係づくりについて理解する。 ④自己実現・自立への支援について理解する。 ⑤児童福祉施設の運営管理について学び、保育士として施設で働くことについて考察する。
授業計画	第１回　子どもの養護と保育士（１） 今日の養護問題について理解し、保育士の役割を考える。 第２回　子どもの養護と保育士（２） 里親制度の現状と課題を理解する。 第３回　施設養護のプロセス 施設入所前後からアフターケアまで、施設養護における留意点について理解する。 第４回　社会的養護施設における基本的な援助・支援 児童養護施設等社会的養護施設での援助や支援について理解する。 第５回　障害児入所施設における基本的な援助・支援 障害児入所施設での援助や支援について理解する。 第６回　こころの援助（１） 施設養護におけるこころの援助とは何かについて理解する。 第７回　こころの援助（２） 施設養護におけるこころの援助について事例を通じて理解する。 第８回　親子関係の援助 施設養護における親子関係の援助とは何か理解する。 第９回　地域社会や学校との関係づくり 施設養護において必要な地域社会や学校との関係づくりや地域における施設の役割について理解する。 第１０回　自立支援（１） 施設養護における自立の考え方や自立支援の意味について理解する。 第１１回　自立支援（２） 施設養護における自立支援について事例を通じて理解する。 第１２回　自立支援（３） 自立支援計画の目的や策定上の留意点を理解し、自立支援計画の記載について学習する。 第１３回　児童福祉施設の運営管理 施設の運営や組織、職員について理解する。 第１４回　児童福祉施設における保育士の資質と倫理 児童福祉施設の保育士に求められる資質や倫理について理解し、バーンアウトを予防する方法について考える。 第１５回　まとめ 社会的養護について理解が深まったことをまとめレポートを提出する。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①今日の養護問題と社会的養護の実施体系を関連づけて理解できるようになる。 ②施設養護のプロセスにおける子ども支援、親支援について理解できるようになる。 ③児童福祉施設で働く援助者としての保育士について理解を深められるようになる。 ④社会的養護における市町村や地域との連携について理解できるようになる。 ⑤社会的養護の現代的課題について理解し意見を述べられるようになる。 授業への参加意欲を評価し、後半では課題レポートをまとめることを求め、筆記試験で理解度を評価する。 ①達成目標①～④に関する理解度を筆記試験で評価する。（５０％） ②達成目標⑤はレポートの完成度により総合的に評価する。（４０％） ③参加意欲（１０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：辰己隆、岡本眞幸編『三訂版　保育士をめざす人の社会的養護内容』 みらい 2018年。
履修条件	

履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	社会的養護について復習・確認しながら、関連する事柄について常に関心を向けるようにしてほしい。

講義科目名称：保育相談支援　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	保育士：必須
担当教員			
澤田　須賀子			

講義概要	①保育相談支援導入までの経緯を理解する　保護者に対する保育相談の意義と原則について学ぶ　保育相談支援の必要性を理解する ②保育の特性と保育士の専門性を生かした支援について考える　子どもの成長・発達を援助する技術を学ぶ　保護者への相談・助言に関する知識を学ぶ ③保護者との信頼関係の構築について学ぶ　保護者の養育力の向上に資する支援を学ぶ　いい木の社会資源の活用や関係機関等との連携について理解する ④保育所における保育相談支援を学ぶ　日常場面における保育相談支援を学ぶ　保育相談支援の直接的な手段を理解する ⑤保育所が行う地域子育て支援の役割を理解する施設機能に即した保育相談支援を学ぶ　施設を利用する保護者の特性を理解する
授業計画	１　オリエンテーション 授業のねらいと進め方について 保育相談支援とは何か 学習課題　復習：保育相談支援に関する本や資料を参考にしながら、本日の学びを振り返る 予習：保育相談支援とは何か　事前に調べる ２　保育相談支援の意義と基本的視点 保育士の業務と保育相談支援 学習課題　復習：授業での資料を参考にしながら、「保育相談支援」導入までの経緯とその内容を振り返る 予習：保育所保育指針第6章　保育所における保護者に対する支援の基本を読んでおくこと ３　保育相談支援の意義と基本的視点 保育相談支援の構造・展開と相談援助との関係 学習課題　復習：参考書や資料を参考にしながら、保育相談支援の展開について振り返る 予習：保育指導技術の類型と定義について読んでおくこと ４　保育相談支援の基本 保育相談支援の価値と倫理・信頼関係を築く受容と自己決定の尊重 学習課題　復習：参考書や資料を参考にしながら、保育相談支援における受容や自己決定の尊重について振り返る 予習：全国保育士会倫理綱領を読んでおくこと ５　保育相談支援の基本 子どもの最善の利益の重視・保護者の養育力の向上に資する支援について 学習課題　復習：参考書や資料を参考にしながら、学びを振り返る 予習：自分の居住地にある子育てにかかわる社会資源を調べておく ６　保育相談支援の展開① 保育を基盤とした保育相談支援・保育相談支援の方法と技術 学習課題　復習：参考書や資料を参考にしながら、支援事例を振り返る 予習：保育相談支援技術例を読んでおくこと ７　保育相談支援の展開② 保育を基盤とした保育相談支援・保育相談支援の方法と技術 1回から6回までの振り返り 学習課題　復習：理解できなかった部分を再度学習する。 予習：資料を活用しながら、今までの学びを振り返る ８　保育所の地域子育て支援における保育相談支援 地域子育て支援における相談支援 学習課題　復習：参考書や資料を参考にしながら、保育所が行う地域子育て支援の役割を振り返る 予習：自分の地域で行われいてる子育て支援を調べておく ９　環境を通した保育相談支援 環境を通した保育と相談支援 保護者の日常を支える環境 学習課題　復習：参考書や資料を参考にしながら、保護者の子ども理解を促す環境を自分なりにまとめる 予習：保護者を支える環境について理解する １０　保育所入所児童の保護者への保育相談支援

	保育相談支援の実践事例と解説 学習課題　復習：参考書や資料を参考にしながら、本日の学びを振り返る 予習：事前配布資料を読んでおくこと １１　保育所入所児童の保護者への保育相談支援 保育相談支援の実践事例と解説、保育相談支援の手段・評価 学習課題　復習：教科書や資料を参考にしながら、保護者への間接的な対応・特別な対応を必要とする家庭に対する保育相談支援を振り返る 予習：送迎時の対応・連絡帳の活用法を理解する 12　児童福祉視閲における保育相談支援 児童福祉施設（保育所以外）における保育相談支援の実際 学習課題　復習：施設の特性や施設を利用する保護者の特性を振り返る 予習：配布資料を読んでおくこと 13　保育所、幼稚園、認定こども園での子育て支援の実際① 実際に保育施設に子どもを預けている保護者の方から話を聞く 学習課題：復習：振り返りシートにて、本日の学びを振り返る 予習：今までの資料や、保護者支援に関する本や資料に目を通しておく １４　保育所、幼稚園、認定こども園での子育て支援の実際② 実際に保育施設に子どもを預けている保護者の方から話を聞く 学習課題：復習：振り返りシートにて、本日の学びを振り返る 予習：今までの資料や、保護者支援に関する本や資料に目を通しておく8回から13回までの振り返り １５　まとめ 保育相談支援の実際についての事例検討 学習課題　復習：今までの学びを振り返る 予習：今までの配布資料等をまとめ、目を通しておく
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①保育相談支援の意義と原則について理解することができる ②保育の特性と保育士の専門性を生かした支援を理解することができる ③保護者支援の基本を理解することができる ④保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解することができる ⑤保育所等児童福祉施設における保護者支援の実際について理解することができる ①課題レポートなどの提出状況と内容（30%）②定期試験（60%）③学習に取り組む姿勢（10%）を総合して評価を行う
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	必要に応じて参考資料を配布 参考書：柏女霊峰/橋本真紀編著「保育相談支援」　ミネルヴァ書房 参考書：編集　小原敏郎・橋本好市・三浦主博　「演習・保育と保護者への支援ー保育相談支援ー」　みらい
履修条件	必要資料等を持参すること
履修上の注意	保護者を支援する立場になることを意識して授業を受けること 最低限のマナーを守ること（時間厳守、机上に必要ないものを置かない等）
オフィスアワー	会議・巡回・出張等を除き、質問等の対応可能。
備考・メッセージ	①やむなく欠席した場合は、次週の授業前までに、担当教員の研究室に資料を取りに来ること ②テキストを読み、次回の授業範囲を予習しておくこと

講義科目名称：保育相談　　授業コード：11133　22134

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２学年	２単位	必修
担当教員			
樋渡　由貴			

講義概要	現代の日本では、都市化による地域の変化、女性の社会進出に伴う家族の在り方の変化、核家族や少子化など保育をとりまく社会環境は大きく変わり、「子育て支援」への関心が高まっています。保育者はそのような社会背景を理解し、子ども理解と子育てに関わる親への支援、地域との連携、保育者のメンタルヘルスなどについて学んでいく必要があります。 本講義では保育者の資質として必要な教育相談（カウンセリングマインド）の必要性について理解し、保育実践の今日的課題に向き合うための基本的知識、子育てに関する教育相談（カウンセリング）理論・技法・応用について学んでいきます。
授業計画	第１回　保育・教育相談、カウンセリングマインドとは何か（第１章） 今現在の自分自身のカウンセリングマインドについて測定する（授業前） 学習課題　復習：教科書10～17ページ 予習：子どもの発達（乳児期）の確認 第２回　保育・教育相談を行うための発達理解（第２章） 学習課題　復習：教科書18～31ページ 予習：教科書32～46ページ 第３回　保護者への対応ー子育て支援の視点から（第３章） 学習課題　復習：教科書162～177ページ 予習：教科書61～71ページ 第４回　子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ（第５章） 学習課題　復習：教科書61～71ページ 予習：誰かに話を聞いてもらいたいと思う時のエピソードを振り返る 第５回　保育現場でのカウンセリング技法の活用（第６章） 学習課題　復習：教科書72～85ページ 予習：誰かに話を聞いてもらえた時の感情を振り返る 第６回　基礎的対人関係のトレーニング（第９章） 学習課題　復習：教科書110～124ページ 予習：教科書86～98ページ 第７回　園・地域における専門家との連携による相談・支援（第７章） 学習課題　復習：教科書86～98ページ 予習：教科書99～109ページ 第８回　保育者の専門性と相談援助（第８章） 学習課題　復習：教科書99～109ページ、 予習：子どもの頃のケンカについて振り返る 第９回　事例理解①子ども同士のいざこざ②仲間に入れない子ども 学習課題　復習：教科書126～129ページ、130～133～ページ、ケースシートの作成 予習：自己制御について、登園拒否について確認 第１０回　事例理解③すぐに暴力を振るう子ども④不登園の子ども 学習課題　復習：教科書134～137ページ、138～141ページ、ケースシートの作成 予習：虐待、気になる子の定義、用語について確認 第１１回　事例理解⑤虐待が疑われる子ども、その他事例を参照 学習課題　復習：教科書142～161ページ、ケースシートの作成 予習：これまでに作成したケースシートの振り返り 第１２回　模擬ケース検討会議（１回目） グループとケースの決定、内容について会議する 学習課題　復習： 予習：役割の再確認 第１３回　模擬ケース検討会議（２回目） グループでケースについて共有し、理解と対応方針をまとめる 学習課題　復習： 予習：担当グループは発表準備 第１４回　ケース対応事例の発表 会議での内容を踏まえ、グループ発表をする。 学習課題　復習：評価項目と到達目標を再設定 予習：担当グループは発表準備 第１５回　ケース対応事例の発表と評価 会議での内容を踏まえ、グループ発表をする。 今現在の自分自身のカウンセリングマインドについて測定する（授業後） 学習課題　復習：各グループの発表内容と対応を整理する
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点　　評価手段・方法　　評価比率 関心・意欲・態度　保育現場で必要とする協働する態度、チームで課題に取り組む意欲を維持できる。　・授業態度　10%

	知識・理解	保育・教育相談の意義を理解し、幼児理解と支援、カウンセリングマインドの重要性について理解できる。	・確認テスト 30%
	思考・判断	カウンセリングマインドを用いた子どもの理解と保育者の役割について考え、適切な対応を判断できる。	・ケースシート 30%
	技能・表現	カウンセリングマインドを用いた子どもの理解と支援を言語化し、チームの意見を取り入れながら、再構築することができる。	・討論 30%
			出　席　受験要件 合　計　100
科目（教職課程用）	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
教科書・参考書	教科書：『子どもの理解と保育・教育相談』　小田　豊・秋田喜代美　編　2014　（株）みらい 参考書：幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で教室、研究室で質問を受け付ける。		
備考・メッセージ	ケースシートの作成の際には教科書の事例をよく読んでおいてください。		

講義科目名称：総合保育技術ａ２　　授業コード：54133

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	１単位	選択
担当教員			
石多　加代子			

講義概要	①演目の決定・選曲と台本作成 ②役割分担と作業 ③音取り練習 ④動きの練習 ⑤発表
授業計画	１　オリエンテーション 過年度作品鑑賞、説明会 ２　基礎練習・役割分担・演目決め 発声練習・音取り練習・台本作成 ３　発声練習・音取り練習・台本作成 ４　発声練習・音取り練習・台本作成 ５　発声練習・音取り練習・台本読み合わせ ６　オーディション 発声練習・音取り練習・キャストを決める ７　発声練習・音取り練習・セリフ練習 ８　発声練習・音取り練習・セリフ練習・たち稽古 ９　発声練習・音取り練習・セリフ練習・たち稽古 １０　発声練習・立ち稽古　踊りの振付 １１　発声練習・立ち稽古　踊りの振付 １２　発声練習・立ち稽古　踊りの振付 １３　発声練習・立ち稽古　踊りの振付 １４　通し稽古・道具衣装作成（話し合い） １５　通し稽古・道具衣装作成（話し合い・買い物） １６　立ち稽古 １７　道具・衣装作成 １８　通し稽古 １９　道具・衣装作成 ２０　通し稽古 ２１　道具・衣装作成 ２２　練習 通し稽古 ２３　道具・衣装作成 ２４　練習

	２５　　通し稽古 大道具、小道具、衣装等を使って ２６　　リハーサル 大道具、小道具、衣装等を使って（ビデオ撮り） ２７　　リハーサル 大道具、小道具、衣装等を使って ２８　　本番 ２９　　本番 ３０　　反省会 鑑賞と反省、総括
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①演じるために必要な技術や心を育てる。 ②オペレッタの流れを読み、舞台に必要な大道具・小道具・衣装を考える。 ③舞台に必要な物を作成する。 ④振付け、動き等を考える。 ⑤自分を解放して懸命に演じる。 成果発表までの練習製作への取り組み、当日の出演、振り返りを総合して評価を行う。 成果発表までの練習への取り組み４５％、当日の出演５０％、振り返り５％
科目（教職課程用）	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法
教科書・参考書	テキスト：プリントにて
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【　準備学習（自習練習）】前時間に習得した事を忘れないよう、イメージトレーニング、自主練習をしておく事。

講義科目名称：総合保育技術ｂ２　　授業コード：54134

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	１単位	選択
担当教員			
野田　章子			

講義概要	①自分の体を理解する　自分の体を変える楽しさを理解する　自分の体をコントロールする楽しさを理解する ②内発的なイメージを捉えて膨らますことの大切さを理解する　内発的なイメージと体の動きを繋げる工夫を理解する　自分の心と体を自由に動かす大切さを理解する ③空間・力・時間（３要素）の使い方を考える　照明・音響の効果を考える　衣装や小道具の工夫を考える ④グループによる創作活動の実施　グループでの練習及び発表の実施　意見交流会・批評会の実施 ⑤「音楽と動きのつどい」に参加する　「発表会」の意義を理解する
授業計画	１　オリエンテーション（合同） 過年度作品の発表と授業（a・b・c)の選択 ２　創作活動① グループ決めと作品の選択 ３　創作活動② テーマ決めと作品の構想・デッサン ４　創作活動③ 主題となる動きやイメージの抽出 ５　創作活動④ 効果的な音の選択・編集 ６　創作活動⑤ 動きづくり（１）　（前半） ７　創作活動⑥ 動きづくり（２）　（前半） ８　創作活動⑦ 作品の中間発表と意見交流会 ９　創作活動⑧ 動きづくり（３）　（後半） １０　創作活動⑨ 動きづくり（４）　（後半） １１　創作活動⑩ 動きづくり（５）　（通し） １２　創作活動⑪ 作品の完成発表と意見交流会 １３　創作活動⑫ グループによる作品鑑賞と批評会 １４　創作活動⑬ よりテーマを伝えるための工夫（衣装・小道具など） １５　創作活動⑭ 作品の完成発表と意見交流会 １６　つどい発表準備① 衣装・小道具などの制作（１） １７　つどい発表準備② 衣装・小道具などの制作（２） １８　つどい発表準備③ 通し練習（１） １９　つどい発表準備④ ダンス作品通し練習及び作品の演出（１） ２０　つどい発表準備⑤ 通し練習（２） ２１　つどい発表準備⑥ ダンス作品通し練習及び作品の演出（２） ２２　つどい発表準備⑦ 通し練習（３） ２３　つどい発表準備⑧ ダンス作品通し練習及び作品の演出（３）

	２４　つどい発表準備⑨ 通し練習（４） ２５　つどい発表準備⑩ ダンス作品通し練習及び作品の演出（４） ２６　つどい発表準備⑪ 通し練習（５） ２７　つどい発表準備⑫ ダンス作品通し練習及び作品の演出（５） ２８　つどい発表準備⑬ 「音楽と動きのつどい」リハーサル ２９　つどい発表準備⑭ 「音楽と動きのつどい」リハーサル ３０　まとめ つどいの反省と総括
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①基本的なダンステクニックを習得する ②自分らしい表現方法を習得する ③創作活動の流れを把握し実践に生かす技術を習得する ④互いの表現に共感し認め合うことの意義を理解する ⑤舞台での発表を通して自己表現と自己現実の教育的価値を理解する 創作活動、つどい発表準備の活動、つどい舞台発表、成果レポートを総合して評価をおこなう 創作活動（４０％）、つどい発表準備の活動（２０％）、つどい舞台発表（３０％）成果レポート（１０％）
科目（教職課程用）	創作活動、つどい発表準備の活動、つどい舞台発表、成果レポートを総合して評価をおこなう
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	創作活動（４０％）、つどい発表準備の活動（２０％）、つどい舞台発表（３０％）成果レポート（１０％）
教科書・参考書	テキスト：必要に応じて、プリントを配布する
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】各自考えや意見（具体的なイメージや動きを含む）を創作ノートにまとめておくこと

講義科目名称：総合保育技術ｃ２　　授業コード：54135

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	１単位	選択
担当教員			
藤澤　明日菜			

講義概要	①担当楽器を再確認する　レベルに応じた練習メニューを行う　楽譜について知識を深める ②演奏法指導補助を行う　自主的な合奏の進行を促す　授業内にて積極的に意見を述べる ③多くの楽曲を聴く　様々な練習曲を合奏する　曲の背景について学ぶ ④発表に向け合奏を行う　セクション分奏等を行う　場合に応じて楽器ごとに練習をする ⑤「音楽と動きのつどい」にリーダーとして参加する　「発表会」の意義を体感する
授業計画	１　オリエンテーション（合同） 過年度作品の発表と授業（ａ・ｂ・ｃ）の選択 ２　基本奏法の習得① 担当楽器及び練習曲の選択 ３　基本奏法の習得② 正しい姿勢及び奏法 ４　基本奏法の習得③ ロングトーン、ユニゾンでの音階練習 ５　基本奏法の習得④ タンキング・和声等 ６　基本奏法の習得⑤ 練習曲の合奏（１） ７　基本奏法の習得⑥ 練習曲の合奏（２） ８　基本奏法の習得⑦ ソロ演奏練習（１） ９　基本奏法の習得⑧ ソロ演奏練習（２） １０　基本奏法の習得⑨ ソロ演奏授業内発表会 １１　基本奏法の習得⑩ 発表作品の選択・楽譜配布 １２　基本奏法の習得⑪ 発表作品研究・練習（１） １３　基本奏法の習得⑫ 発表作品研究・練習（２） １４　基本奏法の習得⑬ 発表作品研究・練習（３） １５　中間発表会 中間発表 １６　つどい発表準備① 発表曲譜読み・演出企画話し合い（１） １７　つどい発表準備② 発表曲譜読み・演出企画話し合い（２） １８　つどい発表準備③ 通し練習（１） １９　つどい発表準備④ 発表曲合奏練習（１） ２０　つどい発表準備⑤ 通し練習（２） ２１　つどい発表準備⑥ 発表曲合奏練習（２） ２２　つどい発表準備⑦ 通し練習（３） ２３　つどい発表準備⑧ 発表曲合奏練習（３） ２４　つどい発表準備⑨

	通し練習（４） ２５　つどい発表準備⑩ 演出を含めたステージ通し練習（１） ２６　つどい発表準備⑪ 通し練習（５） ２７　つどい発表準備⑫ 演出を含めたステージ通し練習（２） ２８　つどい発表準備⑬ 「音楽と動きのつどい」学内リハーサル ２９　つどい発表準備⑭ 「音楽と動きのつどい」学内リハーサル ３０　まとめ つどいの反省と総括
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①管・打楽器の演奏技術を更に向上させる ②指導能力、リーダーシップを育成する ③吹奏楽を通じ様々なジャンルの音楽を学ぶ ④合奏により協調性、チームワークを育成する ⑤ステージを作り上げることによる達成感、人に喜んでもらえる喜びを体感する 成果発表までの練習への取り組み４０％、当日の出演５０％、振り返り１０％
科目（教職課程用）	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法
教科書・参考書	テキスト：必要に応じてプリント等を配布する
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】楽譜の事前譜読みをしっかり行い、合奏に主体的に参加できる準備をしておくこと。 担当楽器に関して出来る限り自主練習を行うこと

講義科目名称：保育内容演習Ⅱ（保育教材研究a）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	選択
担当教員			
澤田　須賀子			
担当形態：単独			

講義概要	①あそびの重要性を理解する　主体的なあそび活動によって子どもに身につく力を理解する　子どもが様々な素材や道具に触れることの重要性を理解する ②身近な物や用具などに興味を持ち、その特性を理解する　季節や行事における様々な素材や用具を活用した保育教材を考える　子どもが楽しく安全にあそび活動ができる環境を工夫する ③子どもの年齢や様子に配慮した保育活動を理解する　子どもの年齢や発達段階に応じた様々なあそびを理解する　子どもの発達に応じたあそび活動を考える ④子どもの興味・関心を引き出す保育教材を知る　子どもが興味・関心を持つことができる保育教材を考える ⑤あそび活動を支援する保育者の役割を知る　具体的な保育者の配慮事項や援助の方法を学ぶ
授業計画	１　オリエンテーション　　グループ活動部分実習計画・練習 授業の概要・評価方法について 学習課題　復習：実習に向けての準備を行う 予習：シラバスを見ておく ２　グループ活動　部分実習計画・練習 幼稚園事前実習のための準備 グループでの製作活動、表現活動、発表練習 学習課題　復習：実習のための準備や確認をする 予習：グループ練習をする ３　壁面構成 保育室を彩る「環境構成」の一つである壁面装飾の表現方法について学ぶ。 学習課題　予習：教室を彩る壁面装飾の表現方法について、保育関連書籍にあたるなどして、考える。 復習：授業で学んだ壁面装飾以外に、どのような壁面装飾が子どもの育ちを支えるか再考し、自分でも表現してみる。 ４　子どもにとっての遊びとは①　０・１・２歳児 ０・１・２歳児のあそびを考える 学習課題　復習：「私の考える0・1・2歳児の遊び」についてレポートを書き、提出 予習：０・１・2歳児のあそびについて調べておく ５　子どもにとっての遊びとは②　３・４・5歳児 3・4・5歳児のあそびを考える 学習課題　復習：「私の考える3・4・5歳児の遊び」についてレポートを書き、提出 予習：3・4・5歳児のあそびについて調べておく ６　季節の遊び①（春夏編） 保育現場における季節の遊びを考える。（春夏編） 学習課題　復習：年齢に応じた季節の遊びを考える 予習：季節に合った遊びを調べておく ７　季節の遊び②（秋冬偏） 保育現場における季節の遊びを考える。（秋冬編） 学習課題　復習：年齢に応じた季節の遊びを考える 予習：季節に合った遊びを調べておく ８　いろいろな保育教材① 牛乳パックシアター、紙皿シアターなどを制作する 学習課題　復習：作品の製作 予習：事前配布プリントを読み、製作したいシアターを考えておく ９　いろいろな保育教材② 牛乳パックシアター、紙皿シアターなどを制作する 学習課題　復習：作品の製作 予習：事前配布プリントを読み、製作したいシアターを考えておく １０　てぶくろシアター てぶくろを使ったお話を考える 学習課題　復習：てぶくろシアターを製作する。 予習：てぶくろシアターに必要な材料を準備する １１　てぶくろシアター てぶくろを使ったお話を考える 学習課題　復習：てぶくろシアターを製作する。 予習：てぶくろシアターに必要な材料を準備する １２　てぶくろシアター てぶくろを使ってお話をつくる 学習課題　復習：てぶくろシアターを仕上げる 予習：てぶくろシアターに必要な材料を準備する １３　エプロンシアター① エプロンシアターを実際に製作することで、素材の特性や表現方法の実際について学ぶ。 学習課題　予習：どのようなエプロンシアターがあるのか、保育関連書籍にあたるなどして、考える。 エプロンシアターの表現の特性について、自分で考えたり保育関連書籍にあたるなどして、考える。

	復習：エプロンシアターの製作。 １４　エプロンシアター② エプロンシアターを実際に製作することで、素材の特性や表現方法の実際について学ぶ。 学習課題　予習：どのようなエプロンシアターがあるのか、保育関連書籍にあたるなどして、考える。 エプロンシアターの表現の特性について、自分で考えたり保育関連書籍にあたるなどして、考える。 復習：エプロンシアターの製作。 １５　エプロンシアター③ エプロンシアターを実際に製作することで、素材の特性や表現方法の実際について学ぶ。 学習課題　予習：どのようなエプロンシアターがあるのか、保育関連書籍にあたるなどして、考える。 エプロンシアターの表現の特性について、自分で考えたり保育関連書籍にあたるなどして、考える。 復習：エプロンシアターを春休み中に完成させる。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①子どもの主体的活動の重要性を理解することができる ②子どもが様々な環境に関わりながらあそぶことができるように環境を計画し工夫することができる ③子どもの年齢や発達に応じたあそびを考え実践することができる ④子どもの興味・関心を引き出すための様々な工夫を生み出す力を身につけることができる ⑤子どものあそび活動ができるような、保育者の援助の方法を理解し実践することができる 課題・レポート等の提出（90%）、授業や演習時の取り組み（10%）、を総合的に評価する
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	必要に応じてプリントを配布する 参考書：幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	各自で道具箱を持参すること
履修上の注意	ハサミやカッター、縫い針などを使用することが多いので、持ち物の管理、使用方法に注意すること
オフィスアワー	授業や出張等で不在している場合を除き、随時受け付ける
備考・メッセージ	子どもたちの笑顔を思い浮かべながら取り組みましょう。

講義科目名称：保育内容演習Ⅱ（保育教材研究b）　　授業コード：11134　12133

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	選択
担当教員			
戸田　恵理子			

講義概要	①遊びの重要性を理解する　子どもが主体的に関わる遊びを考える　子どもが生活の中で様々なものに触れ、発見を楽しみ、遊びに取り入れることができるような保育環境を考える　主体的な遊び活動によって子どもに身につく力を理解する ②子どもが様々な素材や道具に触れることの重要性を理解する　身近な物や用具などに興味を持ち、その特性を理解する　季節や行事における様々な素材や用具を活用した保育教材を考える　子どもが楽しく安全に遊び活動ができる環境を工夫する ③子どもの年齢や様子に配慮した保育活動を理解する　子どもの年齢や発達段階に応じた様々な遊びを理解する　子どもの発達に応じた遊び活動を考える　子どもの様子に応じた保育計画を立案し実践する ④子どもの興味関心を引き出す保育教材を知る　子どもが興味・関心を持つことが出来る保育教材を考える 子どもが興味・関心を持ち、楽しんで遊べるような安心・安全面に配慮した環境構成の工夫をする ⑤子どもが身近にあるものを遊びに取り入れながら遊び活動を発展できるような保育環境をデザインする　遊び活動を支援する保育者の役割を知る　具体的な保育者の配慮事項や援助の方法を学ぶ
授業計画	1　子どものあそびについて 「あそび」の意義 子どもが主体的に関わるあそびについて 学習課題　予習：「実習園で読みたい絵本や紙芝居の用意をしておくこと」 2　絵本・紙芝居 子どもと絵本・紙芝居について 絵本や紙芝居を読む時の配慮事項について 学習課題　予習：「子どもの年齢や発達の特徴を理解しておくこと」 3　子どもの年齢・発達に応じた保育についてⅠ 子どもの年齢・発達に応じたあそび活動について 子どもが好きなあそびについて 学習課題　予習：「子どもが楽しめる保育教材を考え、必要な材料を準備しておくこと」 4　子どもの年齢・発達に応じた保育についてⅡ 子どもの興味・関心を引き出す保育教材の製作 学習課題　予習： 5　子どもの年齢・発達に応じた保育についてⅢ 子どもの興味関心を引き出す保育教材の完成 学習課題　復習：「実習園の園行事について調べておくこと」 6　園行事について 園行事の種類について 子どもの育ちに必要な園行事の考案（企画・実践に向けて） 学習課題　復習：「園行事の実践に必要な準備を行うこと」 7　園行事の実際Ⅰ 子どもの育ちに必要な園行事の実践 学習課題　予習： 8　園行事の実際Ⅱ 子どもの育ちに必要な園行事の実践と振り返り 学習課題　復習：「自身が実践した保育活動をまとめておくこと」 9　保育実践の記録Ⅰ 実習で実践した手あそび・歌あそびのまとめ 「あそぼうBOOK」の製作 学習課題　予習： 10　保育実践の記録Ⅱ 実習で実践した手あそび・歌あそびの紹介 「あそぼうBOOK」の完成 学習課題　予習：「保育実習先の保育理念・保育目標・デイリープログラムを調べておくこと」 11　0，1，2歳児のあそび 子どもの発達の個人差について 子どものリズムに応じた関りについて 学習課題　予習：「2歳児クラスで実施予定の指導計画案を考えておくこと」 「保育所保育指針を持参すること」 12　3歳未満児の保育の計画 子どもの生活の連続性を理解した指導計画を考える 子ども一人ひとりに応じた指導計画の立案 学習課題　予習：「模擬保育に必要な準備をしておくこと」 13　3歳未満児の保育の実践 模擬保育 学習課題　予習：「保育実践を通して自己課題を明確にしておくこと」 14　3歳未満児の保育の振り返り 模擬保育を通してPDCAサイクルを確認する 学習課題　予習： 15　保育に関わる者として

	子どもの主体的活動の尊重について 「環境」を通して行う保育について
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①子どもの主体的活動の重要性を理解する ②子どもが様々な環境に関わりながらあそぶことが出来るように、5領域の観点からこどものあそびが展開出来るような指導案作成及び実践を行う ③子どもの年齢や発達に応じた遊びを考え実践する ④子どもの興味・関心を引き出すための様々な工夫を生み出す力を身につける ⑤子どもの遊び活動が発展できるような、保育者の援助の方法を理解し実践する 保育教材等の作品提出（40%）、課題レポート（20%）、模擬保育の実践等（40%）を総合的に評価する。
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	課題ごとに、必要なプリントを配布 参考書：幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間・会議等以外の時間は対応可能
備考・メッセージ	

講義科目名称：子どもと音楽Ｉa(ピアノ・楽典)　　授業コード：41132　42133　43131

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択
担当教員			
友廣　憲子			

講義概要	①　バイエルや教則本(ブルグミュラ-25番)等の演奏する実践を通して、幼児教育において育みたい資質・能力を理解する。 ②　童謡の演奏体験を通し、幼児との主体的・対話的な関わり方を学ぶ。 ③　幼稚園教育要領に示されたねらいや内容を踏まえ、ピアノの技術を学び、演奏表現力を身に付ける。 ④　音楽理論を学習し、幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解する。
授業計画	1回目　オリエンテーション　子どもと音楽Ｉaについて 学習課題　復習:ねらいについて振り返る 予習:課題曲を練習する 2回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:鍵盤の並びについて 学習課題　復習:鍵盤の並びについて振り返る 予習：課題曲を練習する 3回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:鍵盤の並びと楽譜の関係について: 学習課題　復習：鍵盤の並びと楽譜の関係について振り返る 予習：課題曲を練習する 4回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:音の距離(音程)について 学習課題　復習：音の距離(音程)について振り返る 予習：課題曲を練習する 5回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:「ドレミファソ」を用いて 学習課題　復習：「ドレミファソ」を用いてを振り返る 予習：　課題曲を練習する 6回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:12鍵盤から 学習課題　復習：12鍵盤からを振り返る 予習：課題曲を練習する 7回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:12鍵盤から② 学習課題　復習：：12鍵盤からを振り返る 予習：課題曲を練習する 8回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:基本のコードについて 学習課題　復習：貴本のコードについて振り返る 予習：課題曲を練習する 9回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:基本のコードについて② 学習課題　復習：基本のコードについて②振り返る 予習：課題曲を練習する 10回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:転回形について 学習課題　復習：転回形について振り返る 予習：課題曲を練習する 11回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:転回形について② 学習課題　復習：転回形について振り返る 予習：課題曲を練習する 12回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:主要3和音について 学習課題　復習：主要3和音について振り返る 予習：課題曲を練習する 13回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:主要3和音について② 学習課題　復習：主要3和音について振り返る 予習：課題曲を練習する 14回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:主要3和音について③ 学習課題　復習：主要3和音について振り返る 予習：ピアノ課題曲練習　楽典　全体をまとめる 15回目　ピアノ:レベル別個人レッスン　楽典:まとめと評価 学習課題　復習：授業を振り返る 予習：課題曲を練習する
授業形態	演習(複数)
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①幼児教育において育みたい資質・能力を踏まえ、バイエル43番までを演奏することができるようになる ②幼児教育において育みたい資質・能力を踏まえ、生活の歌、童謡曲10曲の演奏が出来るようになる ③生活の歌、童謡曲10曲の弾き歌いを通して、幼児との主体的・対話的な関わり方を学ぶ ④コード伴奏の基礎が理解できるようになる。 ⑤幼稚園教育要領に示されたねらいや内容を踏まえ、4月～6月の童謡曲を歌うことができるようになる。 ピアノ実技、授業の取り組み、楽典の筆記試験を総合して評価をおこなう

	ピアノ実技(55%)、授業の取り組み(5%)　楽典筆記試験(40%)
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)
教科書・参考書	ピアノ・楽典 　指づかいつきバイエルピアノ教本　・担当教官の指示があった学生のみ購入するテキスト 　ブルグミュラー25番練習曲、ソナチネアルバム、ソナタアルバム　「保育者のためのピアノの基礎」「子どものための音楽表現技術」「幼児のための音楽教育」 　参考書:必要に応じて資料を配布　幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	毎回課題を練習しレッスンを受講すること
オフィスアワー	各授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	ピアノの練習は毎日30分以上取り組みが必要です。継続は力なり、努力すれば必ず上手になります。頑張りましょう。

講義科目名称：子どもと音楽Ｉb(ピアノ・楽典)　　授業コード：31136　32134　33135

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	選択
担当教員			
友廣　憲子			

講義概要	①　バイエル、ブルグミュラー25番練習曲等の演奏体験を通して、幼児教育において育みたい資質・能力を理解する。 ②　童謡の弾き歌いを体験を通し、幼児の主体的・対話的な関わり方を学ぶ。 ③　幼稚園教育要領の表現のねらいや内容を踏まえ、様々な曲の表現力を身に付ける。 ④　音楽理論を学習し、幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解する。
授業計画	1回目　オリエンテーション　　子どもと音楽Ｉbについて 学習課題　復習:ねらいについて振り返る 予習：ピアノ:課題曲を練習する 2回目　レベル別個人レッスン　楽典:各種のコードについて 学習課題　復習:各種のコードについて振り返る 予習：課題曲を練習する 3回目　レベル別個人レッスン　楽典:各種のコードについて② 学習課題　復習:各種のコードについて振り返る 予習：課題曲を練習する 4回目　レベル別個人レッスン　楽典:各種のコードについて③ 学習課題　復習:各種のコードについて振り返る 予習：課題曲を練習する 5回目　レベル別個人レッスン　楽典:リズム表現のおもしろさについて 学習課題　復習:リズム表現について振り返る 予習：課題曲を練習する 6回目　レベル別個人レッスン　楽典:様々な伴奏形について 学習課題　復習:様々な伴奏形について振り返る 予習：課題曲を練習する 7回目　レベル別個人レッスン　楽典:リズム読みの基礎について 学習課題　復習:リズム読みの基礎について振り返る 予習：課題曲を練習する 8回目　レベル別個人レッスン　楽典:リズムアンサンブルについて 学習課題　復習:リズムアンサンブルについて振り返る 予習：課題曲を練習する 9回目　レベル別個人レッスン　楽典:リズムの読み方 学習課題　復習:リズムの読み方について振り返る 予習：課題曲を練習する 10回目　レベル別個人レッスン　楽典:ペダルの機能について 学習課題　復習:ペダルの機能について振り返る 予習：課題曲を練習する 11回目　レベル別個人レッスン　楽典:ペダルの機能について② 学習課題　復習:ペダルの機能について振り返る 予習：課題曲を練習する 12回目　レベル別個人レッスン　楽典:読譜とリズムの基礎練習 学習課題　復習:読譜とリズムの基礎練習を振り返る 予習：課題曲を練習する 13回目　レベル別個人レッスン　楽典:読譜とリズムの基礎練習② 学習課題　復習:読譜とリズムの基礎練習を振り返る 予習：課題曲を練習する 14回目　レベル別個人レッスン　楽典:まとめのプリント 学習課題　復習:今までの学習を振り返る 予習：課題曲を練習する 15回目　レベル別個人レッスン　楽典:まとめと評価 学習課題　復習:今までの学習を振り返る 予習：課題曲を練習する
授業形態	演習(複数)
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①幼児教育において育みたい資質・能力を踏まえ、バイエル65番までを演奏することができるようになる ②幼児教育において育みたい資質・能力を踏まえ生活の歌、童謡曲10曲演奏することができるようになる ③生活の歌、童謡曲10曲の弾き歌いを通して、幼児との主体的・対話的な関わり方を学ぶ ④楽典の基礎が理解できるようになる ⑤幼稚園教育に示されたねらいや内容を踏まえ、7～9月の童謡曲を歌うことができるようになる

	ピアノ実技、授業の取り組み、楽典筆記試験を総合して評価をおこなう ピアノ実技55％　授業の取り組み5％　　楽典筆記試験　40％
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)
教科書・参考書	テキスト 　:ピアノ・楽典　バイエル、ブルグミュラー25番練習曲、「保育者のためのピアノの基礎」「子どもとのための音楽表現技術」「幼児のための音楽教育」 参考書:必要に応じて資料を配布　幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	子どもと音楽Ⅰa(ピアノ・楽典)の単位取得者
履修上の注意	与えられた課題を練習しレッスンを受講すること
オフィスアワー	各授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	ピアノ練習に一生懸命取り組みましょう！

講義科目名称：子どもと音楽Ⅱ（歌唱）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
石多　加代子			

講義概要	①童謡を階名唱できる（５曲） ②リズム読みを強化する ③発声のしくみについて勉強し、実践につなげる ④よりよい音楽をより多く習得（幼児の歌・生活の歌・歌曲）する事により表現力をつける ⑤団体から少人数、１人という段階を経、学友の前で歌う
授業計画	１　オリエンテーション アンケート調査・発声について・読譜練習・パート分け ２　基礎練習・季節の歌　他 季節の歌（７・８月）合唱曲　他　階名唱小テスト① ３　基礎練習・季節の歌　他 階名唱小テスト②　季節の歌（９・１０月）　合唱曲　他 ４　基礎練習・季節の歌　他 季節の歌（１１・１２月）　合唱曲　他　階名唱小テスト③ ５　基礎練習・季節の歌　他 階名唱小テスト④ 季節の歌（１・２月）　合唱曲　他 ６　基礎練習・季節の歌　他 読譜練習　季節の歌（３・４月）　合唱曲　他　階名唱小テスト⑤ ７　基礎練習・季節の歌　他 季節の歌（５・６月） ８　基礎練習・季節の歌　他 10分間のオペレッタ作成（グループ分け、話し合い） ９　基礎練習・季節の歌　他 オペレッタ練習 リズム打練習 １０　基礎練習・季節の歌　他 オペレッタ練習 リズム打練習 １１　基礎練習・季節の歌　他 オペレッタ練習 リズム打練習 １２　基礎練習・季節の歌　他 オペレッタ発表 １３　基礎練習・季節の歌　他 リズム打練習 １４　発表会と鑑賞会 個人の発表 １５　発表会と鑑賞会 個人の発表 リズム打テスト
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①読譜力をつける ②無理のない発声で歌えるようになる ③童謡を数多く歌えるようになる ④色んな歌曲を歌い感性をみがく ⑤人前でも堂々と歌えるようになる 授業への取り組み姿勢と小テスト、発表会での歌唱力（表現力）により評価する 授業への取り組み姿勢と小テスト３０％：発表会での歌唱力（表現力）７０％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	参考書：『幼児のための音楽教育』　教育芸術社（ピアノで使ってる楽譜と同じなので購入の必要なし） 必要に応じプリント配布
履修条件	

履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】授業で間に合わないところは、自分で自主学習してカバーする事

講義科目名称：子どもと造形a　　授業コード：41131　42132　43133

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択
担当教員			
陣内敦　陣内智子			

講義概要	①自分を表現したい心を理解する　相手に伝えたい心を理解する　感じる心を理解する ②自然の中にある形を発見する感覚を理解する　偶然による形から発想する感覚を理解する　素材を構成する技術を修練する ③幼児の描画概念の発達段階を理解する　幼児の描画道具の扱い方について理解する　幼児への言葉かけ等の支援方法について考察する ④壁画装飾がもたらす幼児への効用を理解する　季節を表す素材について理解する　室内環境が与える保育活動の効用を考察する ⑤個人の個性の享受と意見の構築の方法を理解する　自分の役割を見つけ達成することの大切さを理解する
授業計画	１　オリエンテーション 子どもと造形についての講話　「子どもたちへの自画像」制作 学習課題　予習：造形の意味について、自分なりの考えを持つ 復習：造形の意義について確認する ２　モダンテクニック（１） フロッタージュによる絵画制作 学習課題　予習：フロッタージュについて予備知識を得る 復習：フロッタージュ技法の可能性について考える ３　モダンテクニック（２） デカルコマーニによる絵画制作 学習課題　予習：デカルコマーニについて予備知識を得る 復習：デカルコマーニ技法の可能性について考える ４　モダンテクニック（３） スタンピングによる絵画制作 学習課題　予習：スタンピングについて予備知識を得る 復習：スタンピング技法の可能性について考える ５　モダンテクニック（４） コラージュによる絵画制作 学習課題　予習：コラージュについて予備知識を得る 復習：コラージュ技法の可能性について考える ６　工作（１） 染め紙制作 学習課題　予習：染め紙について予備知識を得る 復習：染め紙技法の可能性について考える ７　工作（２） 短冊づくり　うちわづくり 学習課題　予習：染め紙の活用法について想像する 復習：染め紙の他の活用について考える ８　壁面構成（共同制作）（１） グループで題材を考える 学習課題　予習：個人の題材案を作る 復習：話し合い方について事後反省をおこなう ９　壁面構成（共同制作）（２） アイディアスケッチをまとめる 学習課題　予習：個人のアイディア案を作る 復習：グループのアイディアのまとめ方について事後反省をおこなう １０　壁面構成（共同制作）（３） パネルに下絵を描く 学習課題　予習：下絵の写し方について計画する 復習：下絵の描き方について事後反省をおこなう １１　壁面構成（共同制作）（４） 色彩構成を考える 学習課題　予習：色彩のイメージを持つ 復習：色彩構成のまとめ方について事後反省をおこなう １２　壁面構成（共同制作）（５） パーツを切り貼りする

	学習課題　予習：素材の持ち味を想像する 復習：作業工程の事後反省をおこなう １３　壁面構成（共同制作）（６） パーツを切り貼りする 学習課題　予習：色彩の調和を想像する 復習：作業工程の事後反省をおこなう １４　壁面構成（共同制作）（７） パーツを切り貼りする 学習課題　予習：作品の仕上がりを想像する 復習：作業工程の事後反省をおこなう １５　季節の壁面構成（共同制作）（８） 修正を加え完成　観賞する 学習課題　予習：作り上げる喜びを想像する 復習：作り上げた喜びを味わう
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①絵画の原理について理解する ②絵画技術と幼児の絵画活動について理解する ③幼児の絵画活動に対する保育者の支援方法を理解する ④保育施設で保育者がおこなう造形に関連する役割を理解する ⑤保育者が備えるべき造形教育の資質を高める（共同制作について） 授業回中または以後の評価期間に作品提出を義務付け、この作品の成果と学修の取り組みを加味し評価をおこなう。 自画像（１０％）、モダンテクニック（２０％）、工作（２０％）、壁面構成（５０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。

講義科目名称：子どもと造形b　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	選択
担当教員			
陣内　敦・陣内　智子			

講義概要	①熟達する喜びを理解する　工夫することの喜びを理解する　造り上げる喜びを理解する ②素材の材質感や特徴を理解する　素材の加工方法を理解する　発想を構築していく方法を修練する ③幼児の工作概念の発達段階を理解する　幼児の工作道具の扱い方について理解する　幼児への言葉かけ等の支援方法について考察する ④手作りの造形がもたらす幼児への効用を理解する　手作りの造形の種類と構造について理解する ⑤絵本や人形劇の児童文化財の価値を理解する　人形劇における話の展開方法を理解する　人形劇によって幼児に伝達される内容について考察する
授業計画	１　オリエンテーション 子どもと造形についての講話　「折り紙」制作 学習課題　予習：造形の意味について、自分なりの考えを持つ 復習：造形の意義について確認する　折り紙の楽しさを感じる ２　粘土の工作（１） 技法の詳解を見る（ビデオ鑑賞） 学習課題　予習：粘土の工作について予備知識を得る 復習：粘土の技法について確認する ３　粘土の工作（２） 粘土作品を素手やへらを用いながら成形する 学習課題　予習：制作する作品のイメージを作る 復習：素材について感じたものを味わう ４　粘土の工作（３） 粘土作品の装飾をひっかきや釉薬によってほどこす 学習課題　予習：装飾についてイメージを作る 復習：粘土の工作の可能性について考える ５　紙の工作（１） 技法の詳解を聞く　自作品の構想を作る 学習課題　予習：制作するもののイメージを作る 復習：アイディアスケッチから制作工程について計画する ６　紙の工作（２） 新聞紙と和紙で成形 学習課題　予習：紙の成形方法について計画する 復習：成形手順について再構想と修正をおこなう ７　紙の工作（３） 新聞紙と和紙で成形 学習課題　予習：自作品の成形手順について計画する 復習：成形手順について修正をおこなう ８　紙の工作（４） 新聞紙と和紙で成形 学習課題　予習：成形手順を再構成する 復習：自作品の立体的な構造等について鑑賞する ９　紙の工作（５） 部分的に色和紙を貼り装飾する 学習課題　予習：色彩案を作る 復習：色和紙の調和を鑑賞し、紙の工作の肌合いを楽しむ １０　人形劇制作（共同制作）（１） 童話を選び劇の展開を考える 学習課題　予習：人形劇の体験を思い出す 復習：話の展開について修正する １１　人形劇制作（共同制作）（２） 下絵を描く 学習課題　予習：展開をまとめる 復習：話の内容と感情表現などを登場人物の表情や情景に活かす方法を考える １２　人形劇制作（共同制作）（３） 人形に描画し着彩をほどこす 学習課題　予習：色彩の計画をおこなう

	復習：着彩の修正をおこなう １３　人形劇制作（共同制作）（４） 画面側に描画し着彩をほどこす　背景の下絵を描く 学習課題　予習：色彩の調和を想像する 復習：色彩による画面の空間表現について再検討をおこなう １４　人形劇制作（共同制作）（５） 背景の着彩をほどこす 学習課題　予習：話の展開やせりふを推敲する 復習：人形の動きとせりふが整合していることを確認する １５　人形劇制作（共同制作）（６） 教室内でグループごとに劇の実演をおこなう 学習課題　予習：人形劇実演の練習をおこなう 復習：人形劇の楽しさを味わう
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①工作の原理について理解する ②工作技術と幼児の工作活動について理解する ③幼児の工作活動に対する保育者の支援方法を理解する ④保育施設で保育者がおこなう造形に関連する役割を理解する ⑤保育者が備えるべき造形教育の資質を高める（児童文化財について） 授業回中または以後の評価期間に作品提出を義務付け、この作品の成果と学修の取り組みを加味し評価をおこなう。 粘土の工作（３０％）、紙の工作（３０％）、人形劇の制作と発表（４０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。

講義科目名称：子どものリズム　　授業コード：41133　42131　43132

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択
担当教員			
野田　章子			

講義概要	①イメージあそびの実践　身近なものを使った遊びの実践　ことばを使った遊びを実践 ②ボールを使ったあそびの実践　フープを使ったあそびの実践　なわを使った遊びの実践 ③表現あそびの計画をする　表現あそび環境構成を考える　表現あそびの援助方法を知る ④リズムあそびの計画をする　リズムあそびの環境構成を考える　リズムあそびの援助方法を知る ⑤作品づくりを実践する　発表を体験する　鑑賞を通して自分の活動の評価を行う
授業計画	1　子どもリズムとは 授業のねらいと内容について ２　リズム表現あそびとは① 「内的リズム」を感じてみよう ３　リズム表現あそびとは② 「４つのくずし」を使ってみよう ４　自由に動こう① 「ボール」とリズム表現あそび ５　自由に動こう② 「フープ」・「なわ」とリズム表現あそび ６　自由に動こう③ 「紙」・「布」とリズム表現あそび ７　自由に動こう④ 「イメージ」をふくらまるあそび ８　リズム表現あそびの指導と援助① 「風船になろう」「スローモーション」「どんな音かな」など ９　リズム表現あそびの指導と援助② 「ひらがなにな～れ」「いくつくっつく」「みんなでチチンプイ」など １０　リズム表現あそびの指導と援助③ 「トンネルシュポッポ」「みんなの演奏会」「橋作り大作戦」など １１　リズム表現あそびの成果と評価① リズム表現あそびから発表会へ １２　リズム表現あそびの成果と評価② イメージづくり １３　リズム表現あそびの成果と評価③ 動きづくり １４　リズム表現あそびの成果と評価④ 発表会 １５　まとめ 「自己表現」と「自己実現」について
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①表現あそびとは何かを理解する ②リズムあそびとは何かを理解する ③表現あそびの指導法と援助法を理解する ④リズムあそびの指導法と援助法を理解する ⑤「自己表現」と「自己実現」を理解し、評価の方法を考える 課題への取り組み、学習ノート、発表を総合して評価をおこなう 課題への取り組み（50%）、学習ノート（40%）、発表（10%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：必要に応じて資料を配布 参考書：『あ・た・ら・し・い表現遊び』　小谷隆真　著　　鈴木出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。

備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】学習ノートなどをつくり授業内容をまとめておくこと

講義科目名称：子どもと運動　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	1	選択
担当教員			
中尾　健一郎			

講義概要	①子どもの運動能力・体力について理解する 運動発達の段階について理解する 発達段階における運動発達の特徴について理解する ②園や家庭の環境と運動発達の関係について理解する 物理的環境と運動能力の関係について理解する 心理社会的環境と運動能力について理解する ③多様な運動経験と運動コントロール能力を高める方法について理解する 運動意欲を高める方法について理解する 自己概念形成及び知的能力の発達と運動遊びの関係について理解する ④子どもの自主性と保育者の意図性について理解する 子どもの運動経験の意味とその捉え方を理解する 具体的な保育者の援助について理解する ⑤自発性を促す運動遊びの機会づくりについて理解する 魅力的な園環境の構成について理解する 運動経験を保障する活動内容について理解する
授業計画	１　子どもの運動能力・体力・運動発達の特徴について 運動能力、体力の捉え方、運動発達の特徴を学ぶ 学習課題　復習：配布資料を参考に子どもの運動能力・体力の現状についてまとめる 予習：子どもを取り巻く環境と運動発達の関係について調べる ２　園や家庭環境と運動発達の関係について 物理的環境、心理社会的環境と運動能力の関係について学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考に子どもを取り巻く環境と運動発達の関係についてポイントをまとめる 予習：発達段階における運動発達の関係について調べる ３　運動遊びにおける子どもの自主性と保育者の意図性について 運動経験の意味とその捉え方、具体的な保育者の援助について学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考に運動遊びにおける具体的な保育者の援助のポイントをまとめる 予習：多様な運動経験を促す運動遊びについて調べる ４　多様な運動経験につながる運動遊びの実践方法について 運動意欲向上、自己概念形成、知的能力の発達と運動遊びの関係について学ぶ 学習課題　復習：配布資料を参考に多様な運動経験の重要性についてまとめる 予習：自発的な活動を引き出す言葉かけについて調べる ５　運動遊びの機会づくりについて 魅力的な環境構成と自発性を促す機会づくりついて学ぶ 学習課題　復習：配付資料を参考に魅力的な園環境とはどのようなものかまとめる 予習：自然環境でどのような遊びを体験してきたか振り返る ６　自然環境を利用した運動遊びについて ネイチャーゲームの体験とそのポイントについて学ぶ 学習課題　復習：ネイチャーゲームのポイントについてまとめる 予習：体験したことのある鬼ごっこ遊びを振り返る ７　移動系の運動遊びについて① 様々な鬼ごっこ遊びの環境構成と指導のポイントについて学ぶ 学習課題　復習：鬼ごっこのポイントについてまとめる 予習：体験したことのある遊具を使った遊びについて振り返る ８　移動系の運動遊びについて② 遊具を使った遊びの環境構成と指導のポイントについて学ぶ 学習課題　復習：遊具を使った遊びのポイントをまとめる 予習：体験したことのあるフープや縄遊びについて振り返る ９　操作系の運動遊びについて① フープや縄を使った遊びの環境構成と指導のポイントについて学ぶ 学習課題　復習：フープや縄を使った遊びの環境構成と指導のポイントについてまとめる 予習：体験したことのあるボールを使った遊びについて振り返る １０　操作系の運動遊びについて② ボールを使った遊びの環境構成と指導のポイントについて学ぶ 学習課題　復習：ボールを使った遊びの環境構成と指導のポイントについてまとめる

	予習：これまで体験したマット、跳び箱等を使った遊びを振り返る １１　平衡系の運動遊びについて① マット、跳び箱などを使った遊びの環境構成と指導のポイントについて学ぶ 学習課題　復習：マット、跳び箱などを使った遊びの環境構成と指導のポイントについてまとめる 予習：これまで体験した鉄棒や平均台などを使った遊びを振り返る １２　平衡系の運動遊びについて② 鉄棒や平均台を使った遊びの環境構成と指導のポイントについて学ぶ 学習課題　復習：鉄棒や平均台を使った遊びの環境構成と指導のポイントについてまとめる 予習：幼児期運動能力検査について調べる １３　幼児期運動能力検査について 運動能力の測定の方法と評価について学ぶ 学習課題　復習：運動能力測定のポイントについてまとめる 予習：サーキット遊びについて調べておく １４　運動遊びの計画と実践① グループに分かれてサーキット遊びを計画し、実施する 学習課題　復習：サーキット遊びを企画する際の留意点についてまとめる 予習：運動会を実施するときの課題について振り返る １５　運動遊びの計画と実践② グループに分かれて運動会種目を考え、まとめて運動会を開催する 学習課題　復習：運動会を評価する 予習： １５
授業形態	演習（単独）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点　評価手段・方法　評価比率 関心・意欲・態度　保育者を目指す者として、自ら運動に親しむことができる　授業態度　40% 思考・判断　子どもの運動経験に関係する保育現場の問題点を指摘することができる　課題レポート　15% 技能・表現　様々な運動遊びの場面で適切な支援方法を選択できる　課題レポート　15% 知識・理解　子どもの発達に応じた運動遊びを企画することができる。　課題発表　15%　課題レポート　15% 到達目標 ①保育者を目指す者として、自ら運動に親しむことができる ②子どもの運動発達の特徴について説明できる。 ③多様な運動経験と運動コントロール能力を高める方法について説明できる。 ④様々な運動遊びの場面で適切な支援方法を考えることができる。 ⑤子どもの発達に応じた運動遊びを企画することができる。
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	参考書：幼児期における運動発達と運動遊びの指導　杉原　隆／河邊貴子編著　ミネルヴァ書房 ：０～5歳児の発達にあった楽しい運動遊び　柳澤秋孝著　ナツメ社 ：幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	実技の際は保育専攻指定ジャージとシューズを着用の上、装飾品ははずし運動ができるよう準備すること
オフィスアワー	毎回の授業前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	

講義科目名称：子どもと言語　　授業コード：31132　32131

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択
担当教員			
新井悦子			

講義概要	幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、かつ幼稚園教育要領に示された領域のねらい・内容を理解し、幼児の発達に則した保育を構想する方法を身に付ける。具体的には、子どもの言葉を育む児童文化財として、絵本・紙芝居を中心に学ぶ。どのような絵本や紙芝居があるのか、集団への読み語りの方法、発達段階や目的にあった選び方など班活動を中心にグループで討議しながら身につける。各自が集団への読み語りに適切な絵本を1冊ずつ選び読み語りを実演し、最終的には班単位でおはなし会を企画、実演する。
授業計画	１　オリエンテーション ・授業のねらい　・進め方　・評価、アンケートについての説明 学習課題　復習：授業のねらいや進め方などについて振り返る 予習　言葉を育む児童文化の概要・絵本について考える ２　児童文化の概要 ・言葉を育む児童文化の概要・絵本について特徴と留意点 学習課題　復習　言葉を育む児童文化の概要・絵本に関する学習内容の確認 予習　集団への読み語りについて考える ３　絵本研究 ・集団への読み語りについて 学習課題　復習　集団への読み語りについて振り返る 予習　絵本の種類について調べる ４　絵本研究 ・絵本の種類 学習課題　復習　絵本の種類に関する学習内容の確認 予習　子どもの発達と絵本について考える ５　絵本研究 ・子どもの発達と絵本 学習課題　復習　子どもの発達と絵本に関する学習内容を振り返る 予習　読み語りにふさわしい絵本の準備 ６　絵本の読み語り ・読み語りの練習（小グループでの読み語りの練習） 復習　読み語りの練習 予習　読み語りの発表準備 ７　絵本の読み語り 読み語りの練習と発表（１）・紙芝居の活用 学習課題　復習　紙芝居の活用について振り返る 予習　読み語りの発表準備 ８　絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（２）・課題別研究 学習課題　復習　課題別絵本について振り返る 予習　読み語りの発表準備 ９　絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（３）・課題別研究 学習課題　復習　課題別絵本について振り返る 予習　読み語りの発表準備 １０　絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（４）・素話の活用 学習課題　復習　素話の活用について振り返る 予習　読み語りの発表準備 １１　絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（５）・保育絵本の活用 学習課題　復習　保育絵本の活用について振り返る 予習　読み語りの発表準備 １２　絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（６）・手遊びの活用 学習課題　復習　読み語り発表と手遊びの活用について振り返る 予習　おはなし会について調べる １３　おはなし会の研究（１） ・おはなし会の準備・指導案作り 学習課題　復習　おはなし会の指導案について振り返る 予習　おはなし会の準備 １４　おはなし会の研究（２） ・おはなし会の実施 学習課題　復習　おはなし会を振り返る 予習　おはなし会の準備 １５　おはなし会の研究（３） ・おはなし会の実施 学習課題　復習　おはなし会を振り返る

講義科目名称：保育実習Ⅲ（施設）　　授業コード：90137

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	保育士：必修
担当教員			
花城　暢一・澤田　須賀子・藤野　正和			

講義概要	１．「保育実習Ｉ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知恵や指導技術を身につけることができる。 ２．児童福祉施設（保育所以外）、その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得することができる。 ３．家庭と地域の生活に触れて、子ども、家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身につけることができる。 ４．児童に直接的に関わることを通して、児童や児童を取り巻く環境について理解を深めることができる。 ５．保育士としての自己の課題を明確化することができる。
授業計画	
授業形態	実践実習 実習計画と学習内容 ＜保育所以外の施設実習（１日８時間以上×１０日間）＞ （１）実習施設事前オリエンテーション（上記実習期間前に実施する） 実習施設の理解①：目的、沿革、運営方針、環境（地理的、物的、人的）、１日の生活の流れ、児童の姿、子ども・利用者の姿 実習施設の理解②：実習中の行事、実習計画（担当予定など）、実習中の心得（持ち物、服装等）、準備するものなど （２）実習施設での実習内容 １．養護全般に参加し、養護技術を習得する。 ２．個人差や生活環境に伴う子ども・利用者のニーズの把握とその理解。 ３．子ども・利用者の観察や関わりを通して、児童の発達・利用者の援助を理解する。 ４．子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。 ５．子どもの家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する。 ６．保育士としての倫理を具体的に学ぶ。 ７．児童福祉施設等の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確化する。 ８．多様な専門職との連携や、地域社会との連携について学ぶ。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本学保育学科（保育士養成課程）で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、子どもに対する理解を通じて保育の理念と実践の関係について習熟させることを目的とする。 実習中の服務内容（20%）　実習日誌（30%）　実習施設からの評価（40%）　巡回訪問指導（10%）を総合して評価をおこなう。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	オリエンテーションを事前におこない、実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得て、オリエンテーション報告書を学校に提出し、持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、実習遵守事項を確認の上捺印し本実習にのぞむ。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	

授業形態	演習（単独）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、絵本と紙芝居の児童文化財としての特徴と教育的意義を理解する。 ②幼稚園教育要領に示された領域にねらい・内容を理解して、言葉の発達と絵本・紙芝居の関係について理解する。 ③子どもの発達や目的に合った絵本・紙芝居を選ぶことができる。 ④子どもの発達や目的を考慮し、適切に読み語りすることができる。 ⑤おはなし会を企画・運営することができる。 班活動でのディスカッションやお話会などの取り組み、読み語り発表内容・態度、および、授業内小レポート及びレポートで評価する。 班活動での取り組み（３０％）、読み語り発表（２０％）、授業内レポート及びレポート（５０％）
科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法
教科書・参考書	テキスト：購入「保育内容・言葉」　太田光洋編著　岸井勇雄・武藤隆・柴崎正行監修　同文書院 参考書：幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	・２回目の講義後、読み語り発表用の絵本を準備すること。読み語りの練習、おはなし会の練習が重要になる。

講義科目名称：子どもと暮らし　　授業コード：22132　24131

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１学年	１単位	選択
担当教員			
藤野正和　花城暢一			

講義概要	①子どもの健康な心と体についての基本的な知識を身につける。 ②子どもの人とからかわる力についての基本な知識を身につける。 ③子どもの環境とのかかわりについての基本的な知識を身につける。 ④子どものことばの表現についての基本的な知識を身につける。 ⑤子どもの感性や表現する力、創造性についての基本的な知識を身につける。
授業計画	第1回　オリエンテーション 学習課題　復習：シラバスを見直して、今後の授業に必要な物を揃えておく。 予習：シラバスを見て、講義の流れについて把握しておく。 第2回　子どもと大人の違い 学習課題　復習：「こどもの世界」についてのレポートを書く。 予習：子どもと大人のかかわりについての教科書の範囲を読んでおく(P17-34)。 第3回　子どものこころの発達 学習課題　復習：授業で配られたレジュメや課題に取り組む。 予習：こどもを取り巻くコミュニティの変容についての教科書の範囲を読んでおく(P35-51)。 必要なもの：教科書 第4回　こどもの表現・感性 学習課題　復習：授業で配られたレジュメや課題に取り組む。 予習：こどものことばの発達についてインターネット等で事前に調べておく。 必要なもの：教科書 第5回　こどもが主体的に生きる保育の営み 学習課題　復習：授業で配られたレジュメや課題に取り組む 予習：こどもが主体的に生きる保育の営みについての教科書の範囲を読んでおく(P75-92)。 必要なもの：教科書 第6回　こどもと自然とのかかわり 学習課題　復習：「植物」の課題シートを作成する。 予習：こどもの「生きる力」をはぐくむ自然体験活動についての教科書の範囲を読んでおく（P93-111)。 必要なもの：教科書、クレヨン、色鉛筆 第7回　こどもと自然とのかかわり 学習課題　復習：他の学生が製作した課題物を含めて、今回の課題について振り返る。 予習：こどもの「生きる力」をはぐくむ自然体験活動についての教科書の範囲を読んでおく（P93-111)。 必要なもの：教科書 第8回　こどもにとっての遊びの意義 学習課題　復習：各グループで手遊びの基本的な内容について振り返る。 予習：こどもの発達段階に応じた遊びについて事前に調べておく。 必要なもの：事前に調べた資料 第9回　こどもの手遊びの実践 学習課題　復習：手遊びの資料や実践を振り返り、レポートを書く。 予習：各グループごとに手遊びの資料や実践の準備を行う。 必要なもの：手遊びに関する資料 第10回　こどもの遊びの実践 学習課題　復習：「新聞乗りゲーム」「ガーベッチスロー」「新聞紙きざみ」についてのレポートを書く。 予習：事前に授業の資料に目を通して、遊びの内容や目的を理解する。 必要なもの：授業の資料、新聞紙 第11回　こどもの健康なからだについて 学習課題　復習：授業で配られたレジュメや課題に取り組む。 予習：健康教育を中心とした教科体育についての教科書の範囲を読んでおく(P113-131)。 必要なもの：教科書 第12回　こどものこころのケアについて 学習課題　復習：スクイグルについてのレポートを書く。 予習：治療的関わりとしてのプレイセラピーについての教科書の範囲を読んでおく(P133-150)。 必要なもの：教科書、クレヨン 第13回　こどものこころのケアについて 学習課題　復習：ドールセラピーについてのレポートを書く。 予習：治療的関わりとしてのプレイセラピーについての教科書の範囲を読んでおく(P133-150)。 必要なもの：教科書、人形、前回のレジュメ 第14回　障害のあるこどもの育ちと支援

	学習課題　復習：授業で配られたレジュメや課題に取り組む。 予習：障害のあるこどもの育ちと支援について事前にインターネット等で調べておく。 必要なもの：教科書、事前に調べた資料 第15回　学習まとめ 学習課題　復習：授業全体を振り返り、疑問点等は空き時間等で質問を行う。 予習：教科書・レジュメを全体的に読んでおく。 必要なもの：教科書、これまでのレジュメ
授業形態	講義・演習「複数」
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点　評価手段・方法　評価比率 関心・意欲・態度　子どもと暮らしについてグループワークに積極的に参加できる　授業態度　10% 思考・判断　子どもの環境との関わりについて、子どもの視点に立って考えることができる　課題　10% 技能・表現　子どもにとっての遊びの意義について互いに意見を表現し、受け入れることができる　グループ発表　10% 知識・理解　子どもと暮らしに関連する内容に関する基本的な知識について説明することができる　定期試験　70%
科目（教職課程用）	各教科の指導（情報機器及び機材の活用を含む。）
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法　人間関係 保育内容の指導法　環境
教科書・参考書	テキスト：『こども支援の現在を学ぶ―こどもの暮らし・育ち・健康を見つめて―』仲本美央編（株）みらい テキストを補足するために、授業ではレジュメ等を使用する
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後や教員の空き時間等で質問を受付ける。
備考・メッセージ	授業態度があまりにも逸脱している場合には、退出してもらうことがあるので、ご了承下さい。

講義科目名称：保育実習Ⅰ（施設）　　授業コード：90133

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
１年後期（施設）	1年	２単位	保育士：必修
担当教員			
花城暢一　澤田須賀子　吉田美恵子　戸田恵理子　藤野正和			

講義概要	１．社会福祉施設の内容、機能などを実践現場で体験を通して理解する。 ２．既習の教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を身につける。 ３．子どもに直接に関わることを通して、子どもや子どもを取り巻く環境について理解を深めることができる。 ４．保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。 ５．保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解する。
授業計画	
授業形態	実践実習 実習計画と学習内容 ＜福祉施設等での実習＞（１日８時間以上×１０日間） （内容） １．実習施設の役割と機能について学ぶ。 ２．観察や記録を通し子どもを理解し、個々の状態に応じた援助やかかわりを学ぶ。 ３．養護内容や生活環境について学ぶ。 ４．生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を習得する。 ５．職員間の役割とチームワークについて理解する。 ６．記録や保護者とのコミュニケーションなどを通して家庭・地域社会を理解する。 ７．安全及び疾病予防への配慮について理解する。 ８．専門職として保育士の役割と職業倫理について学ぶ。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本学保育学科（保育士養成課程）で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、子どもに対する理解を通じて保育の理念と実践の関係について習熟させることを目的とする。 保育所実習（50%）・施設実習（50%）を総合評価しておこなう。 実習中の服務内容（20%）　実習日誌（30%）　実習施設からの評価（40%）　巡回訪問指導（10%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	オリエンテーションを事前におこない、実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得て、オリエンテーション報告書を学校に提出し、持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、実習遵守事項を確認の上捺印し本実習にのぞむ。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：保育実習Ⅰ（保育所）　　授業コード：90135

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	保育士：必修
担当教員			
戸田　恵理子　・　澤田　須賀子　・吉田　美恵子			

講義概要	保育所・認定こども園の生活を知り、乳幼児への理解を深め、保育所の機能・保育士の職務について学ぶ 既習の教科全体の知識・技能を基礎として、これらを総合的に実践する応用力を身につける 子どもに直接関わることを通して、子どもや子どもを取り巻く環境について理解を深める 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する 保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解する
授業計画	
授業形態	実践実習 （内容） １　施設及び保育所・認定こども園の役割と機能について学ぶ ２　観察や記録を通し子どもを理解し、適切な援助や関わりを学ぶ ３　発達過程に応じた保育内容・保育環境について理解する ４　生活や余暇活動及び遊びの一部分を担当し、保育技術の習得をする ５　保育計画立案、実践、反省、改善ができる ６　施設及び保育所、認定こども園と家庭・地域社会との連携を理解する ７　安全及び疾病予防への配慮について理解する ８　専門職としての保育士の役割と職業倫理について学ぶ
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①既習の教科全体の知識・技能を基礎として、これらを総合的に実践する応用力を身につける ②子どもに対する理解を通じて保育の理念と実践の関係について習熟する ③保育士としての自覚や目標を持ち自己課題を明確にする ④子どもの発達や年齢による対応の仕方がわかり子どもの行動の予測ができる ⑤社会人として保育者としての役割や職業倫理について意識を高め実践する 保育所（50%）・施設（50%）を総合評価しておこなう。 実習中の服務内容（２０%）、実習日誌（３０%）、実習園からの評価（４０%）、巡回訪問指導（１０%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	辞書・保育所保育指針必携
履修条件	
履修上の注意	実習順守事項を随時確認
オフィスアワー	実習巡回・会議研修などの業務以外は随時対応する
備考・メッセージ	

講義科目名称：保育実習Ⅱ（保育所）　　授業コード：90136

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中講義	２年	２単位	選択
担当教員			
戸田　恵理子　・　吉田　美恵子			

講義概要	「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や内容理解をもとに、さらに保育所保育士養成に必要な知識や知恵や指導技術を身につける ①保育所・認定こども園の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める ②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める ③既習の強化や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、特に3歳未満児の保育及び保護者支援について統合的に学ぶ ④保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み理解を深める ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解し、保育士としての自己課題を明確化する
授業計画	
授業形態	実践実習（保育所）　　1日8時間以上×10日間 １．保育全般に参加し、保育技術を習得する ２．子どもの個人差について理解し、対応方法を理解する。特に発達の遅れや生活環境にともなう子どものニーズを 理解し、その対応について具体的に学ぶ ３．指導計画を立案し実践する ４．子どもの家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する ５．地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学ぶ ６．子どもの最善の利益への配慮を学ぶ ７．保育士としての職業倫理を理解する ８．保育所の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて自己の課題を明確化する
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本学保育学科（保育士養成課程）で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを統合的に実践する応用能力を養うため、子どもに対する理解を通じて保育の理念と実践の関係について習熟させることを目的とする。 実習の態度と保育の能力(60%)　　実習日誌内容（30%）　事前準備・報告書（10%）などを総合して評価を行う。 実習中の服務内容（20%）　実習日誌（30%）　実習園からの評価（40%）　巡回訪問指導（10%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	実習巡回中及び会議等以外は対応可能
備考・メッセージ	

講義科目名称：教育実習　　授業コード：90134

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	４単位	選択
担当教員			
吉田　美恵子　・　澤田　須賀子			

講義概要	①幼稚園・認定こども園教育の内容、機能等を実践現場で体験を通して理解する。 ②既習の学習全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を養う。 ③幼稚園・認定こども園の機能・役割・幼児や職員の様子などを実際に見たり、聞いたりして幅広く学ぶ。 ④幼児に直接的に関わることを通して、幼児や幼児を取り巻く環境について理解を深める。 ⑤幼稚園教諭・保育教諭の職務内容や役割を理解し、自らの保育観を形成する。
授業計画	学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習：

	学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習： 学習課題　復習： 予習：
授業形態	実践実習（幼稚園）　1日8時間以上×10日間 （1）実習幼稚園事前見学・オリエンテーション 園の理解①沿革、保育方針、環境、1日の保育の流れ、幼児の姿 園の理解②実習中の行事、実習計画、実習中の心得、準備するもの等 （2）幼稚園での実習内容（以下の項目について、より具体的な理解を深め、習得する。） ア．幼稚園の1日の流れ（活動、休息、生活リズム）を知る　イ．幼児に対する教諭の指導や配慮について ウ．年齢や発達段階による 遊びの内容、環境との関わりについて エ．幼稚園教諭の職務内容、勤務体制、地域や保護者との連携の大切さ　オ．家庭や地域社会との関係 さらに　1）カリキュラムおよび指導計画作成は子どもの実態に合わせて柔軟に作成すること…立案の方法と実践 2）個人差への対応　3）多様な保育ニーズへの理解と対応 （3）幼稚園教育実習のまとめ　～「実習事後指導」で実施する～ ・実習記録などを基に、実習内容の反省・分析・自己評価を行い、今後の課題を明確にする。 ・実習を振り返り、保育観の形成に関する土台づくりをする。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本学保育学科（幼稚園教諭養成課程）で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、幼児に対する理解を通じて幼児教育の理論と実践の関係について習熟させることを目的とする。 実習の態度と保育の能力（６０％）　実習日誌内容（３０％）　事前準備・報告書（１０％）などを総合して評価を行う。 実習中の服務内容（２０％）　実習日誌（３０％）　実習園からの評価（４０％）　巡回訪問指導（１０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	幼稚園教育実習・幼稚園教育要領
履修条件	
履修上の注意	実習遵守事項を随時確認
オフィスアワー	他授業・業務以外は随時対応する。
備考・メッセージ	

講義科目名称：実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）１年 授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
１年後期（施設）	１年	２単位	保育士：必修
担当教員			
花城暢一　吉田美恵子　戸田恵理子　澤田須賀子　藤野正和			

講義概要	①実習の事前指導　実習の意義・目的を理解する ②実習内容と課題の明確化　一日の流れを理解する　実習の課題を明確にする ③保育者の仕事内容について理解し、実践にむけて事前学習を行う ④プライバシーの保護と守秘義務について学習する　子どもの人権と最善の利益の尊重の具現化について理解する　実習生としての心構えを学ぶ ⑤実習の計画と記録について学ぶ　実習における記録と実践について学ぶ　実習における観察、記録、評価について学ぶ
授業計画	1　実習全体についてのオリエンテーション 実習の意義・目的について 学習課題 予習：テキストおよび配布資料を読む。 2　保育・教育・実習についての内容と理解 各実習についての意義・目的を理解する 学習課題　復習：幼稚園・保育所・施設実習の内容（意義・目的）について理解する。 予習：テキスト・配布資料を読む。 3　子どもの理解（幼稚園訪問） 子どもの生活に触れる（観察・記録） 学習課題　復習：幼稚園の一日の流れを把握し、子どもの生活についての観察・記録について理解する。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 4　子どもとの関わり（幼稚園訪問） 子どもを観察し、記録する（部分保育実習） 学習課題　復習：幼稚園での部分保育実習を通した子どもの観察・記録について理解する。 予習：テキストおよび配布資料を参考にして、保育部分実習に備える。 5　施設種別毎の理解と実習内容 養護系施設について理解する 学習課題　復習：実習施設（児童福祉施設における養護系施設）について理解する。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 6　施設種別毎の理解と実習内容 障害系施設について理解する 学習課題　復習：実習施設（児童福祉施設等における障害系施設）について理解する。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 7　施設実習への準備 手続き、心構え、事前学習 学習課題　復習：施設実習に向けた手続き・心構え・事前学習の内容について理解する。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 8　施設実習への展開 実習期間中の流れ、生活援助への参加 学習課題　復習：実習期間の日程、施設での生活支援などについて理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 9　実習の内容と方法 実習の１日の流れについて（障害系施設） 学習課題　復習：実習施設（障害系施設）の１日の流れについて理解する。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 １０　実習記録の意義と方法 日誌の構成と内容について 学習課題　復習：実習中の記録（日誌の構成と内容）について理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を参考にして、日誌の記入を練習する。 １１　実習の内容と方法 実習の１日の流れについて（養護系施設） 学習課題　復習：実習施設（養護系施設）の１日の流れについて理解する。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 １２　実習日誌の書き方 日誌の記録方法

	学習課題　復習：実習中の記録（日誌の記録方法）について理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を参考にして、日誌の記録方法を学ぶ。 １３　実習遵守事項の理解 個人のプライバシー、守秘義務、子どもの人権の尊重など 学習課題　復習：実習に関する個人情報の保護、守秘義務、人権尊重等について理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 １４　実習先事前訪問の理解 オリエンテーションの準備 学習課題　復習：実習に向けたオリエンテーションの内容についてしっかりと理解する。 予習：テキストおよび配布資料を参考にして、オリエンテーションの準備を進める。 １５　施設実習直前の全体的事前指導 実習内容、心得注意、必要書類の確認等 学習課題　復習：施設実習の留意点・遵守事項等についてしっかりと理解する。 予習：テキストおよび配布資料を参考にして、実習の心得をしっかりと自覚する。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①実習の意義・目的を理解する ②実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする ③保育者の役割と仕事内容を理解する ④実習施設における子どもの人権と最善の利益の考察、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する ⑤実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する 授業内レポート（40%）　事前準備（20%）　部分保育実習（40%）を総合評価しておこなう。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『施設実習　パーフェクトガイド』守　巧　他　著　わかば社 参 考 書：関連資料　実習日誌
履修条件	
履修上の注意	授業で毎時配布するプリントは、必要箇所の記入をすませ、まとめて綴じておくこと。 授業計画３回・４回は保育内容演習Ⅱ（保育教材研究a）・カリキュラム論と連動する。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	レポートや実習に必要な書類などの提出期限厳守

講義科目名称：実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）　　授業コード：32136　33133　34132

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	保育士:必修　　幼二免：必修
担当教員			
吉田美恵子　戸田恵理子　澤田須賀子			

講義概要	①保育者としての職業倫理を理解する　　実習園の概要を理解する　　実習園の保育の目標を理解する ②実習記録の意義と方法を習得する　　指導計画立案をする　　模擬保育等を行い多様な保育技術の習得をする ③実習の自己課題を明確にする　　子どもの発達を理解する　　実習に必要な書類や遵守事項を周知する ④実習後の自己点検・自己評価をする　　グループやロールプレイによって実習の振り返りをおこない、実習の成果 　や新たな学習課題を確認する ⑤保育者の仕事の現状を丹念に把握しながら保育者としての資質向上への意欲を持つ
授業計画	１回　オリエンテーション 保育実習・教育実習の意義と目的　　施設実習の振り返り　　守秘義務について 学習課題　復習：１年次の施設実習についての振り返り 予習：シラバスの内容を熟読 ２回　「幼稚園教育実習」事前指導 過去のデータからの考察（実習園がのぞむ実習生の姿を知る）　事前準備　　指導案作成について 学習課題　復習：１年次の指導案のチェックと反省・改善 予習：幼稚園の生活の流れを把握する ３回　オリエンテーションについて 実習生カード作成（実習の目標を設定）　　園への電話のかけ方や訪問について　　オリエンテーション報告書作成 学習課題　復習：指導案作成 予習：実習園の園長名・住所・電話番号・正確な名称について準備しておく ４回　幼稚園・認定こども園の生活　　日誌の記入について 認定こども園・幼稚園の生活の流れや保育形態の確認　　施設実習日誌と教育実習日誌の記入の相違点 学習課題　復習：施設実習日誌で注意を受けた内容を確認する 予習：様々な保育形態があるが実習園の保育形態を調べておく ５回　模擬保育の準備 グループ編成　　保育内容設定　　計画立案 学習課題　復習：子どもの発達年齢を考慮した子どもの活動 予習：模擬保育の流れと設定保育のイメージを持つ ６回　模擬保育（１） 計画　⇔　実践　⇔　評価・反省　⇔　改善 学習課題　復習：模擬保育の準備と役割分担 予習：自分の役割に責任をもって準備しておく ７回　模擬保育（２） 計画　⇔　実践　⇔　評価・反省　⇔　改善 学習課題　復習：模擬保育の役になりきって表現する 予習：指導案を完成させておく ８回　「事前指導」実習に必要な書類について　　お礼状の書き方 それぞれの書類が重要であることを踏まえ、記入の方法や取り扱いを学ぶ　　実習後のお礼状の書き方 学習課題　復習：施設実習のお礼状内容と投函確認 予習：実習園までの通勤の方法や所要時間の確認　印鑑準備 ９回　教育実習　必要書類渡し　　実習遵守事項の確認 教育実習書類確認　　実習遵守事項を読み捺印する 学習課題　復習：指導計画案立案の見直し 予習：実習園の保育目標と事前準備するものの再確認 １０回　幼稚園教育実習　巡回指導 教育実習期間に保育学科教員による巡回指導を受ける 学習課題　復習： 予習： １１回　「幼稚園教育実習」　事後指導 実習直後の振り返り　　実習報告会（バズセッション） 学習課題　復習：実習日誌の修正 予習：実習中の保育内容を整理しておく

	１２回　「保育実習Ⅰ」　事前指導 教育実習からの課題　オリエンテーション準備　実習カード作成 学習課題　復習：施設・幼稚園・保育所の違いを確認する 予習：保育所での実習目標 １３回　保育所・認定こども園の生活　腸内検査について 子どもの発達（０歳～２歳を中心に）の見直し　保育所の１日の流れ　子どもの安全について 学習課題　復習：これまでの実習中のヒヤリハット体験から事故防止について 予習：子どもの発達段階と遊びについて １４回　実習日誌について　保育指導案作成 実習日誌の記入上の注意　３歳児・５歳児の指導案立案 学習課題　復習：幼稚園教育実習の日誌の見直しと指導案の活動設定 予習：文字の丁寧さ、文章の書き方　指導案の流れを決めておく １５回　「保育実習Ⅰ」　必要書類渡し　実習遵守事項の確認 「保育実習Ⅰ」書類確認　実習遵守事項を読み捺印する 学習課題　復習：指導計画案立案の見直し 予習：実習園の保育目標と事前準備するものの再確認
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①幼稚園・保育所・認定こども園における実習の目的・内容・方法を理解する ②実習を円滑に進めていく知識や技術を習得する ③実習の「事前指導」では、各自の学習内容や課題を明確にする ④「事後指導」では実習で得た学習内容を振り返り、多面的に検討して反省・評価を行い改善への課題を探求する ⑤保育者の仕事の現状を丹念に把握しながら保育者としての資質向上への意欲を持つ 授業への意欲、提出書類の正確さ、事前準備（指導案立案）実習の振り返りを総合して評価をおこなう。 授業内レポート・漢字テスト（２０％）事前準備・指導案立案（４０％）事後の振り返り（４０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『コンパクト版保育実習』　高橋弥生・大沢裕　編著　一藝社 参考書：　：『幼稚園教育実習』『実習日誌の書き方』　「幼稚園教育要」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 実習日誌 関連資料
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	他授業・業務以外は随時対応する
備考・メッセージ	レポートや実習に必要な書類などの提出期限厳守

講義科目名称：保育実習指導Ⅱ（保育所）　　授業コード：90131

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２年	選択
担当教員			
戸田　恵理子　・　吉田　美恵子			

講義概要	①保育所・認定こども園の役割や機能について理解する　養護と教育が一体となって行われる保育について理解す る保育所・認定こども園の社会的役割と責任について理解する ②観察に基づいた保育を理解する　子どもの心身の状態や活動の観察方法を学ぶ　保育士等の動きや実践の観察を行う保育所の生活の流れや展開を把握する ③環境を通して行う保育や、生活や遊びを通して総合的に行う保育を理解する　入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援について学ぶ　地域社会とのこまやかな連携の必要性を理解する　コミュニケーション能力の重要性を理解する ④保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程を理解する　子どもの姿を理解した指導案を作成する　作成した指導計画に基づく保育実践と評価を行う ⑤多様な保育の展開と保育士の業務を理解する　多様な保育の展開と保育士の職業倫理を理解する 保育士としての自己課題を明確にする
授業計画	1　保育実習Ⅰの振り返りと自己課題の明確化 保育実習Ⅰにおける反省と自己課題の設定 学習課題　復習： 予習： 2　子どもの理解① 乳幼児の特性をふまえた保育について 学習課題　復習： 予習： 3　子どもの理解② 子どもの個人差に配慮した保育について 4　子どもの保育について（乳幼児） 子どもの最善の利益を配慮した保育について 学習課題　復習： 予習： 5　子どもの保育について（3歳以上児） 子どもの最善の利益を配慮した保育について 学習課題　復習： 予習： 6　子どもの保育と保護者支援について 子どもの保護者との関わり方について 学習課題　復習： 予習： 7　保育所実習先の理解と実習内容について 子どもへの対応方法を理解 学習課題　復習： 予習： 8　保育所実習先の理解と実習内容について 具体的な保育の方法とその理解（事例検討） 学習課題　復習： 予習： 9　保育実技の発表と反省・評価① 指導案立案・実践・振り返り① 学習課題　復習： 予習： １０　保育実技の発表と反省・評価② 指導案立案・実践・振り返り② 学習課題　復習： 予習： １１　保育士の業務内容や職業倫理についての理解 保育所及び保育士の役割や機能の理解を深める 学習課題　復習： 予習： １２　保育士の業務内容や職業倫理についての理解

	具体的な実践に結び付けて理解する 学習課題　復習： 予習： １３　子どもの発達に応じた保育の計画・実践① 保育実践・評価と具体的課題の明確化① 学習課題　復習： 予習： １４　子どもの発達に応じた保育の計画・実践② 保育実践・評価と具体的課題の明確化② 学習課題　復習： 予習： １５　帰校日指導 実習での課題の共有と、自己課題の設定 学習課題　復習： 予習：
授業形態	演習（集中講義）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や内容理解をもとに、さらに保育所保育士養成に必要な知識や知恵や指導技術を身につける。また、巡回指導による指導内容を踏まえ自己評価を行い、新たな具体的課題や学習目標を明確にする。 ①保育所・認定こども園の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める ②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める ③既習の強化や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、特に3歳未満児の保育の方法や実践を通して子ども及び保護者支援について統合的に学ぶ ④保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み理解を深める ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解し、保育士としての自己課題を明確にする 受講態度の他、提出書類の正確さ（オリエンテーションの事前事後報告、指導案立案等）、 保育実践後の振り返りなど総合して評価を行う。 授業内レポート・テスト（20%）　　指導案立案及び実践（40%）　　事後報告書と振り返り（40%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：「新保育士養成講座　第9巻「保育実習」増田まゆみ　大島　恭二　全国保育士協議会出版部 その他　：『保育所保育指針』　　『保育所実習日誌』　　授業時必携
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	他の授業・会議等以外は対応可能
備考・メッセージ	レポートや実習に必要な書類などの提出期限厳守する 授業で毎時間配布するプリントは、実習ファイルに保管し随時活用する 次回の授業内容を確認し、保育実践に関する資料の収集及び保育実践に関する準備に臨む

講義科目名称：保育実習指導Ⅲ（施設）　　授業コード：90132

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	保育士：必修
担当教員			
花城　暢一・澤田　須賀子・藤野　正和			

講義概要	①保育実習Ⅲの事前指導　保育実習の意義・目的を理解する　保育実習の概要を理解する ②実習内容と課題の明確化　一日の流れを理解する　実習の課題を明確にする ③子ども・利用者のニーズを理解する ④社会資源と関係機関との連携を理解する ⑤子どもの最善の利益を理解し、保育観を高める
授業計画	1　保育実習Ⅰの振り返りと自己課題の明確化 保育実習Ⅰにおける反省と自己課題の設定 学習課題 予習：保育実習Ⅰを振り返り、保育実習Ⅲの課題を考える。 2　保育実習Ⅲ実習先についての内容と理解 各実習施設を理解する 学習課題　復習：保育実習Ⅲの実習施設および実習内容について理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 3　施設種別毎の理解と実習内容 保育実習Ⅲの実習施設について理解する 学習課題　復習：施設の種別を理解し、実習内容を振り返る。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 4　施設種別毎の理解と実習内容 保育実習Ⅲの実習施設について理解する 学習課題　復習：施設の種別を理解し、実習内容を振り返る。 予習：テキストおよび配布資料を読む。実習希望施設までの移動手段を調べる。 5　実習先の決定 実習施設を決める 学習課題　復習：実習先の位置づけ、活動内容などについて理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 6　養護技術を習得する 施設実習での生活援助について学ぶ 学習課題　復習：実習施設での生活場面の援助方法について理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 7　子ども・利用者の個人差・ニーズについて理解する 子ども・利用者のニーズについて学ぶ 学習課題　復習：子どもや・利用者のニーズについて理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 8　実習計画を立案する 保育実習Ⅰの内容を基に実習Ⅲの計画の立案を行う 学習課題　復習：実習計画に内容を振り返る。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 9　保育技術の発表と反省・評価① 指導案立案・実践・振り返り① 学習課題　復習：指導案の立案などについて理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 １０　保育技術の発表と反省・評価② 指導案立案・実践・振り返り② 学習課題　復習：指導案の立案などについて理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 １１　関係機関との連携方法を具体的事例で学ぶ 事例検討（グループワーク） 学習課題　復習：事例検討を通して、連携のあり方などについて理解を深める。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 １２　地域社会との連携について学ぶ 事例検討（グループワーク） 学習課題　復習：事例検討を通して、地域との連携について理解を深める。 予習：配布資料を読む。

	１３　　実習先事前訪問の理解 オリエンテーションの準備 学習課題　復習：実習準備（オリエンテーション等）の準備について振り返る。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 １４　　お礼状の書き方・反省会について 実習の振り返りについて 学習課題　復習：お礼状の書き方などを理解する。 予習：テキストおよび配布資料を読む。 １５　　施設実習直前の全体的事前指導 実習内容、心得注意等 学習課題　復習：実習の留意点等を振り返る。 予習：テキストおよび配布資料を読む。
授業形態	演習（集中講義）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知識や指導技術を身につけることができる。 ②児童福祉施設（保育所以外）その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得することができる。 ③家庭と地域の生活に触れて、子ども、家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身につけることができる。 ④施設保育士としての職業倫理を涵養することができる。 ⑤保育士としての自己の課題を明確化することができる。 振り返りレポート（20%）　授業内レポート（40%）　授業取り組み（40%）を総合評価。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『幼稚園・保育所・児童福祉施設　実習ガイド』石橋裕子　他　編著　同文書院 参 考 書：関連資料　実習日誌
履修条件	
履修上の注意	１回目～４回目の授業は、前期の５月と７月に実施する。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	レポートや実習に必要な書類などの提出期限厳守

講義科目名称：保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修・選択
担当教員			
中尾　陣内　友廣　花城　吉田　戸田　澤田　小浦　藤野　若杉　樋渡			

講義概要	①教育・保育に対する使命感や情熱を持つ　子どもから学び共に成長する姿勢を身につける ②子どもの成長や安全・健康を第一に考え、適切に行動する ③保育者としての自覚に基づき、適切な行動をとる　組織の一員として協力して組織を遂行する　保護者や地域と良好な人間関係を築く ④子どもに対して受容的に接し、豊かな交流をおこなう　子どもの発達や心身の状況を理解し、適切な援助をおこなう　子どもと信頼関係を築き、活力ある学級経営をおこなう ⑤情報収集力を高めるために、タブレット等を活用し、保育・教育の基本的な知識と保育技能を身につける 保育の援助技術を身につける　子どもの育ちを確かめながら保育計画を立てる
授業計画	１　使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 オリエンテーション・実習の振り返り(自己評価)と保育のＰＤＣＡサイクル（中尾） ２　使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 保育に対する使命感と自己の職責を果たす意思 ３　使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 実習の振り返りと保育者としての課題(グループ協議)（実習担当） ４　使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 体験の共有(まとめ・発表)（実習担当） ５　使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 保育者の持つべき養護的・教育的愛情とは（実習担当） ６　使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 保育者として成長するための課題の認識と解決に向けて（実習担当） ７　教科・保育内容等の指導力に関する事項 保育の中の表現造形の意義と指導法（陣内） ８　教科・保育内容等の指導力に関する事項 保育の中の音楽表現の意義ととらえかた（友廣） ９　教科・保育内容等の指導力に関する事項 保育の中の運動遊びの意義と捉え方（中尾） １０　幼児理解や学級経営に関する事項 長時間保育と子どもの心身の発達の理解（戸田） １１　幼児理解や学級経営に関する事項 子どもの権利と養護（川原） １２　幼児理解や学級経営に関する事項 発達障害のある子どもの理解と援助（藤野） １３　幼児理解や学級経営に関する事項 子どもの理解と学級経営（澤田） １４　社会性や対人関係に関する事項 組織の一員としての自覚と職務遂行（川原） １５　社会性や対人関係に関する事項 少子高齢化と世代間交流（花城） １６　まとめ 学習の振り返り（全教員） 振り返りシートの作成と発表
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	保育者としての①使命感や責任感について学び、自己の保育者像を探る　②養護的・教育的愛情等について考察できるようになる　③社会性や対人関係能力について学ぶことにより、社会人としての意識を高める　④幼児理解や学級経営について学び、具体的な保育者像を描く　⑤教科・保育内容等の指導力について知り、保育者としての資質向上を目ざす。 毎回の授業レポート（課題シート）80%、授業への取り組み状況、課題研究の成果20%を統合して行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各教員が用意する資料を使用。（学生はファイルにて保管し、ポートフォリオを作成）

履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	各授業の担当者が授業の前後に教室で質問を受ける
備考・メッセージ	

講義科目名称：卒業研究Ⅰ

英文科目名称：

授業コード：52132　52133　52134　52135
52136　52137　52138　52139
52140　52141

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修・選択
担当教員			
陣内　吉田　中尾　花城　友廣　戸田　澤田　小浦　藤野　若杉　樋渡			

講義概要	①自ら課題にするゼミナールを選択する。地域活動や講演会等に参加し問題意識を持つ。文献などから現代の保育・教育に関する課題を理解する。 ②子育て支援機関の現状を知る。子育て支援機関の役割について考察する。保育・教育関連機関の連携の現状について理解を深める。 ③ゼミ活動における議論を通し自らの興味関心を探る。自己の保育観・保育者観を見つめる。ゼミで取り組むテーマを見つける。 ④地域の保育・教育機関を訪問し調査する。実地研修に参加する。調査の方法を習得する。 ⑤調査した結果や研修で学んだことをまとめる。調査結果や研修にて修得したことをもとに議論し、理解を深める。新たな課題を見つけ解決策を模索する。
授業計画	分野１　陣内　敦 造形を通した子育て支援 造形ワークショップ実践による子どもと子育て事情の理解について ・造形活動における子どもの情操と創造性の発達についての理解 ・子どもいっしょに作って遊べる造形教材の開発 分野２　吉田美恵子 センス・オブ・ワンダー ・センス・オブ・ワンダーについて ・子どもの生活や遊びの実態を調査・記録する ・自然環境の中で、創意・工夫した遊びの展開を体験する 分野３　中尾健一郎 子どもの健康と運動遊びについて考える ・健康と運動の関係について体験を通して理解する ・地域の運動遊び環境について体験を通して理解する ・様々な環境に応じた運動遊びを考案し、実践する 分野４　花城暢一 地域の子育て環境について考える　～地域交流・フィールドワークを通して～ ・地域の子育て環境や様々な取組みについて考える ・地域の自然や公園等を調査し、子育てと自然環境の関わりについて考察する ・地域の自然環境を活かした遊びの教材開発を通して保育者に必要な資質を身に付ける 分野５　友廣憲子 保育における音楽教育を考える ・保育における音楽活動について研究する ・さまざまな音楽活動を実践する 分野６　戸田恵理子 子どもとあそびについて ・子どもが「あそぶ」ことについて ・子どもの年齢・発達などに応じた保育教材を考え制作する ・「子ども」や「保育」に関するワークショップ等に参加し、様々な保育資源を知る 分野７　澤田須賀子 子どもの育つ保育環境 ・遊びの環境づくりについて ・保育現場に出向き、子ども達の実態を知る 分野８　小浦　康平 長崎短期大学ヴァーチャル幼稚園（仮） ・幼稚園の年間行事の疑似体験を題材に、パソコンスキルの強化をはかる。 ・年間スケジュールに沿って幼稚園の主要行事を計画・疑似体験・考察し、行事の前後に必要な書類の作成スキルを身につける。 ・成果物として、職場ですぐに役立つような保護者への手紙やポスター、園だよりなどをパソコンで作成しファイリングする。 分野９　藤野正和 こどもの心の発達と障害について ・こどもの心の発達に関わる要素について理解する ・こどもの心の発達と障害についての関係について理解する 分野10　若杉千春 難聴児の聴覚活用教育と音楽 ・難聴と言葉の育つしくみについて理解する ・難聴児の実態を知る 分野11　樋渡由貴 子どもの表現に耳を傾けるⅠ ・乳幼児期の言葉の獲得について理解する ・言葉以外の表現を用いたコミュニケーションを体験する ・学んだ知識と体験的理解を通じて、子どもの表現に含まれる意図を推測する力を身につける
授業形態	演習

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①保育に関する現代の社会的課題について問題意識を持つ ②保育の現場で実際に起こっている課題を捉えそれについて考える ③情報収集力を高めるため、タブレット等を活用し、自らの追求すべき研究課題を見つける ④地域の保育実践現場を見学し、課題の現状分析を行う ⑤保育の現場で得た学習内容とこれまでの学習内容を有機的に関連付ける 演習への取り組み姿勢や課題に対する取り組みの積極性・協調性を総合的に評価する 演習への取り組み姿勢（40%）、積極性・協調性（60%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	各ゼミ担当教員が授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	

講義科目名称：卒業研究Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	選択
担当教員			
陣内　吉田　中尾　花城　友廣　戸田　澤田　小浦　藤野　若杉　樋渡			

講義概要	①設定したテーマについて調査学習する。関連事項について文献資料などを収集し熟読する。各教科が横断的に関連していることを理解する。 ②議論の際に他者の意見を聞く姿勢を学ぶ。結論を導き出していく過程を学ぶ。情報リテラシーについて理解する。 ③問題を解決するために様々な視点の情報を収集する。様々な立場からの意見を聞く。自己の意見を再構成する方法を学ぶ。 ④取り組んで行く課題を自己の問題として考察する。調べた内容をまとめ発表する。お互いに発表要項をまとめる。 ⑤ゼミ発表会で他ゼミの発表を聞く。発表内容について理解を深める。ゼミ仲間と協力して取り組んだことを振り返る。
授業計画	分野１　陣内　敦 造形を通した子育て支援 造形ワークショップ実践による子どもと子育て事情の理解について ・子どもや保護者とのコミュニケーション能力の涵養 ・研究成果レポート作成とプレゼンテーション 分野２　吉田美恵子 センス・オブ・ワンダー ・園訪問や子育て支援・地域交流に参加実践し、調査・考察をする ・文献や資料、講演会・研修などの記録をまとめ保育者の役割を明確にしていく 分野３　中尾健一郎 運動遊びによる実践活動 ・調査した内容から運動遊びを考案し、実践する ・実践した内容をまとめ、発表する 分野４　花城暢一 地域の子育て環境について考える　～地域交流・フィールドワークを通して～ ・地域の自然環境を活かした遊びの教材開発を通して保育者に必要な資質を身に付ける ・地域の子ども達との交流活動を企画運営し、フィールドワークを実施する ・活動内容をまとめ、学んだことや感じたことを発表する 分野５　友廣憲子 保育における音楽教育を考える ・さまざまな音楽活動のディスカッションを行う ・保育現場に出向き音楽活動を実践する ・音楽活動を実践し考察した内容をまとめ発表する 分野６　戸田恵理子 子どもとあそびについて ・子どもの主体的なあそびに大切な保育の環境を考える ・制作した保育教材を保育場面において活用し、改良点等の再考（再製作）を行う ・「子ども」や「保育」に関するワークショップ等に参加し習得した保育者に必要な要素をまとめ発表する 分野７　澤田須賀子 子どもの育つ保育環境 ・調査した内容を基に、実践・考察をする。 ・保護者へ伝える環境構成について考える 分野８　小浦康平 長崎短期大学ヴァーチャル幼稚園（仮） ・幼稚園の年間行事の疑似体験を題材に、パソコンスキルの強化をはかる。 ・年間スケジュールに沿って幼稚園の主要行事を計画・疑似体験・考察し、行事の前後に必要な書類の作成スキルを身につける。 ・成果物として、職場ですぐに役立つような保護者への手紙やポスター、園だよりなどをパソコンで作成しファイリングする。 分野９　藤野正和 子どもの心の発達と障害のついて ・子どもの心の発達に必要な要素について理解する。 ・子どもの心の発達と障害との関係について理解する。 分野10　若杉千春 難聴児の聴覚活用教育と音楽 ・聴覚を活用した音楽活動について考え実践する ・活動内容をまとめ発表する 分野11　樋渡由貴 子どもの表現に耳を傾けるⅡ ・模擬ケース検討会を通して、子どもの表現を多面的に理解する ・子どもの表現に対する気づきを周囲と共有するための力を身につける
授業形態	演習

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得する ②課題解決のための対応・判断方法などについて検討する力を身につける ③情報収集能力を高めるために、タブレット等を活用し、多視的な観点によって課題を考察する ④地域の保育現場で活用するための知識・技能を習得し、自らその習得内容を確認する ⑤表現力や人間関係力を向上させ、他者理解を広げる 演習への取り組み40%、発表への取り組み30%、発表等の成果30%を加味し総合的に評価する
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	各ゼミ担当教員が授業前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	